

# 施設アセスメントシート

(建物等評価編)

教育施設

静岡県

## 目 次

周智高等学校跡地	1
三ヶ日高等学校跡地	3
富士山麓山の村	5
朝霧野外活動センター	7
三ヶ日青年の家	9
青少年会館	11
中央図書館	13
焼津青少年の家	15
観音山少年自然の家	17
静岡県総合教育センター	19
下田高等学校	21
下田高等学校南伊豆分校	23
松崎高等学校	25
稲取高等学校	27
伊東高等学校	29
伊東高等学校城ヶ崎分校	31
伊東商業高等学校	33
熱海高等学校	35
土肥高等学校	37
韭山高等学校	39
伊豆中央高等学校	41
田方農業高等学校	43
三島南高等学校	45
三島北高等学校	47
御殿場高等学校	49
御殿場南高等学校	51
裾野高等学校	53
沼津東高等学校	55
沼津西高等学校	57
沼津城北高等学校	59
沼津工業高等学校	61
沼津商業高等学校	63
吉原高等学校	65
吉原工業高等学校	67
富士高等学校	69
富士東高等学校	71
富士宮東高等学校	73
富士宮北高等学校	75
富士宮西高等学校	77
富岳館高等学校	79
清水東高等学校	81
清水西高等学校	83



清水南高等学校	85
静岡高等学校	87
静岡城北高等学校	89
静岡東高等学校	91
静岡西高等学校	93
静岡農業高等学校	95
静岡商業高等学校	97
焼津中央高等学校	99
焼津水産高等学校	101
焼津水産高等学校（艇庫）	103
焼津水産高等学校臨海実習場	105
藤枝東高等学校	107
藤枝西高等学校	109
藤枝北高等学校	111
島田高等学校	113
島田工業高等学校	115
島田商業高等学校	117
金谷高等学校	119
川根高等学校	121
榛原高等学校	123
榛原高等学校学習館	125
相良高等学校	127
掛川東高等学校	129
掛川西高等学校	131
掛川工業高等学校	133
小笠高等学校	135
小笠高等学校高田ヶ丘実習地	137
池新田高等学校	139
横須賀高等学校	141
遠江総合高等学校	143
天竜高等学校春野校舎	145
袋井高等学校	147
袋井商業高等学校	149
二俣高等学校跡地	151
天竜高等学校	153
佐久間高等学校	155
磐田南高等学校	157
磐田北高等学校	159
磐田農業高等学校	161
磐田西高等学校	163
浜松北高等学校	165
浜松西高等学校	167
8071 浜松南高等学校	169

浜松湖東高等学校	171
浜松東高等学校	173
浜松工業高等学校	175
浜松城北工業高等学校	177
浜松城北工業高等学校公舎	179
浜松商業高等学校	181
浜名高等学校	183
浜北西高等学校	185
新居高等学校	187
湖西高等学校	189
浜松湖北高等学校	191
気賀高等学校跡地	193
浜松湖南高等学校	195
清流館高等学校	197
浜松江之島高等学校	199
小山高等学校	201
小山高等学校	203
静岡中央高等学校	205
浜松大平台高等学校	207
科学技術高等学校	209
三島長陵高等学校	211
伊豆総合高等学校	213
駿河総合高等学校	215
沼津視覚特別支援学校	217
静岡視覚特別支援学校	219
浜松視覚特別支援学校	221
沼津聴覚特別支援学校	223
沼津聴覚特別支援学校寄宿舍	225
静岡聴覚特別支援学校	227
浜松聴覚特別支援学校	229
沼津特別支援学校	231
静岡北特別支援学校	233
静岡北特別支援学校	235
浜松特別支援学校	237
浜松特別支援学校磐田分校	239
浜松特別支援学校城北分校	241
東部特別支援学校	243
東部特別支援学校川奈分校	245
東部特別支援学校伊豆高原分校	247
中央特別支援学校	249
静岡南部特別支援学校	251
西部特別支援学校	253
天竜特別支援学校	255



藤枝特別支援学校	257
吉田特別支援学校駿遠分教室	259
富士特別支援学校	261
富士特別支援学校富士宮分校	263
袋井特別支援学校	265
袋井特別支援学校東遠分教室	267
袋井特別支援学校磐田見付分校	269
浜名特別支援学校	271
御殿場特別支援学校	273
清水特別支援学校	275
浜北特別支援学校	277
吉田特別支援学校	279
掛川特別支援学校	281
埋蔵文化財センター	283
埋蔵文化財センター清水保管庫	285
埋蔵文化財センター中原事務所	287

# 施設アセスメントシート

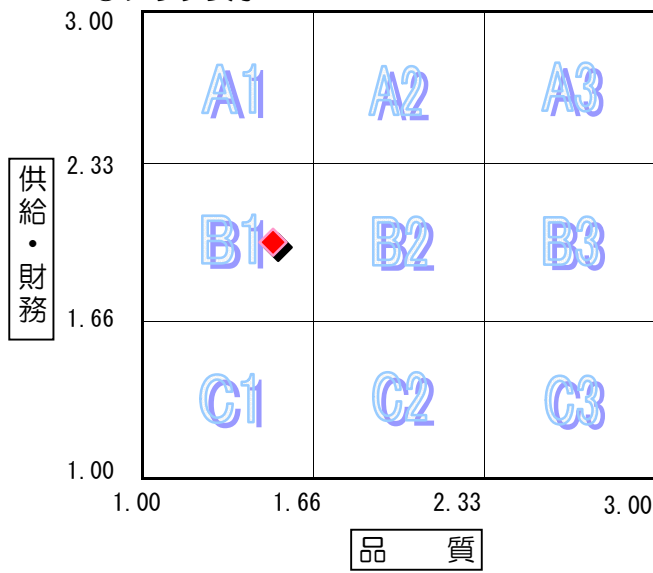
基本情報	施設番号	801010012022	施設名称	周智高等学校跡地		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	財務課		
	用途	教育施設	設置年	1970		
	施設目的	高等学校(跡地)				内部 
	敷地面積	12,739.72 m <sup>2</sup>	延床面積	10,219.89 m <sup>2</sup>		
	土地台帳価格	328,903 千円	建物台帳価格	427,511 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅:戸綿駅から 徒歩5分				

◆ 第1段階 **B1**      品質 1.54点      供給・財務 2.00点

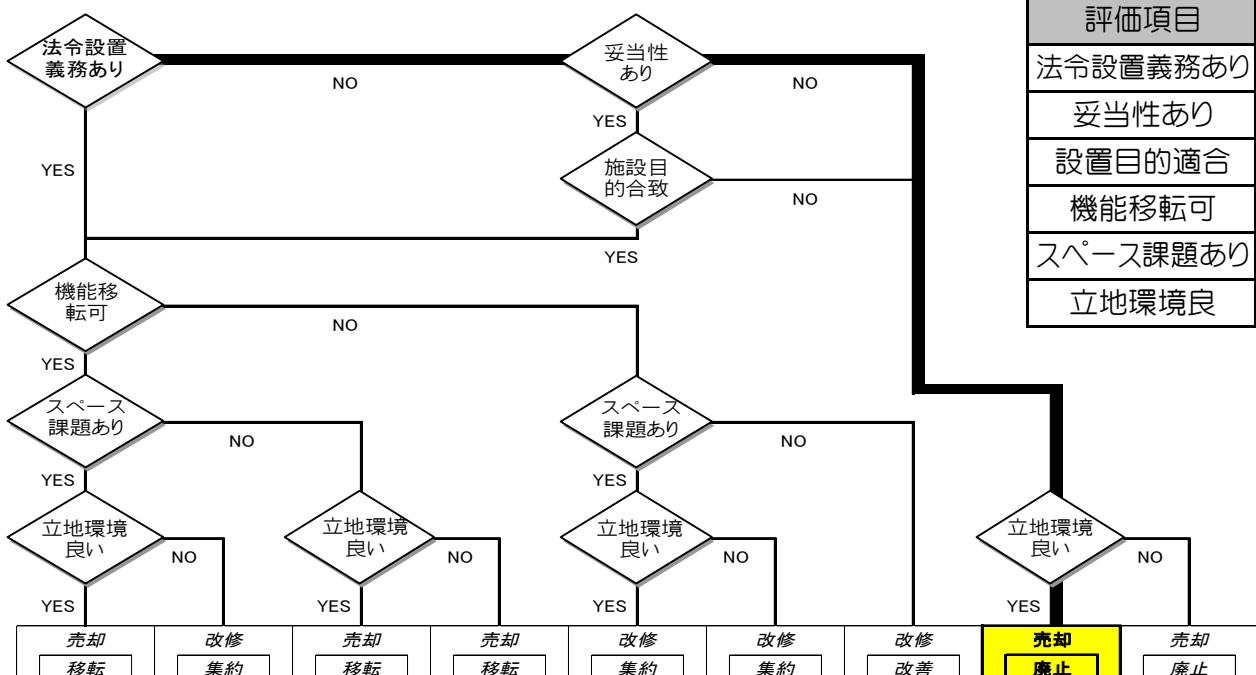
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	39.0年	1.43点
品質	建築劣化度	屋上防水	1977.0年 1.15点
		外壁	1977.0年 1.15点
品質	設備劣化度	空気調和設備	-
		受変電設備	-
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 2.58点
品質	エネルギー/面積	-	-
供給	面積/人数	-	-
供給	生徒充足率	-	1.00点
供給	入学試験倍率	-	3.00点
財務	コスト/人	-	-
財務	コスト/面積	695円 (40.96)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 売却      運用面: 廃止



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	NO
設置目的適合	-
機能移転可	-
スペース課題あり	-
立地環境良	YES

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	940	百万円	維持管理費 B(※2)	20	百万円
	使用年数 A(※1)	39.0	年	小計	960	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	164	百万円	維持管理費 (※3)	5	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	170	百万円

※3  $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	329	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,211	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,681	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	—
これまでの保全の状況	
その他	平成26年2月に経営管理部管財課がグラウンドを森町へ売却。 平成27年11月に森町から残地について取得要望書を受領。

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

#### □総合評価



施設面: **売却**

運用面: **廃止**

補足

一定の役割を終えた施設であり、廃止・売却を検討する施設

# 施設アセスメントシート

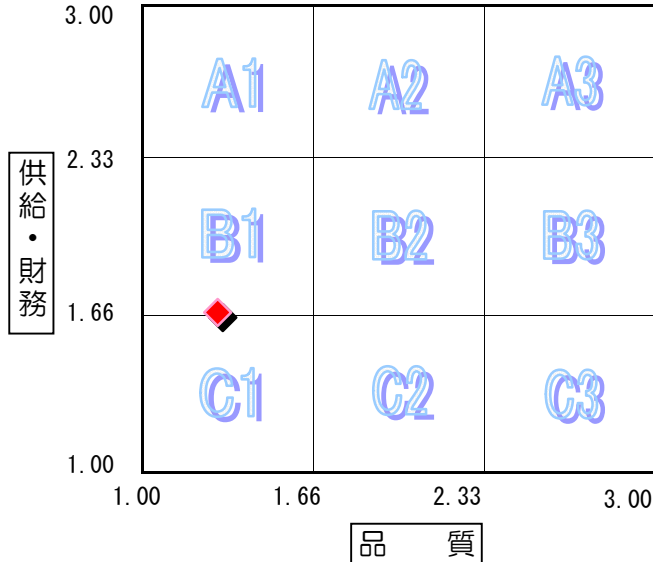
基本情報	施設番号	801010012028	施設名称	三ヶ日高等学校跡地		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	財務課		
	用途	教育施設	設置年	1968		
	施設目的	高等学校(跡地)				内部 
	敷地面積	36,274.46 m <sup>2</sup>	延床面積	8,373.81 m <sup>2</sup>		
	土地台帳価格	462,714 千円	建物台帳価格	20,692 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅:三ヶ日駅から 徒歩15分				

◆ 第1段階 **B1**    品質 1.31点    供給・財務 1.67点

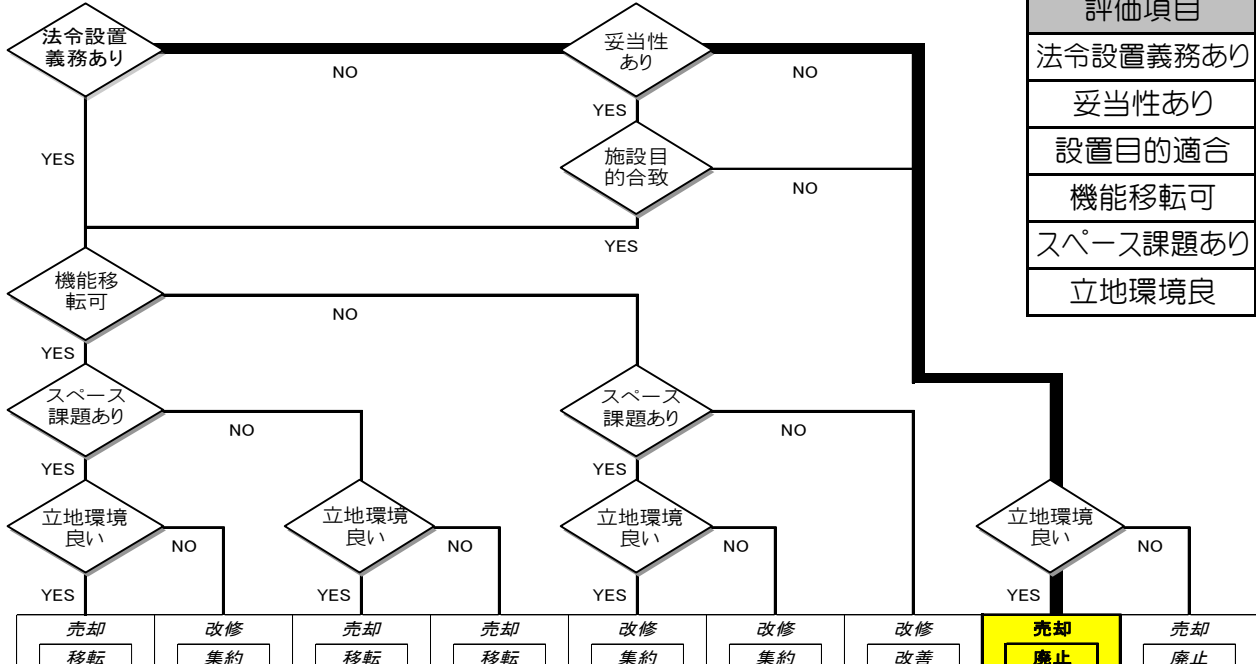
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	47.1年	1.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	-
		外壁	1968.9年
品質	設備劣化度	空気調和設備	-
		受変電設備	-
品質	津波性能	3.00点	耐震性能
品質	エネルギー/面積	0.16GJ (61.71)	3.00点
供給	面積/人数	-	-
供給	生徒充足率	-	1.00点
供給	入学試験倍率	-	3.00点
財務	コスト/人	-	-
財務	コスト/面積	-	-

○グラフ表示



◆ 第2段階 **施設面: 売却**    **運用面: 廃止**



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	NO
設置目的適合	-
機能移転可	-
スペース課題あり	-
立地環境良	YES

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	187	百万円	維持管理費 B(※2)	0	百万円
	使用年数 A(※1)	47.1	年	小計	187	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	135	百万円	維持管理費 (※3)	0	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	135	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	269	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,812	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,016	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	売却済
これまでの保全の状況	
その他	三ヶ日町農業協同組合が集荷場用地としての取得。

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	

#### □総合評価



施設面: **売却**

運用面: **廃止**

補足

一定の役割を終えた施設であり、廃止・売却を検討する施設

# 施設アセスメントシート

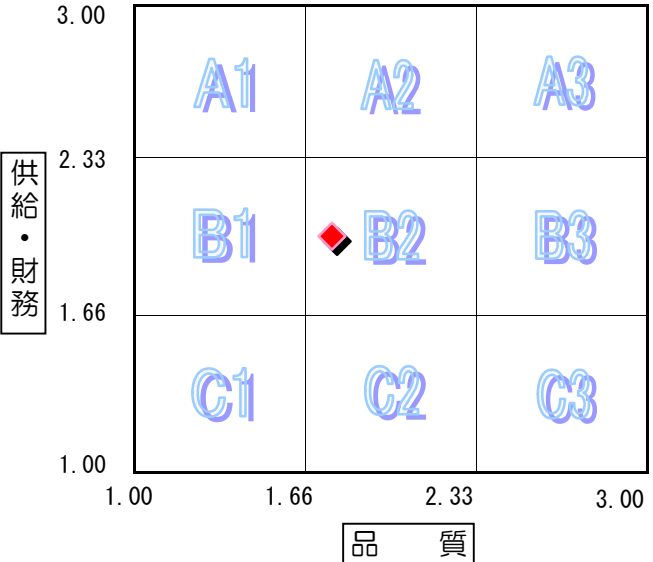
基本情報	施設番号	801020012006	施設名称	富士山麓山の村		外部
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	高校教育課		
	用途	研修施設		設置年	1988	
	施設目的	宿泊訓練施設の運営				
	敷地面積	527.34 m <sup>2</sup>		延床面積	6,382.68 m <sup>2</sup>	
	土地台帳価格	765 千円		建物台帳価格	269,138 千円	
	用途地域	指定なし		路線価	- 円/m <sup>2</sup>	
	交通アクセス	最寄り駅:富士宮駅から タクシー40分				

◆ 第1段階 B2    品質 1.82点    供給・財務 2.00点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

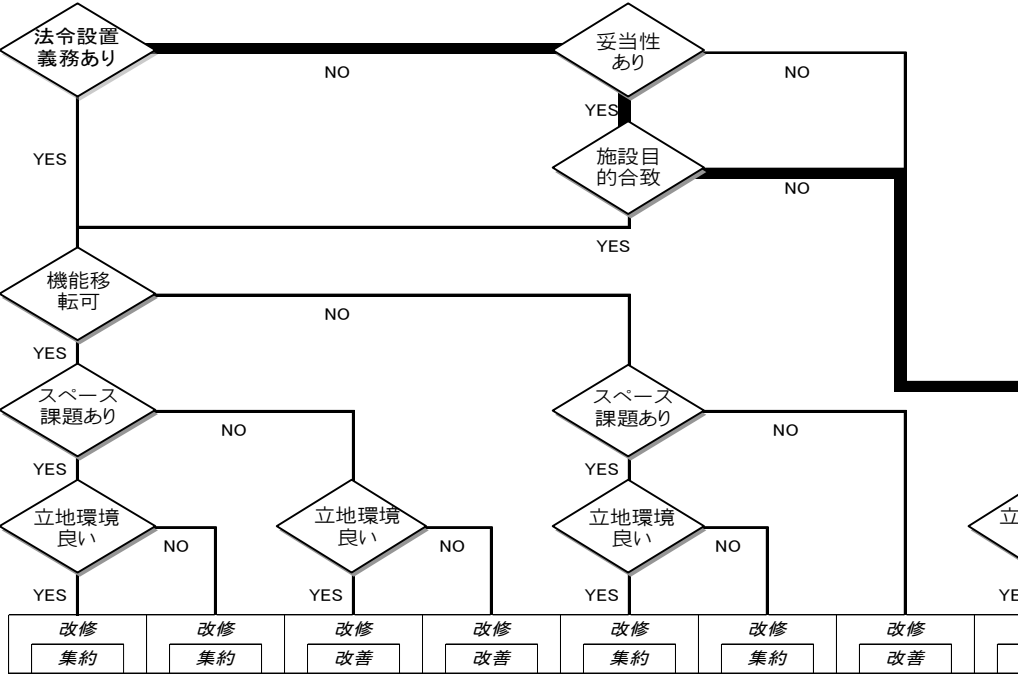
品質	建築後経過年数	27.6年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1988.3年 1.00点
		外壁	1988.3年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2002.4年 2.51点
		受変電設備	1988.3年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 1.33点
品質	エネルギー/面積	0.40GJ (56.74)	3.00点
供給	稼働率	57.4%	2.00点
財務	コスト/人	1,598円 (41.47)	3.00点
財務	コスト/面積	6,137円 (48.75)	2.00点

○グラフ表示



品質

◆ 第2段階 施設面: 転用    運用面: 廃止



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	NO
機能移転可	-
スペース課題あり	-
立地環境良	NO

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,454	百万円	維持管理費 B(※2)	819	百万円
	使用年数 A(※1)	27.6	年	小計	2,273	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	425	百万円	維持管理費 (※3)	296	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	721	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	425	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,060	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,328	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	富士山に隣接した教育施設として、一定の県民利用を確保できていることから、当面の間は現状の施設(運営)を維持しつつ、今後、青少年教育施設等への転換の検討や、民間への譲渡に向けた調整をはかる。
現在の利用状況	学校の集団宿泊訓練の利用は4～5月、部活動等の利用は7～8月に集中しており、利用者数は年々減少している。一方で、学校以外の一般利用者は近年増加しており、27年度利用者数24,414人のうち5割弱を占める。 冬季(11～3月)は降雪や凍結があり利用者数が少ないため、平成15年度から休所期間としている。
これまでの保全の状況	すべての建物の屋根に錆が見られ、宿泊棟については全棟において雨漏り、バルコニーに腐食がある。 H19 木部の一部改修(バルコニー、柱埋木等)55,406,400円、H28 多目的ホール屋根防水修繕29,751,840円
その他	敷地は国有地(一部民有地)を借用 県産材を使用した木造の建物である。

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	高校生主体の宿泊訓練施設としての当初の役割が、他の同等施設に移っており、本来の目的を考慮すれば、第2段階の結果については理解できる。ただし今後の在り方については、施設面の老朽化及び借地であることや、目的外使用の問題等、譲渡や廃止をする際に解決すべき課題がある上、富士山に親しみたい県民の一定のニーズもあることから、十分な検討・調整が必要である。
上を裏付ける根拠(ある場合)	

総合評価

施設面: 転用

運用面: 廃止

補足	機能は廃止だが、立地環境等から直ちに売却が困難である場合には、他の用途への転用による活用も含めて処分を検討する必要がある施設。
----	---



# 施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	801035012006	施設名称	朝霧野外活動センター	外部
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	社会教育課	
	用途	研修施設	設置年	1996	
	施設目的	団体宿泊訓練又は野外活動を通じた青少年の健全育成			
	敷地面積	342.88 m <sup>2</sup>	延床面積	7,728.79 m <sup>2</sup>	
	土地台帳価格	3 千円	建物台帳価格	1,750,763 千円	
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m <sup>2</sup>	
	交通アクセス	最寄り駅:富士宮駅から タクシー35分			



◆ 第1段階 A3    品質 2.55点    供給・財務 2.75点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	20.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1996.0年 2.00点
		外壁	1996.0年 2.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1996.0年 2.00点
		受変電設備	1996.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.78GJ (52.94)	2.00点
供給	稼働率	100.0%	3.00点
財務	コスト/人	801円 (41.46)	3.00点
財務	コスト/面積	6,117円 (48.72)	2.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 維持    運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-



### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	2,737	百万円	維持管理費 B(※2)	756	百万円
	使用年数 A(※1)	20.0	年	小計	3,493	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	445	百万円	維持管理費 (※3)	378	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	823	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	445	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,161	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,491	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	主に学校利用を中心に、5月から11月までが利用者の集中する時期となっている。また、年間を通じて主催事業を開催している。
これまでの保全の状況	特になし
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	【継続】運用面においては施設利用者が年々増加するなどニーズがあり、施設面においては計画的な保全を実施することにより長寿命化を図ることが可能なため、第2段階のとおり継続・維持とするのが妥当。
上を裏付ける根拠(ある場合)	利用者数 H25:74,659人 H26:73,663人 H27:75,149人(過去最高の利用人数)

#### □総合評価


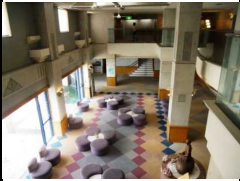
施設面: **維持**

運用面: **継続**

補足

施設の状態及び利用状況も良好であるため、引き続き適正に管理していく施設。

# 施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	801035012007	施設名称	三ヶ日青年の家		外部
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	社会教育課		
	用途	研修施設		設置年	1991	
	施設目的	団体宿泊訓練又は野外活動を通じた青少年の健全育成				
	敷地面積	36,104.93 m <sup>2</sup>	延床面積	4,773.72 m <sup>2</sup>		
	土地台帳価格	652,311 千円	建物台帳価格	875,641 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	21,895 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅:東都筑から 徒歩20分				

◆ 第1段階 B2    品質 1.70点    供給・財務 2.25点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	25.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1991.0年 1.00点
		外壁	1991.0年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1991.0年 1.00点
		受変電設備	1991.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	1.04GJ (50.25)	2.00点
供給	稼働率	100.0%	3.00点
財務	コスト/人	1,187円 (41.47)	3.00点
財務	コスト/面積	7,459円 (50.64)	2.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 改善

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,580	百万円	維持管理費 B(※2)	433	百万円
	使用年数 A(※1)	25.0	年	小計	2,013	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	275	百万円	維持管理費 (※3)	173	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	448	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	275	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,335	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	2,156	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	主に学校利用を中心に、4月から10月までが利用者の集中する時期となっている。また、年間を通じて主催事業を開催している。
これまでの保全の状況	特になし
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	【継続】第2段階では改善・改修とされたが、運用面においてはカッターボートの事故(H22)の後大幅に減少した施設利用者が年々回復しており、海洋活動の再開(H28～)により更なる回復が見込まれることから、継続・改修が妥当。
上を裏付ける根拠(ある場合)	利用者数 H21:42,450人 H22:17,764人 H27:38,046人

#### □総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

# 施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	801035013003	施設名称	青少年会館	外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	社会教育課	
	用途	貸館施設	設置年	1978	
	施設目的	青少年団体の連絡調整及び青少年教育の場として青少年の健全育成に寄与			内部 
	敷地面積	2,675.28 m <sup>2</sup>	延床面積	1,821.51 m <sup>2</sup>	
	土地台帳価格	337,039 千円	建物台帳価格	144,890 千円	
	用途地域	準工業地域	路線価	88,200 円/m <sup>2</sup>	
	交通アクセス	最寄り駅: 静岡駅から バス20分			

◆ 第1段階 A2    品質 1.75点    供給・財務 3.00点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	38.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1978.0年 1.00点
		外壁	1978.0年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1978.0年 1.00点
		受変電設備	1978.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.39GJ (56.84)	3.00点
供給	稼働率	100.0%	3.00点
財務	コスト/人	94円 (41.45)	3.00点
財務	コスト/面積	2,055円 (42.90)	3.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	YES
スペース課題あり	NO
立地環境良い	YES

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	270	百万円	維持管理費 B(※2)	48	百万円
	使用年数 A(※1)	38.0	年	小計	318	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	105	百万円	維持管理費 (※3)	13	百万円
	大規模改修費	601	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	719	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	105	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	706	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,151	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	駅から遠く、住宅街の中にあるという立地条件から、貸し会議室の利用率が低下傾向にある。
これまでの保全の状況	平成21年度に耐震補強工事を実施(工事費 100,955千円)
その他	電気設備の老朽化が著しい。

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	【継続】運用面においては、今後も県の青少年の健全育成施策を補完する役割がある一方で、施設面では築38年とまだしばらくは、使用可能なため、第2段階の結果のとおり、継続・改修とするのが妥当。
上を裏付ける根拠(ある場合)	



#### □総合評価

施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足 施設	施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には、行政目的に即して、建替えも含めた改修を検討していく必要がある
----------	---

# 施設アセスメントシート

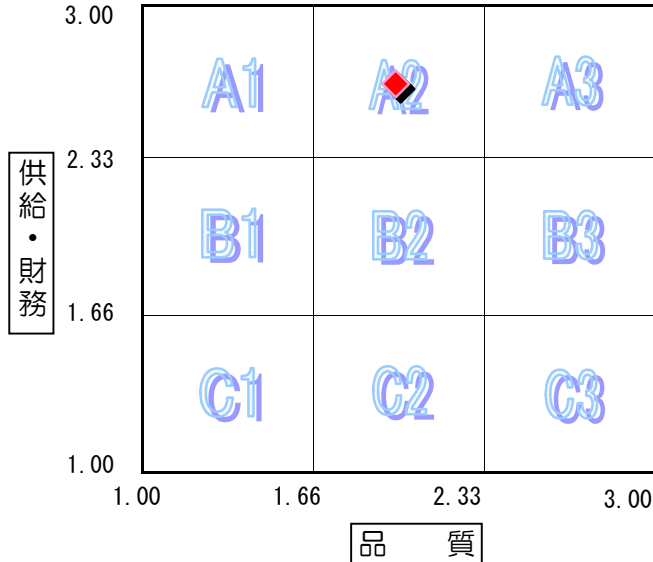
基本情報	施設番号	806005012001	施設名称	中央図書館		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	中央図書館		
	用途	集客施設		設置年	1969	
	施設目的	図書館				内部 
	敷地面積	143,583.14 m <sup>2</sup>	延床面積	8,816.64 m <sup>2</sup>		
	土地台帳価格	17,328,434 千円	建物台帳価格	43,971 千円		
	用途地域	第1種住居専用地域	路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅:草薙駅から 徒歩25分				

◆ 第1段階 A2    品質 2.05点    供給・財務 2.67点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

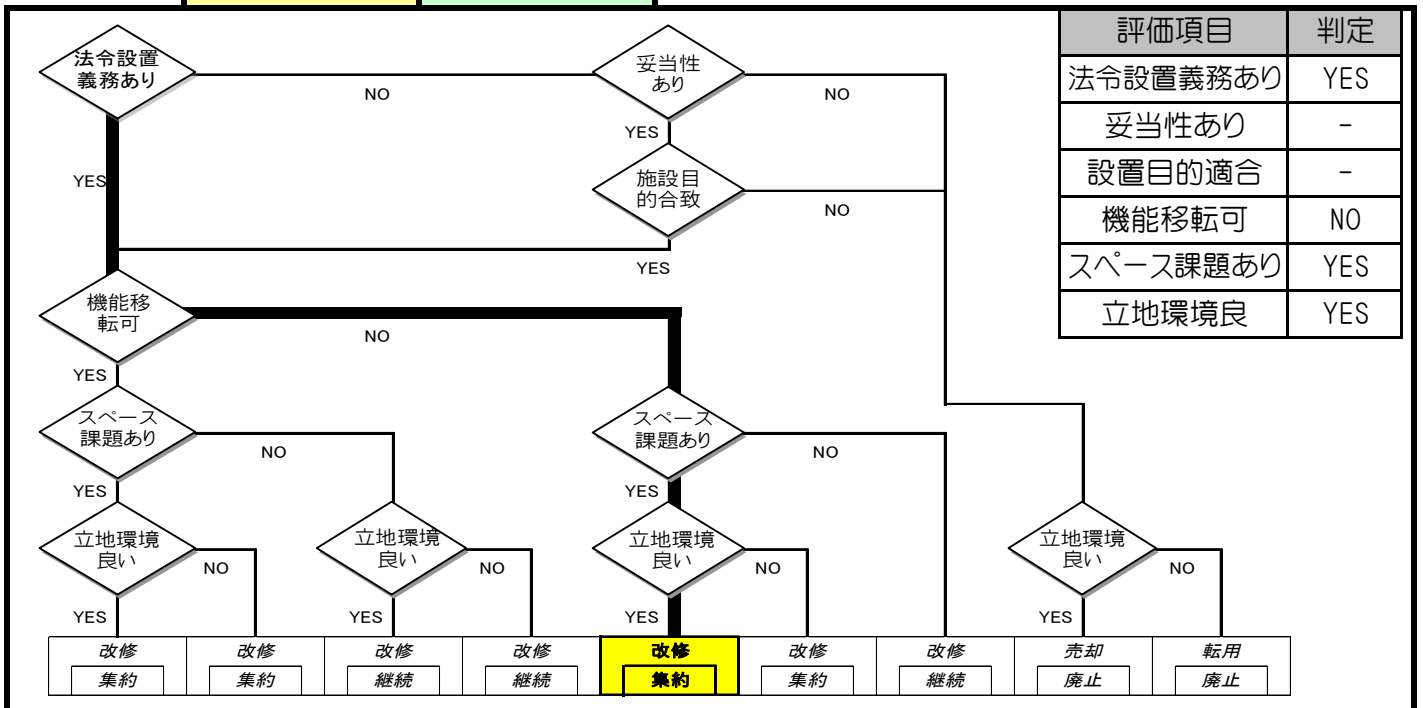
品質	建築後経過年数	47.0年	1.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2009.0年 3.00点
		外壁	2015.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2011.0年 3.00点
		受変電設備	2009.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.63GJ (54.44)	2.00点
供給	稼働率	100.0%	3.00点
財務	コスト/人	151円 (41.45)	3.00点
財務	コスト/面積	3,523円 (45.01)	2.00点

○グラフ表示



品質

◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 集約



### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	491	百万円	維持管理費 B(※2)	506	百万円
	使用年数 A(※1)	47.0	年	小計	997	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	508	百万円	維持管理費 (※3)	108	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	5,255	百万円
	解体費	212	百万円	小計	6,082	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	508	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	3,661	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	5,974	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	県立中央図書館は、昭和43年度の完工から47年を経過し、施設の狭隘化・老朽化が進むと同時に、図書館を取り巻く社会環境の変化に十分対応できていない実情である。県立中央図書館の施設整備のあり方について検討しているところである。
現在の利用状況	老朽化により利用者から特に次の点について苦情や改善の要望がある。 (ア) 空調の効が悪い。一部故障し、運転できない。(イ) 洋式トイレの数が少ない。(ウ) 車椅子による入館が困難。
これまでの保全の状況	耐震性は、資料棟が平成7年度の診断で改築の必要がある「Eランク」と診断された。平成15年度に緊急対応で耐震補強工事を行ったが、応急対策の施工にとどまっておらず未だ恒久的な対策が施されていない。また、「建築基準法第12条に基づく定期点検」において、違法状態と指摘されて未だ改善できない要件がある。
その他	面積のほとんどが、美術館と埋文に借用しており、本館で実際使用している面積は建物敷地程度となっている。台帳面積 143,583.14㎡ 美術館借用 130,408.44㎡ 埋文借用 7,500㎡ 図書館敷地 5,674.7㎡

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	今後も継続的に行政サービスを提供する責務があるため、施設面においては狭隘化・老朽化に対する改修が必要である。運用面においては、今後在り方を検討する必要があるため改善が妥当である。
上を裏付ける根拠(ある場合)	

#### □総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、スペースの活用に課題があるため、他の機能を取り込む等、集約を図る必要がある施設 また、建替え等の際にはスペースの課題の解消に努める必要がある施設
----	---



# 施設アセスメントシート

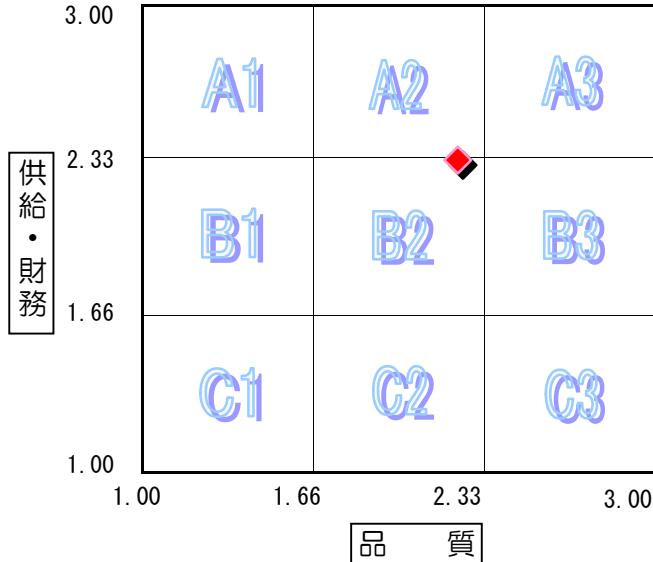
基本情報	施設番号	806007012001	施設名称	焼津青少年の家		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	焼津青少年の家			
	用途	研修施設		設置年	1986		
	施設目的	青少年の健全育成を図る					
	敷地面積	3,754.42 m <sup>2</sup>	延床面積	5,631.73 m <sup>2</sup>			内部
	土地台帳価格	51,736 千円	建物台帳価格	822,750 千円			
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m <sup>2</sup>			
	交通アクセス	最寄り駅:焼津駅から バス20分 徒歩5分					

◆ 第1段階 A2    品質 2.31点    供給・財務 2.33点

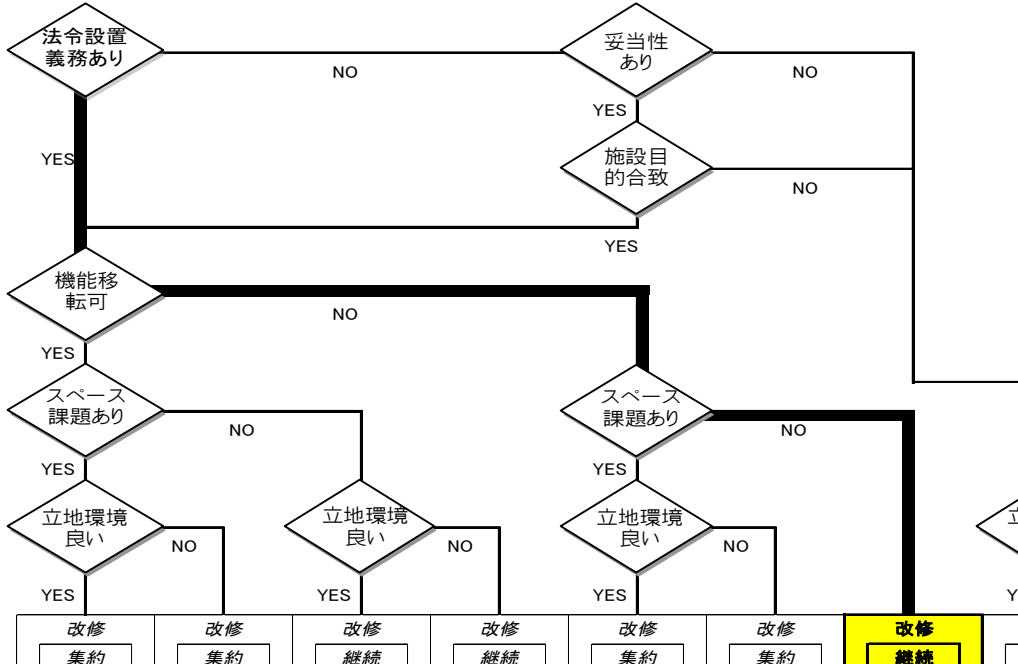
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	30.6年	1.96点
品質	建築劣化度	屋上防水	2008.3年 2.91点
		外壁	2004.5年 2.91点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2006.7年 2.96点
		受変電設備	1986.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.40GJ (56.74)	3.00点
供給	利用者数	37,434人 (49.49)	2.00点
財務	コスト/人	728円 (41.46)	3.00点
財務	コスト/面積	4,838円 (46.89)	2.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-



### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,269	百万円	維持管理費 B(※2)	464	百万円
	使用年数 A(※1)	30.6	年	小計	1,733	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	325	百万円	維持管理費 (※3)	151	百万円
	大規模改修費	1,197	百万円	建替え経費	89	百万円
	解体費	6	百万円	小計	1,767	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	325	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,575	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	2,543	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	年間延べ35,000人程度の利用がある。
これまでの保全の状況	屋根改修(平成22年・24年経過)20,790千円、ボイラー更新(平成22年・24年経過)4,673千円、外壁屋根改修(平成18年・20年経過)24,150千円
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	今後も継続的に行政サービス提供をする義務がある施設ではあるが、施設面においては、築30年を超え、修繕必要箇所がかなり増加しているため、補修等の手当てが必要である。第2段階の結果のとおり、継続・改修とするのが妥当。
上を裏付ける根拠(ある場合)	社会教育法第3条、第6条



#### □総合評価

施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、計画的な保全を適切に実施していくべき施設。
----	---

# 施設アセスメントシート

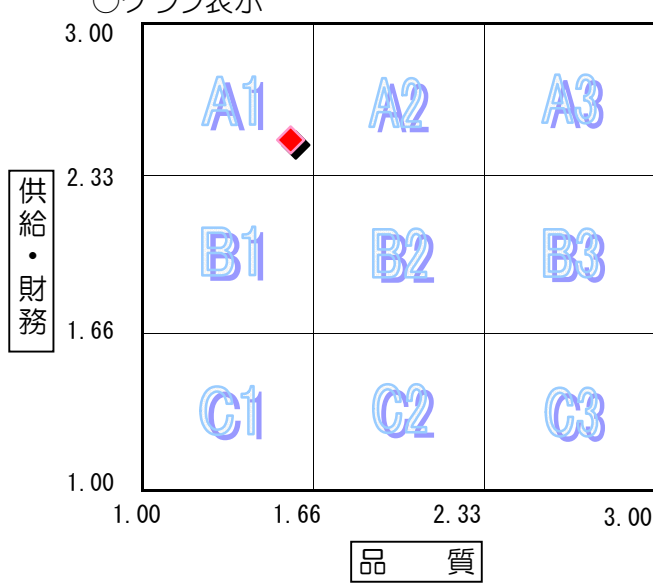
基本情報	施設番号	806009012001	施設名称	観音山少年自然の家	外部
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	観音山少年自然の家	
	用途	研修施設	設置年	1973	
	施設目的	団体宿泊訓練又は野外活動その他の自然に親しむ活動を通じて青少年の健全な育成その他社会教育の振興に寄与			
	敷地面積	0.00 m <sup>2</sup>	延床面積	2,794.80 m <sup>2</sup>	
	土地台帳価格	0 千円	建物台帳価格	67,555 千円	
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m <sup>2</sup>	
	交通アクセス	最寄り駅:遠州鉄道浜北駅から タクシー35分			

◆ 第1段階 A1    品質 1.61点    供給・財務 2.50点

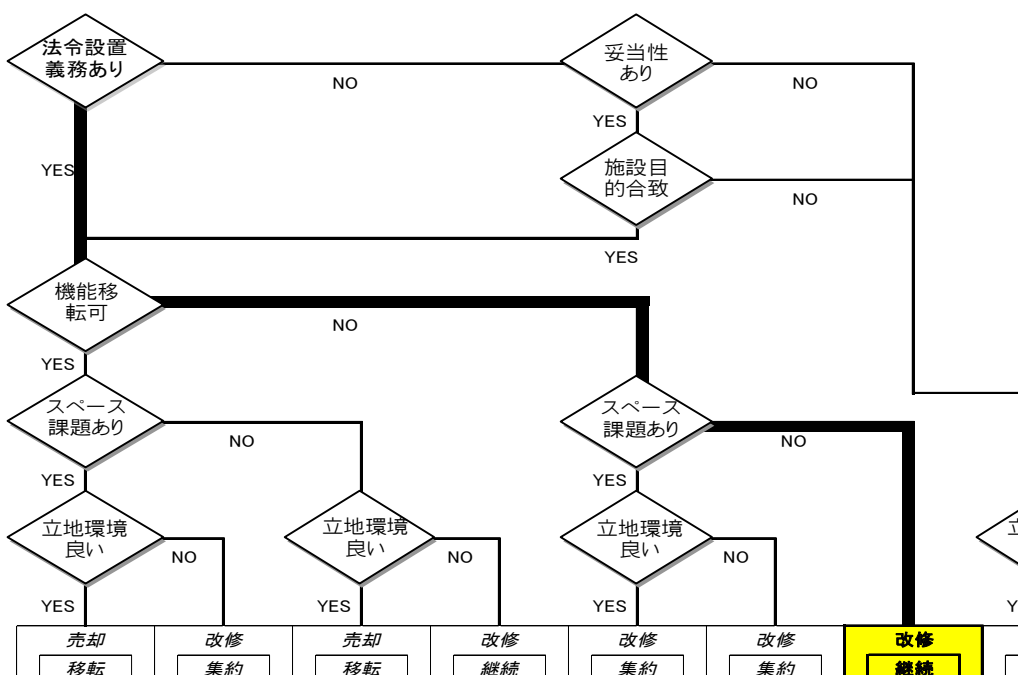
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	41.9年	1.14点
品質	建築劣化度	屋上防水	1996.0年 2.00点
		外壁	1993.4年 1.41点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2007.0年 2.58点
		受変電設備	1980.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.70GJ (53.66)	2.00点
供給	稼働率	79.4%	3.00点
財務	コスト/人	459円 (41.45)	3.00点
財務	コスト/面積	6,569円 (49.37)	2.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	204	百万円	維持管理費 B(※2)	356	百万円
	使用年数 A(※1)	41.9	年	小計	560	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	161	百万円	維持管理費 (※3)	85	百万円
	大規模改修費	620	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	866	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	161	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	782	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,262	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	平成27年度は、207の利用団体、延べ42,234人が利用した(平成3年以来の最多人数)。4月中旬から2月上旬まで義務教育諸学校の他幼稚園、保育園、こども園、少年団体等が入所した。過去5年間の数値を確認すると、1年間を通して開所日の内79.9%は利用団体が入所している。また、活動日には定員に対して82.7%宿泊している。
これまでの保全の状況	屋上防水の劣化により食堂で雨漏りが発生している。管理棟、宿泊棟及び高架水槽の塗装が劣化しており、12条点検で要是正の判定を受けている。平成18年度に耐震工事を実施。
その他	新東名高速道路浜松SAから車で15分の位置にあり、西部地区だけでなく中部地区の学校も利用するようになっている。また、周辺市町に青少年教育施設が少ないため、義務教育諸学校にとって本所の存在意義は大きいと考えられる。築40年以上経過しているが、建築当時と変わらない造りを保っているため、過去に利用したことをなつがしがる一般来所者も多い。

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	運用面においては、今後も社会教育施設として義務教育諸学校の団体宿泊訓練の場として提供する責務があると考えられる。その一方で、施設面においては築40年以上経ち老朽化が深刻化している。利用者の安全性と利便性に配慮した施設修繕はもとよりトイレの洋式化及び棟の塗装などを実施する必要もあり、第2段階の結果のとおり、継続・改修とするのが妥当。
上を裏付ける根拠(ある場合)	

#### □総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

# 施設アセスメントシート

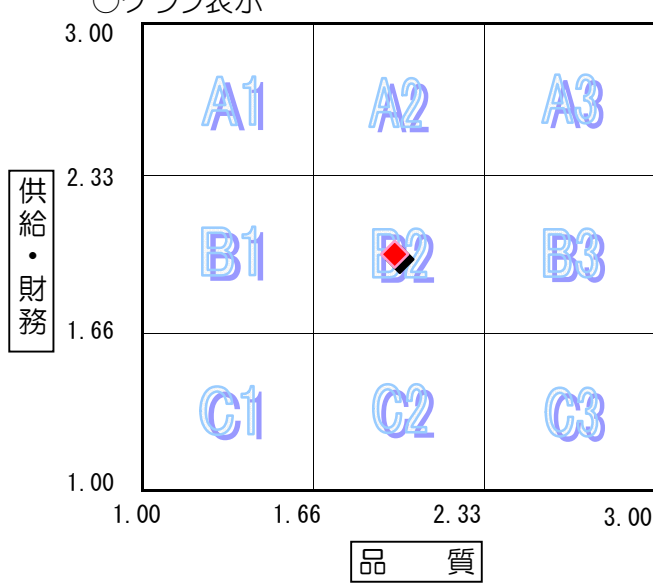
基本情報	施設番号	806014011001	施設名称	静岡県総合教育センター	外部
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	総合教育センター	
	用途	研修施設	設置年	1995	
	施設目的	教育に関する専門的研究及び教育関係職員の研修機関			
	敷地面積	99,216.44 m <sup>2</sup>	延床面積	20,269.93 m <sup>2</sup>	
	土地台帳価格	1,742,524 千円	建物台帳価格	5,911,583 千円	
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m <sup>2</sup>	
	交通アクセス	最寄り駅:いこいの広場駅から徒歩8分			

◆ 第1段階 **B2**    品質 2.05点    供給・財務 2.00点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

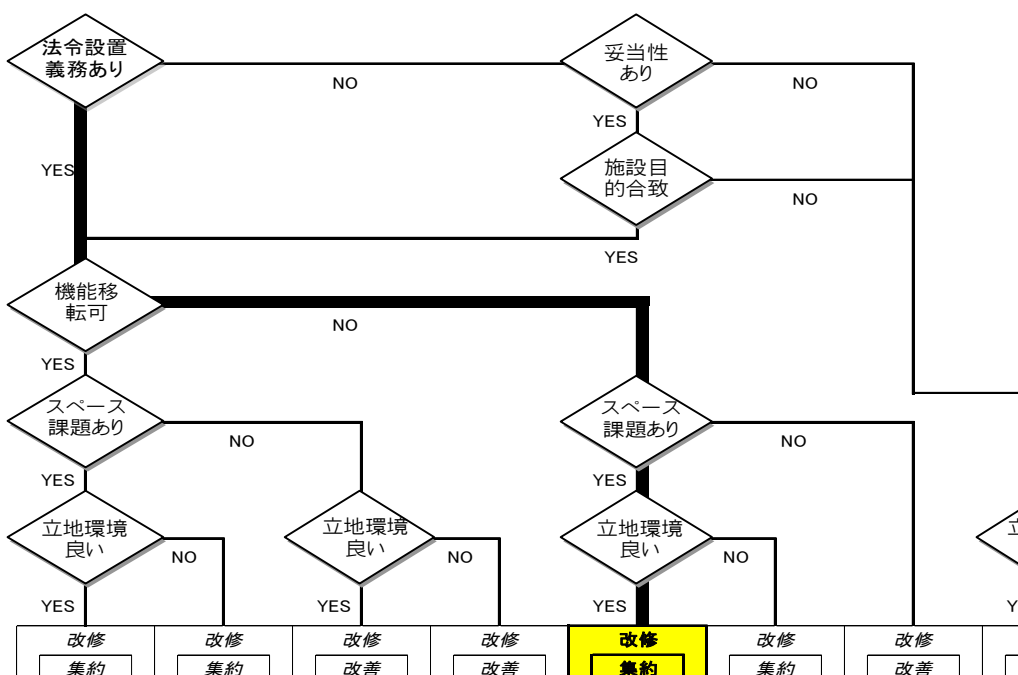
品質	建築後経過年数	21.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1995.0年 1.00点
		外壁	2015.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2006.0年 2.46点
		受変電設備	1995.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.70GJ (53.73)	2.00点
供給	稼働率	34.3%	2.00点
財務	コスト/人	4,909円 (41.53)	3.00点
財務	コスト/面積	7,112円 (50.14)	2.00点

○グラフ表示



品質

◆ 第2段階 **施設面: 改修**    **運用面: 集約**



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	YES
立地環境良	YES

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	9,419	百万円	維持管理費 B(※2)	1,724	百万円
	使用年数 A(※1)	21.0	年	小計	11,143	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	1,168	百万円	維持管理費 (※3)	821	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	1,989	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	1,168	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	5,668	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	9,155	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	平日昼間は、教育に関する研修及び研究、教育情報の収集・提供、教育相談(面接、電話相談、学習支援)、生涯学習推進、施設開放の場として、教職員だけでなく一般の人も利用している。平日夜間や土日は、施設開放や教育相談のため一般の利用が主である。建築当時から20年が経ち、指導要領の改訂や社会情勢の変化により、一部の部屋については、稼働率が低くなっており、今後の対応について課題となっている。
これまでの保全の状況	外壁、屋根、屋外設備の塗装剥がれや体育館屋根の腐食、食堂や体育館に雨漏りが見られる。また、空調設備の故障が頻発している。 H20冷凍機修繕工事約8,124千円、H21太陽光発電設備設置工事約16,800千円、H21内壁タイル撤去工事約8,441千円、H26講堂他天井応急補強工事13,500千円
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	運用面においては、今後も継続的に教育に関する研修・研究や教育相談、生涯学習、施設開放の場としての役割を提供する責務がある一方で、指導要領の改訂等による学校教育の変化や社会情勢の変化に伴い、一部の部屋で稼働率の低さが課題となっている。施設面においては築20年を超え設備面において著しい老朽化が見られ、建築面においても外壁や屋根を始めとする老朽化が見られるため改修等の手当てをする必要があり、第2段階の結果のとおり、集約・改修とするのが妥当。
上を裏付ける根拠(ある場合)	



#### □総合評価

施設面: **改修**

運用面: **集約**

補足 施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、スペースの活用に課題があるため、他の機能を取り込む等、集約を図る必要がある施設。

# 施設アセスメントシート

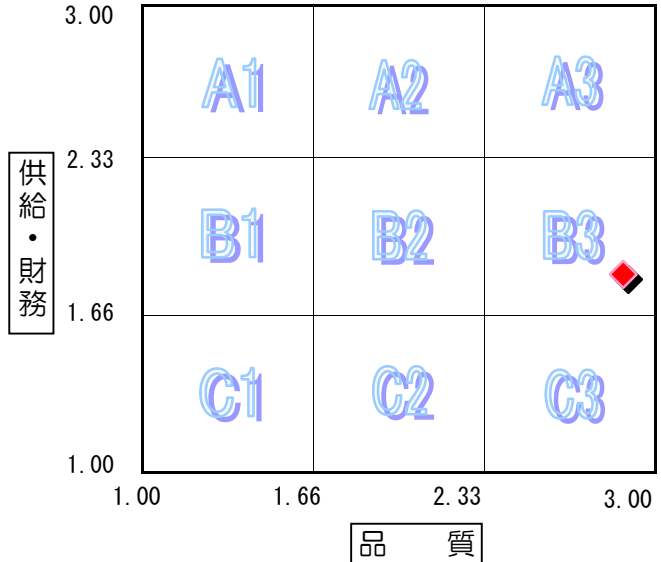
基本情報	施設番号	807002012001	施設名称	下田高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	下田高校		
	用途	教育施設		設置年	2007	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	38,909.29 m <sup>2</sup>		延床面積	12,239.30 m <sup>2</sup>	
	土地台帳価格	1,147,063 千円		建物台帳価格	1,783,924 千円	
	用途地域	住居地域		路線価	- 円/m <sup>2</sup>	
	交通アクセス	最寄り駅: 蓮台寺駅から 徒歩10分				

◆ 第1段階 B3    品質 3.00点    供給・財務 1.83点

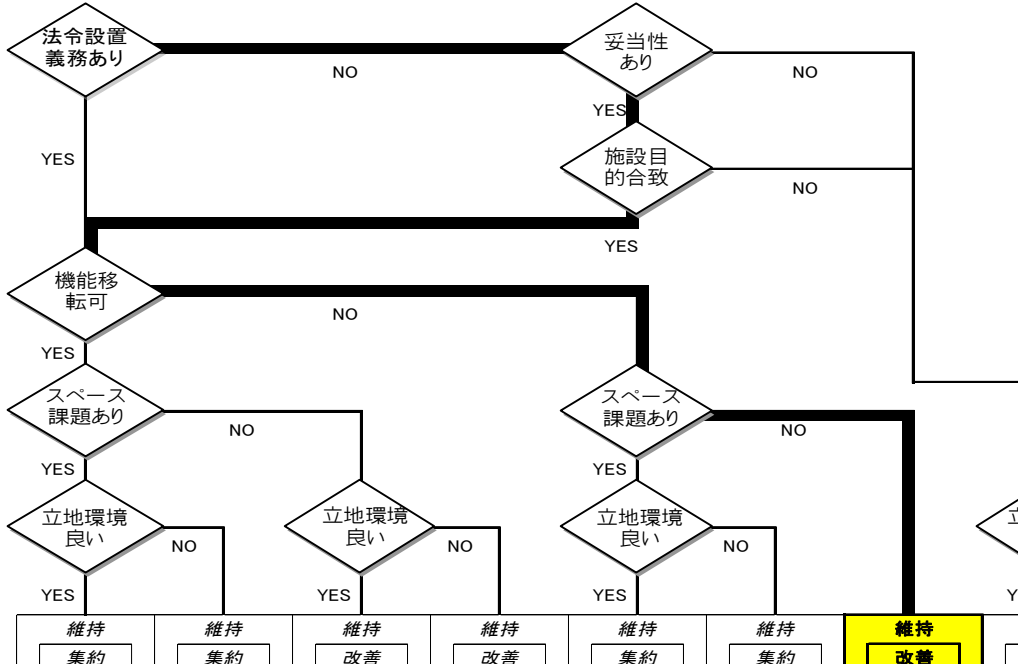
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	9.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2007.0年 3.00点
		外壁	2007.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2007.0年 3.00点
		受変電設備	2007.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.35GJ (56.11)	3.00点
供給	面積/人数	16.61m <sup>2</sup> (46.70)	3.00点
供給	生徒充足率	83.75%	1.00点
供給	入学試験倍率	0.8倍	1.00点
財務	コスト/人	212,501円 (45.32)	2.00点
財務	コスト/面積	1,476円 (42.07)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 維持    運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-



### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	2,147	百万円	維持管理費 B(※2)	37	百万円
	使用年数 A(※1)	9.0	年	小計	2,184	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	394	百万円	維持管理費 (※3)	41	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	434	百万円

※3  $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	394	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,648	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,408	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を下回り、各学年6クラスの中規模の普通高校(理数科)である。 定時制が設置されている学校である。
これまでの保全の状況	校舎についてはおおむね良好な状態であるが、外壁のひび割れ、雨水漏れ跡が一部見られる。 駐輪場については、床のひび割れが多数見られ、階段のモルタル剥がれは一部ある。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価



施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。

# 施設アセスメントシート

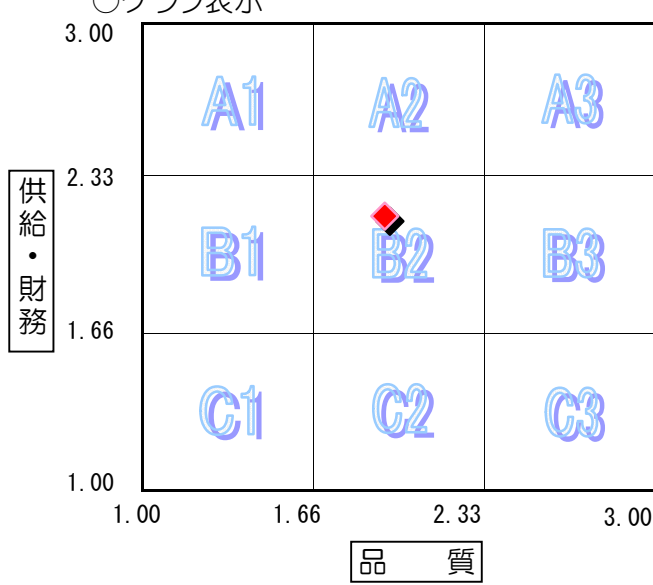
基本情報	施設番号	807002012002	施設名称	下田高等学校南伊豆分校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	下田高校		
	用途	教育施設		設置年	1978	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	13,723.58 m <sup>2</sup>		延床面積	2,932.01 m <sup>2</sup>	
	土地台帳価格	104,499 千円		建物台帳価格	130,786 千円	
	用途地域	指定なし		路線価	- 円/m <sup>2</sup>	
	交通アクセス	最寄り駅:下田駅から バス40分				

◆ 第1段階 B2    品質 2.01点    供給・財務 2.17点

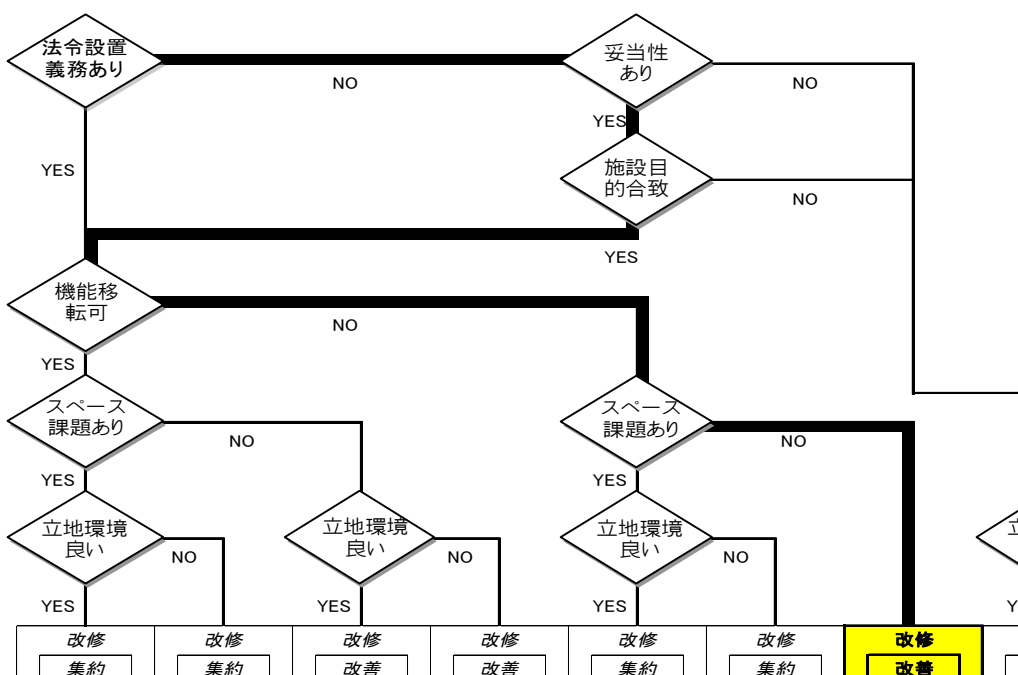
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	35.3年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水 1980.7年	1.00点
		外壁 1980.7年	1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1990.7年	1.55点
		受変電設備 2012.0年	3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.22GJ (59.82)	3.00点
供給	面積/人数	26.41m <sup>2</sup> (53.28)	3.00点
供給	生徒充足率	92.50%	1.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	2.00点
財務	コスト/人	136,997円 (43.94)	3.00点
財務	コスト/面積	1,075円 (41.50)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-



### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	355	百万円	維持管理費 B(※2)	24	百万円
	使用年数 A(※1)	35.3	年	小計	379	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	94	百万円	維持管理費 (※3)	7	百万円
	大規模改修費	486	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	587	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	94	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	634	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,056	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年1クラスの小規模の農業高校である。
これまでの保全の状況	管理棟及び教室については、概ね良好な状態である。体育館及び実習棟については、壁のひび割れ、鉄部の発錆び、コーキングの破損・劣化が見られる。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

# 施設アセスメントシート

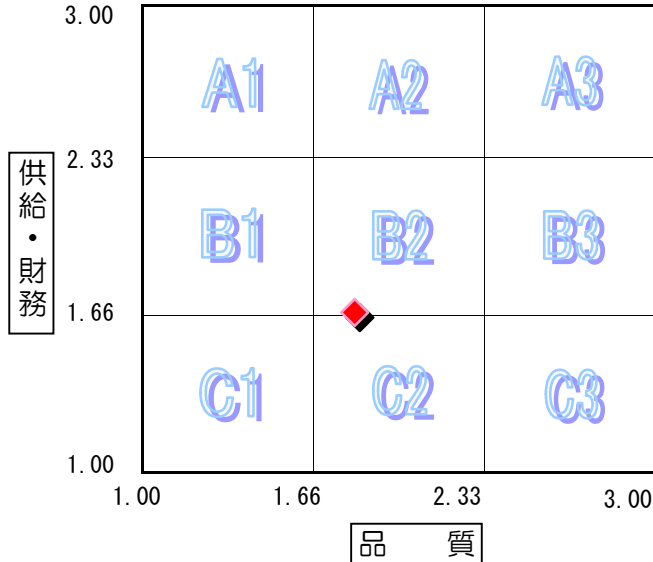
基本情報	施設番号	807003012001	施設名称	松崎高等学校		外部
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	松崎高校		
	用途	教育施設		設置年	1963	
	施設目的	高等学校				
	敷地面積	46,088.41 m <sup>2</sup>	延床面積	10,086.04 m <sup>2</sup>		内部
	土地台帳価格	1,552,085 千円	建物台帳価格	350,348 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅:伊豆急下田駅から バス30分 徒歩15分				

◆ 第1段階 B2    品質 1.88点    供給・財務 1.67点

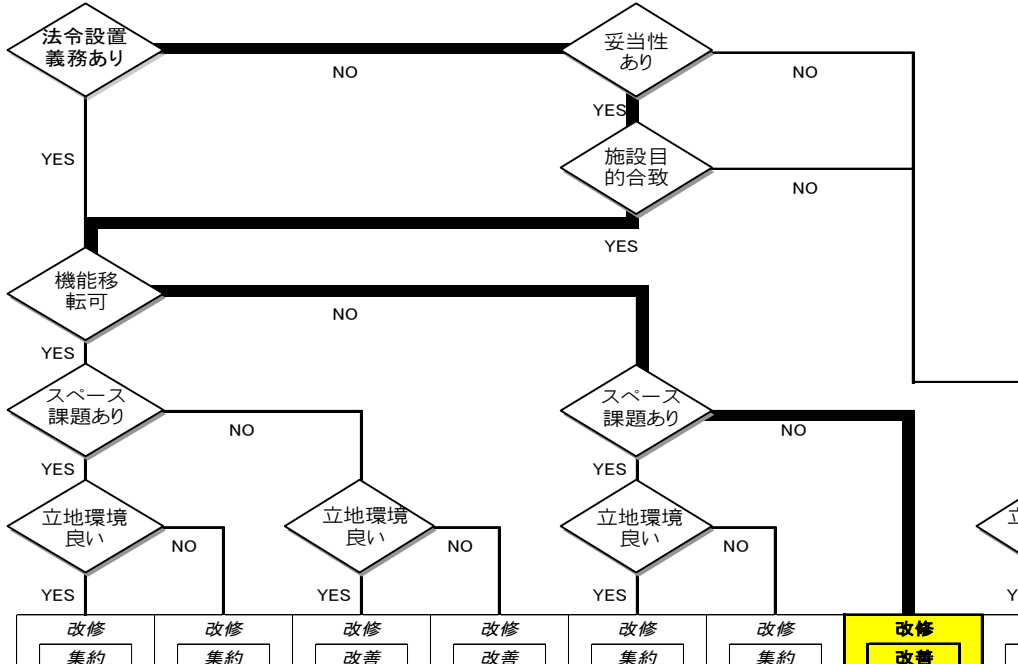
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	47.8年	1.14点
品質	建築劣化度	屋上防水	2008.3年 2.53点
		外壁	2012.7年 2.81点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1985.9年 1.00点
		受変電設備	2008.6年 2.81点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.19GJ (60.69)	3.00点
供給	面積/人数	33.62m <sup>2</sup> (58.11)	2.00点
供給	生徒充足率	83.33%	1.00点
供給	入学試験倍率	0.8倍	1.00点
財務	コスト/人	513,500円 (50.81)	2.00点
財務	コスト/面積	2,393円 (43.39)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	525	百万円	維持管理費 B(※2)	46	百万円
	使用年数 A(※1)	47.8	年	小計	571	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	324	百万円	維持管理費 (※3)	10	百万円
	大規模改修費	263	百万円	建替え経費	2,367	百万円
	解体費	162	百万円	小計	3,125	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	324	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,182	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,633	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を下回り、各学年3クラスの小規模の普通高校である。 東部特別支援学校伊豆松崎分校が併設されている。
これまでの保全の状況	地域柄、発錆が著しく内外装ともに劣化している箇所もあるが、校舎等については防水や外壁修繕が適切に行われており、概ね良好な保全状態である。ただし、一つの体育館は劣化が著しく、現在は使用を停止している。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価


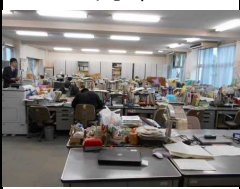
施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

# 施設アセスメントシート

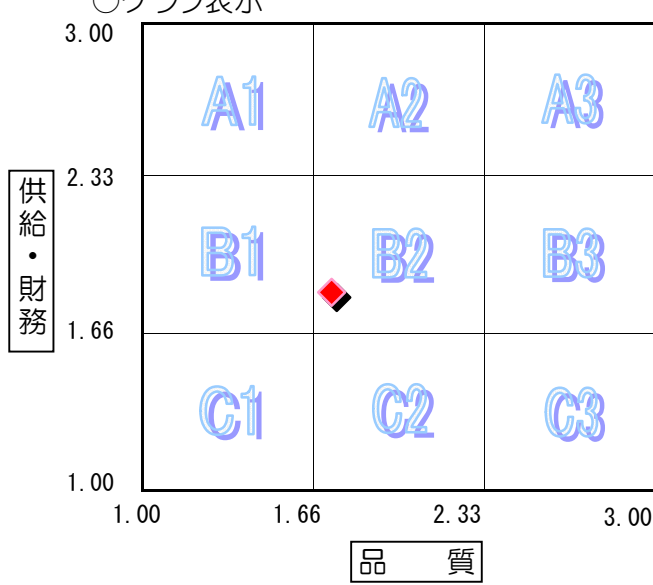
基本情報	施設番号	807004012001	施設名称	稲取高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	稲取高校		
	用途	教育施設		設置年	1967	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	46,714.82 m <sup>2</sup>	延床面積	8,950.03 m <sup>2</sup>		
	土地台帳価格	1,298,672 千円	建物台帳価格	311,215 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅:伊豆稲取駅から バス5分 徒歩1分				

◆ 第1段階 B2    品質 1.78点    供給・財務 1.83点

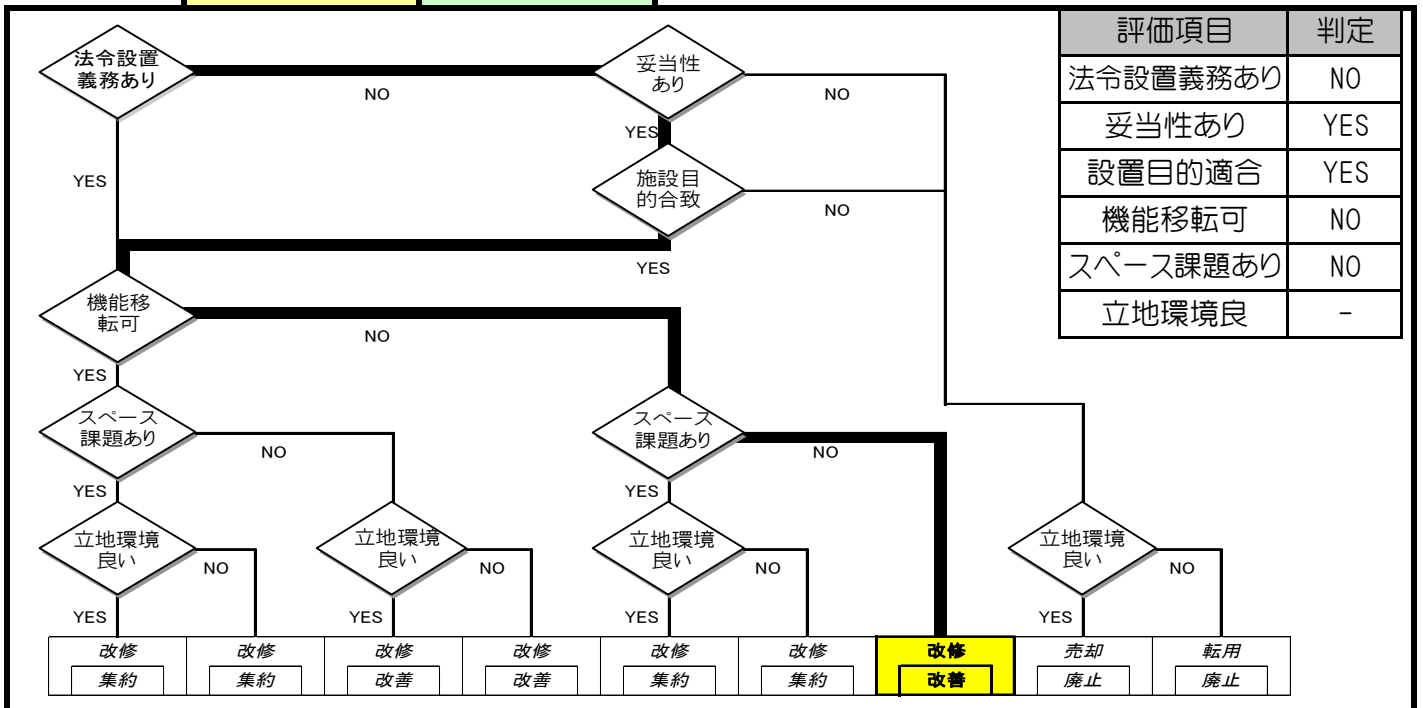
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	42.1年	1.26点
品質	建築劣化度	屋上防水 1996.4年	1.30点
		外壁 2009.2年	2.47点
品質	設備劣化度	空気調和設備 2001.3年	1.87点
		受変電設備 2002.0年	2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.21GJ (60.34)	3.00点
供給	面積/人数	27.97m <sup>2</sup> (54.32)	3.00点
供給	生徒充足率	88.89%	1.00点
供給	入学試験倍率	0.9倍	1.00点
財務	コスト/人	413,562円 (48.99)	2.00点
財務	コスト/面積	1,941円 (42.74)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 改善



◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	691	百万円	維持管理費 B(※2)	34	百万円
	使用年数 A(※1)	42.1	年	小計	725	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	288	百万円	維持管理費 (※3)	8	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	2,020	百万円
	解体費	138	百万円	小計	2,454	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	288	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,936	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,224	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を下回り、各学年3クラスの小規模の普通高校である。
これまでの保全の状況	地域柄、発錆が著しく内外装ともに劣化している箇所もあるが、校舎等については概ね良好な保全状態である。体育館においては、内外の壁に亀裂が見られる。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

# 施設アセスメントシート

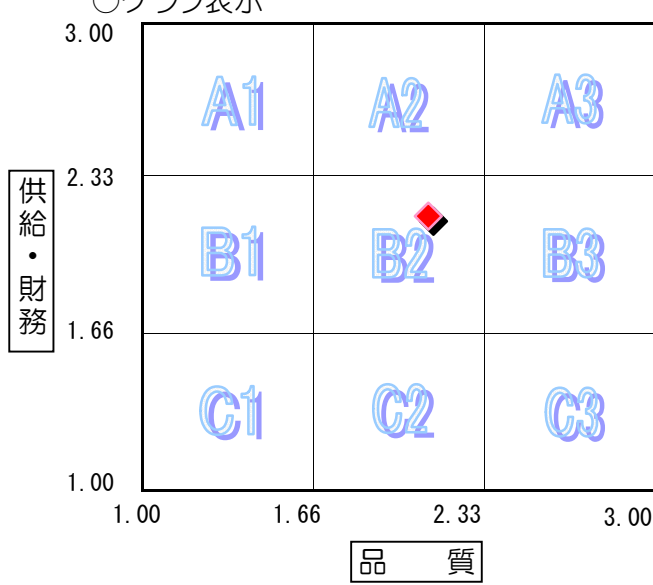
基本情報	施設番号	807005012001	施設名称	伊東高等学校		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	伊東高校			
	用途	教育施設		設置年	1977		
	施設目的	高等学校					
	敷地面積	50,604.82 m <sup>2</sup>		延床面積	10,007.57 m <sup>2</sup>		内部
	土地台帳価格	2,183,598 千円		建物台帳価格	298,399 千円		
	用途地域	指定なし		路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅:伊東駅から バス11分					

◆ 第1段階 B2    品質 2.19点    供給・財務 2.17点

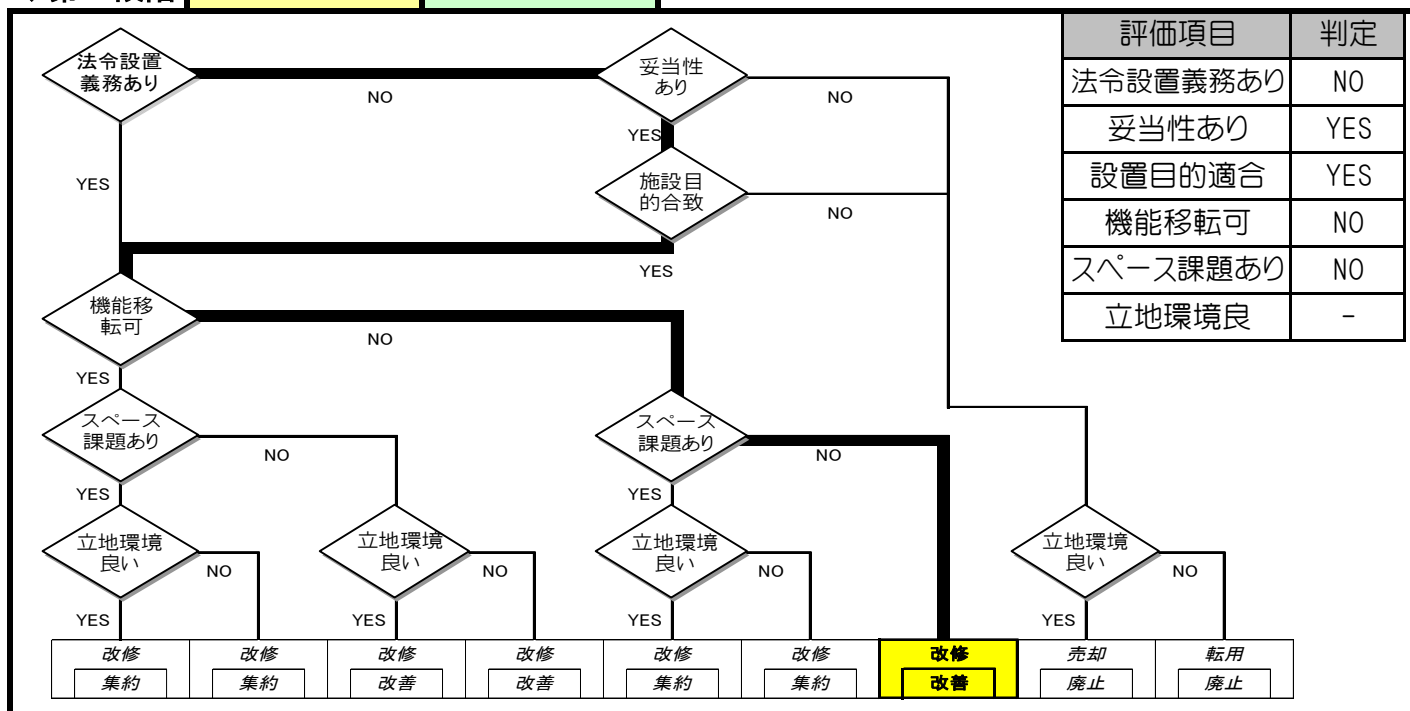
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	38.8年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水 2009.4年	2.79点
		外壁 2003.4年	2.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備 2000.8年	2.57点
		受変電設備 1977.2年	1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.27GJ (58.45)	3.00点
供給	面積/人数	20.30m <sup>2</sup> (49.17)	3.00点
供給	生徒充足率	102.71%	2.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	218,239円 (45.42)	2.00点
財務	コスト/面積	1,439円 (42.02)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 改善



### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	657	百万円	維持管理費 B(※2)	78	百万円
	使用年数 A(※1)	38.8	年	小計	735	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	322	百万円	維持管理費 (※3)	20	百万円
	大規模改修費	1,843	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	2,185	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	322	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,165	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,604	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年4クラスの小規模の普通高校である。 定時制が設置されている。
これまでの保全の状況	建物については、概ね良好な保全状態であるが、階段室に置いて雨漏りによる剥離が多数ある。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価

施設面: **改修**



運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設



# 施設アセスメントシート

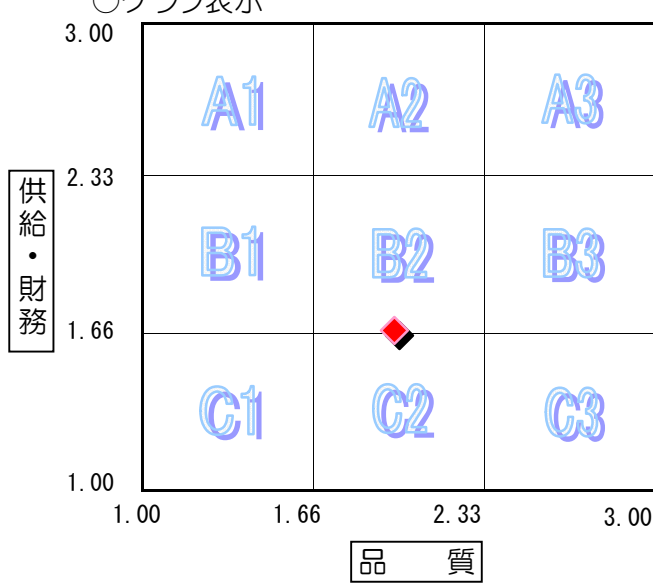
基本情報	施設番号	807005012003	施設名称	伊東高等学校城ヶ崎分校		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	伊東高校			
	用途	教育施設		設置年	1983		
	施設目的	高等学校					
	敷地面積	40,733.36 m <sup>2</sup>	延床面積	8,605.29 m <sup>2</sup>			内部
	土地台帳価格	1,022,407 千円	建物台帳価格	516,719 千円			
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m <sup>2</sup>			
	交通アクセス	最寄り駅:伊豆急行城ヶ崎海岸駅から徒歩15分					

◆第1段階 B2    品質 2.04点    供給・財務 1.67点

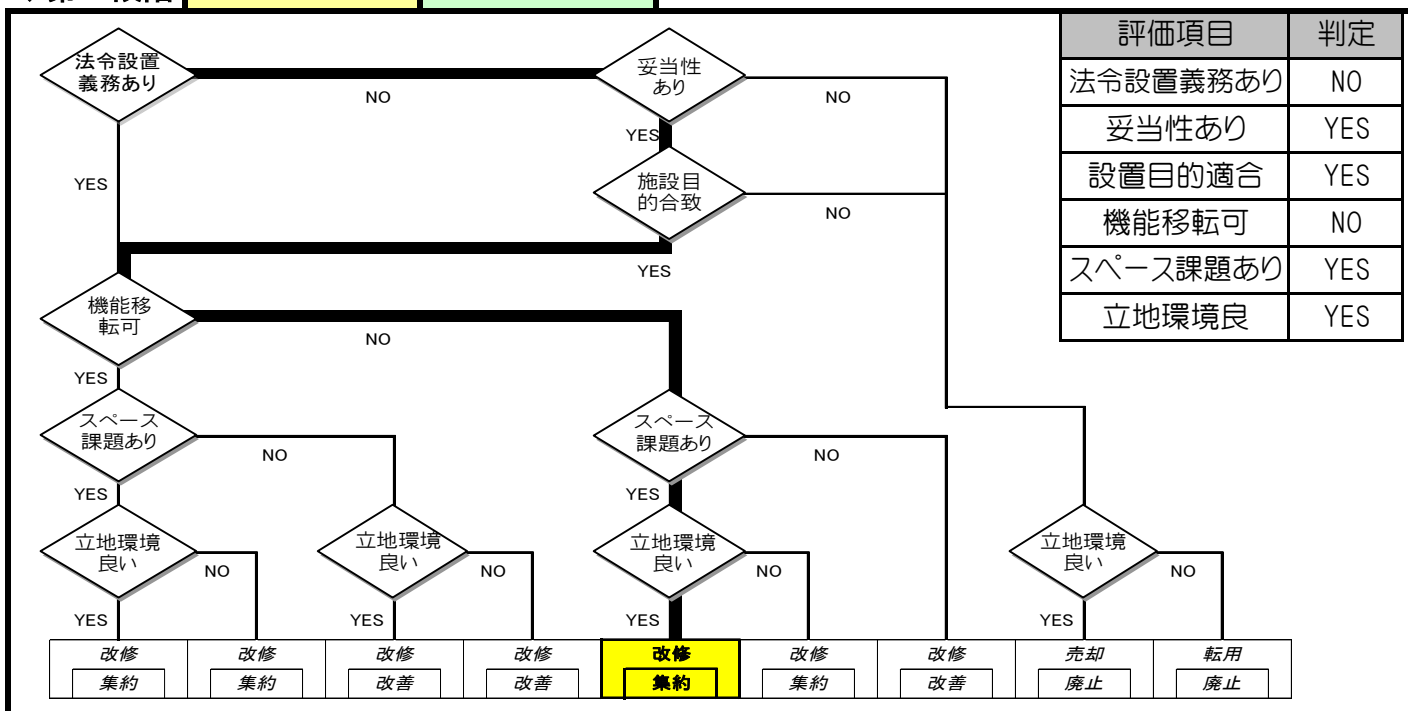
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	32.7年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2002.4年 2.00点
		外壁	1994.3年 1.61点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1998.3年 2.02点
		受変電設備	1988.6年 1.31点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.18GJ (61.22)	3.00点
供給	面積/人数	86.05m <sup>2</sup> (93.27)	1.00点
供給	生徒充足率	83.33%	1.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	585,156円 (52.12)	2.00点
財務	コスト/面積	1,632円 (42.30)	3.00点

○グラフ表示



◆第2段階 施設面: 改修    運用面: 集約





◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	742	百万円	維持管理費 B(※2)	61	百万円
	使用年数 A(※1)	32.7	年	小計	803	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	277	百万円	維持管理費 (※3)	19	百万円
	大規模改修費	1,585	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	1,881	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	277	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,862	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,099	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年1クラスの小規模の普通高校である。 東部特別支援学校伊豆高原分校が併設されている。
これまでの保全の状況	建物については、概ね良好な保全状態である。
その他	伊東地域の生徒が通学する分校であり、過疎地域の教育機会を保障する観点から現時点では集約は予定なし。

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画



総合評価

施設面: **改修**

運用面: **集約**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、スペースの活用に課題があるため、他の機能を取り込む等、集約を図る必要がある施設。
----	--

# 施設アセスメントシート

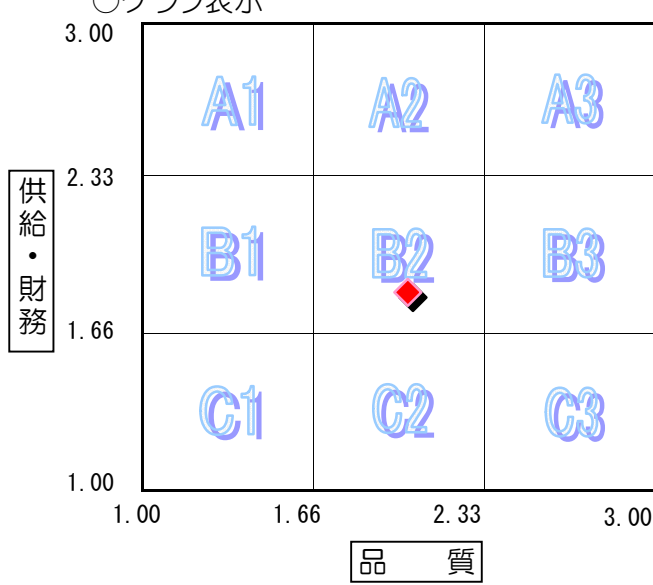
基本情報	施設番号	807006012001	施設名称	伊東商業高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	伊東商業高校		
	用途	教育施設		設置年	1996	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	43,827.08 m <sup>2</sup>	延床面積	11,875.74 m <sup>2</sup>		
	土地台帳価格	2,815,139 千円	建物台帳価格	986,119 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅:川奈駅から 徒歩20分				

◆ 第1段階 B2    品質 2.10点    供給・財務 1.83点

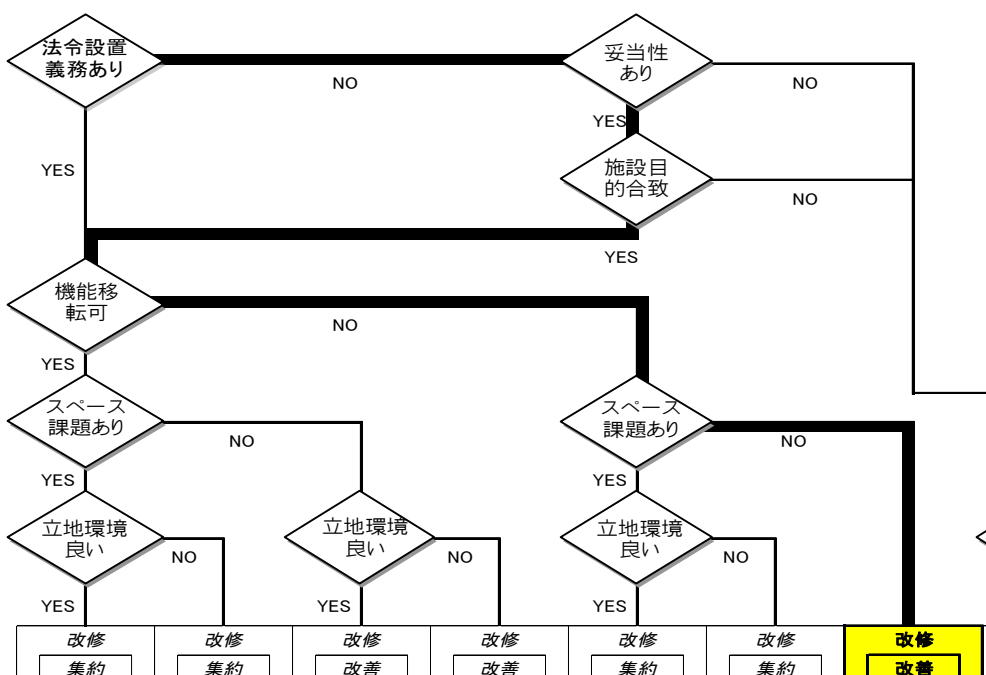
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	36.0年	1.99点
品質	建築劣化度	屋上防水	1999.1年 2.12点
		外壁	2009.0年 2.65点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1989.7年 1.80点
		受変電設備	1986.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.30GJ (57.73)	3.00点
供給	面積/人数	26.93m <sup>2</sup> (53.62)	3.00点
供給	生徒充足率	91.88%	1.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	1.00点
財務	コスト/人	301,150円 (46.94)	2.00点
財務	コスト/面積	1,065円 (41.49)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,720	百万円	維持管理費 B(※2)	50	百万円
	使用年数 A(※1)	36.0	年	小計	1,770	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	382	百万円	維持管理費 (※3)	14	百万円
	大規模改修費	172	百万円	建替え経費	1,703	百万円
	解体費	117	百万円	小計	2,387	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	382	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,570	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,277	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年4クラスの小規模の商業高校である。
これまでの保全の状況	建物については、概ね良好な保全状態である。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

# 施設アセスメントシート

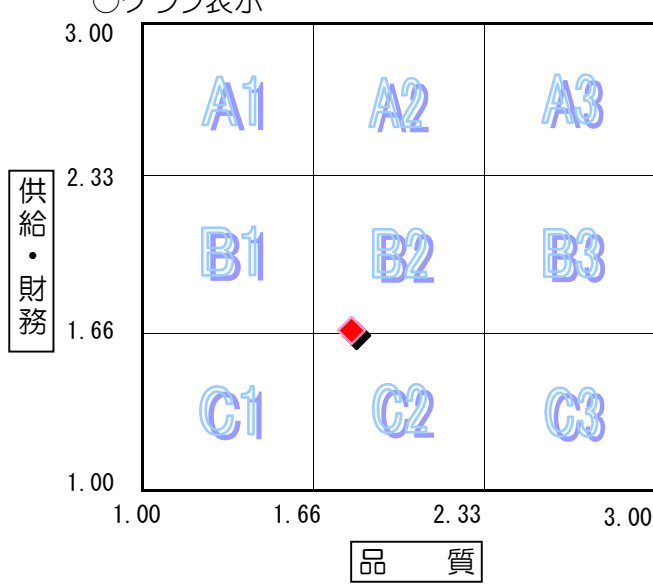
基本情報	施設番号	807007012001	施設名称	熱海高等学校		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	熱海高校			
	用途	教育施設		設置年	1967		
	施設目的	高等学校					
	敷地面積	45,596.65 m <sup>2</sup>	延床面積	8,987.24 m <sup>2</sup>			内部
	土地台帳価格	1,566,896 千円	建物台帳価格	60,844 千円			
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m <sup>2</sup>			
	交通アクセス	最寄り駅:伊豆多賀駅から 徒歩20分					

◆ 第1段階 B2    品質 1.87点    供給・財務 1.67点

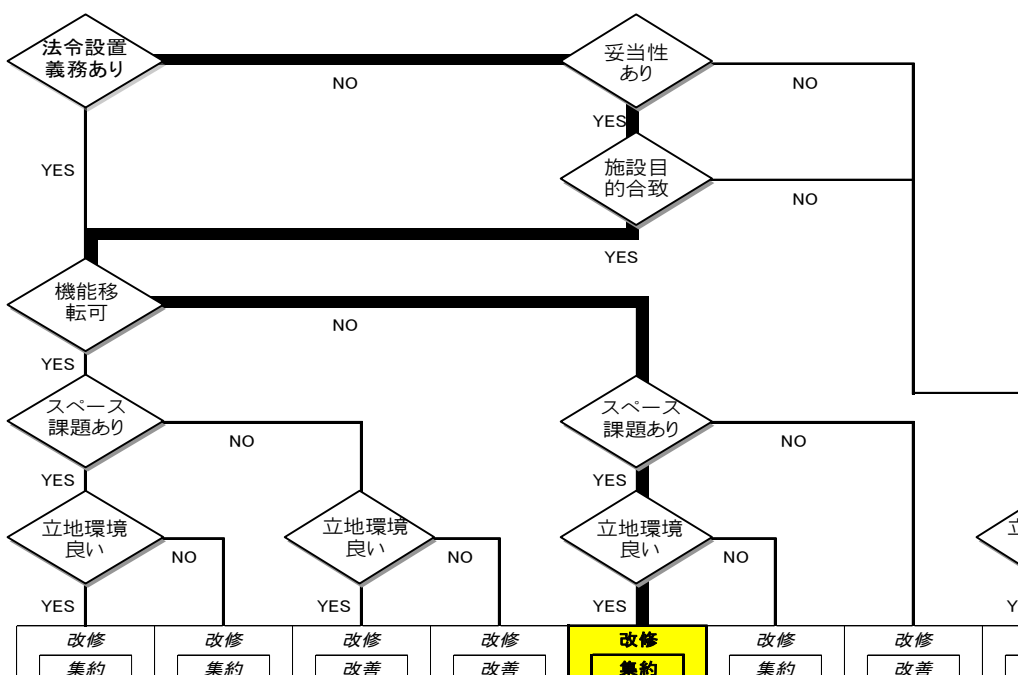
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	46.5年	1.12点
品質	建築劣化度	屋上防水 2003.2年	2.49点
		外壁 2004.7年	2.49点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1975.8年	1.15点
		受変電設備 2011.0年	3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.16GJ (61.64)	3.00点
供給	面積/人数	34.97m <sup>2</sup> (59.01)	2.00点
供給	生徒充足率	71.39%	1.00点
供給	入学試験倍率	0.6倍	1.00点
財務	コスト/人	614,663円 (52.66)	2.00点
財務	コスト/面積	3,214円 (44.56)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 集約



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	YES
立地環境良	YES

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	402	百万円	維持管理費 B(※2)	98	百万円
	使用年数 A(※1)	46.5	年	小計	500	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	289	百万円	維持管理費 (※3)	21	百万円
	大規模改修費	197	百万円	建替え経費	2,431	百万円
	解体費	166	百万円	小計	3,104	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	289	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,945	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,237	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を下回り、各学年3クラスの小規模の普通高校である。
これまでの保全の状況	建物については、概ね良好な状態である。
その他	熱海地域の唯一の普通高校であり、地域の普通教育を保障する観点から現時点では集約の予定なし。

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画



#### □総合評価

施設面: **改修**

運用面: **集約**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、スペースの活用に課題があるため、他の機能を取り込む等、集約を図る必要がある施設。
----	--

# 施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	807008012001	施設名称	土肥高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	土肥高校		
	用途	教育施設		設置年	1972	
	施設目的	高等学校				
	敷地面積	21,299.40 m <sup>2</sup>	延床面積	6,984.89 m <sup>2</sup>		内部 
	土地台帳価格	702,517 千円	建物台帳価格	179,711 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅:修善寺から バス45分				

◆ 第1段階 **B2**      品質 1.91点      供給・財務 1.67点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	39.3年	1.37点
品質	建築劣化度	屋上防水	2004.7年 2.38点
		外壁	2003.0年 2.30点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1995.2年 1.76点
		受変電設備	2002.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.16GJ (61.60)	3.00点
供給	面積/人数	75.92m <sup>2</sup> (86.48)	1.00点
供給	生徒充足率	43.81%	1.00点
供給	入学試験倍率	0.5倍	1.00点
財務	コスト/人	147,287円 (44.13)	3.00点
財務	コスト/面積	759円 (41.05)	3.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 **施設面: 改修**      **運用面: 改善**

評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	441	百万円	維持管理費 B(※2)	39	百万円
	使用年数 A(※1)	39.3	年	小計	480	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	225	百万円	維持管理費 (※3)	10	百万円
	大規模改修費	1,233	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	1,468	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	225	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,511	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	2,516	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を下回り、各学年2クラスの小規模の普通高校である。
これまでの保全の状況	建物については、概ね良好な保全状態である。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

総合評価

施設面: **改修**



運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。



# 施設アセスメントシート

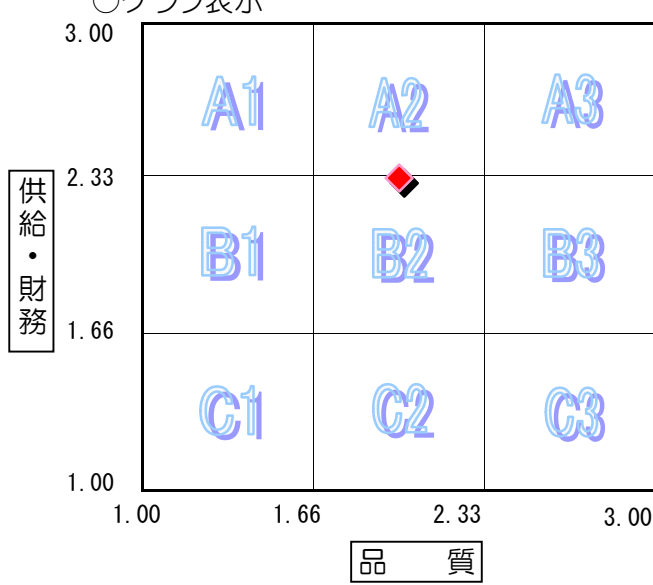
基本情報	施設番号	807011012001	施設名称	葦山高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	葦山高校		
	用途	教育施設		設置年	1992	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	17,895.20 m <sup>2</sup>	延床面積	15,045.75 m <sup>2</sup>		
	土地台帳価格	905,088 千円	建物台帳価格	1,059,543 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅: 葦山駅から 徒歩15分				

◆ 第1段階 A2    品質 2.07点    供給・財務 2.33点

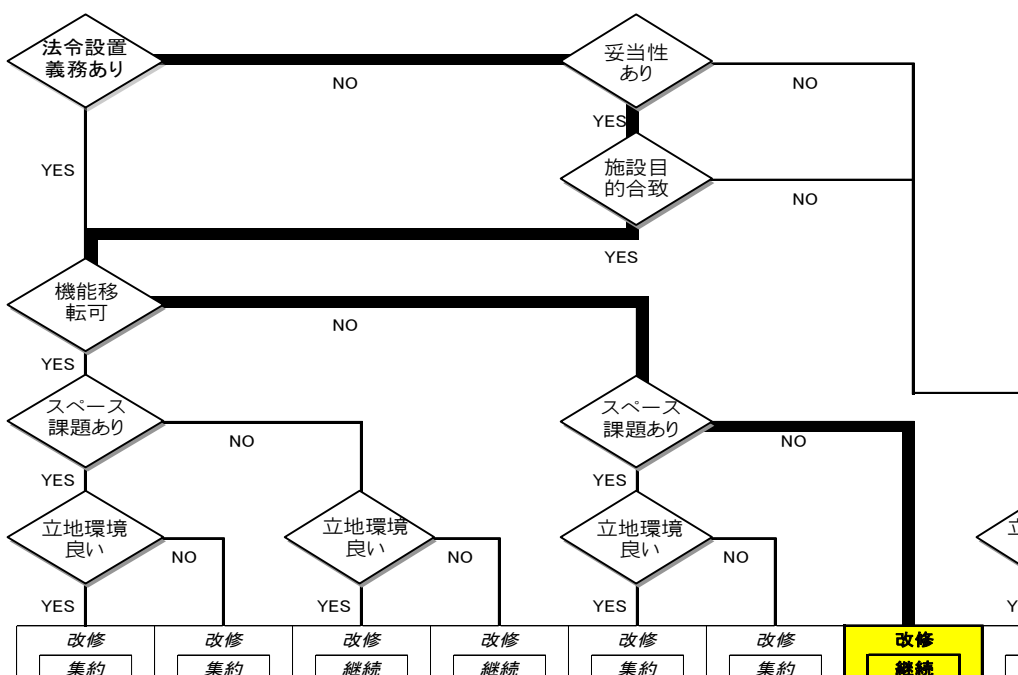
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	33.5年	1.60点
品質	建築劣化度	屋上防水	2007.1年 2.41点
		外壁	2004.5年 2.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2006.4年 2.55点
		受変電設備	2004.2年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.27GJ (58.44)	3.00点
供給	面積/人数	17.72m <sup>2</sup> (47.45)	3.00点
供給	生徒充足率	101.07%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	2.00点
財務	コスト/人	300,487円 (46.92)	2.00点
	コスト/面積	1,618円 (42.28)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,739	百万円	維持管理費 B(※2)	11	百万円
	使用年数 A(※1)	33.5	年	小計	1,750	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	484	百万円	維持管理費 (※3)	3	百万円
	大規模改修費	691	百万円	建替え経費	1,396	百万円
	解体費	96	百万円	小計	2,670	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	484	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	3,255	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	5,419	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年7クラスの中規模の普通高校である。
これまでの保全の状況	校舎・体育館等において、外壁のクラック・塗装の剥離、防水層の劣化等が多数見られる。学校に隣接する擁壁については、劣化・損傷が見られる。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

# 施設アセスメントシート

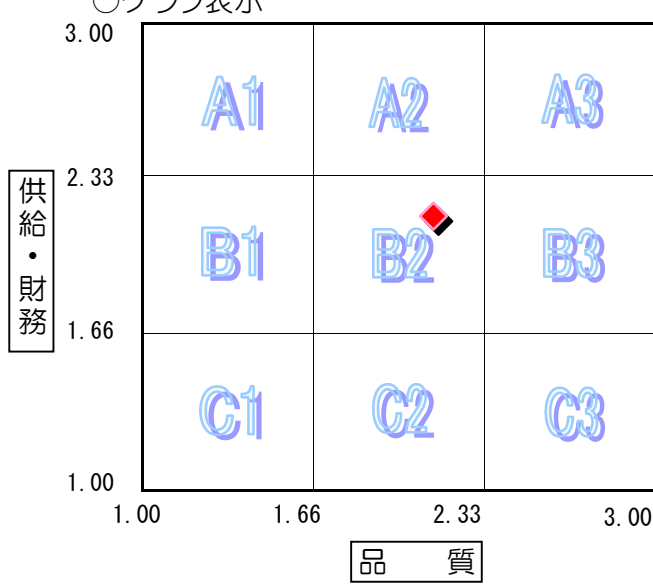
基本情報	施設番号	807012012001	施設名称	伊豆中央高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	伊豆中央高校		
	用途	教育施設		設置年	1979	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	39,722.99 m <sup>2</sup>		延床面積	10,254.58 m <sup>2</sup>	
	土地台帳価格	2,371,472 千円		建物台帳価格	529,042 千円	
	用途地域	住居地域		路線価	- 円/m <sup>2</sup>	
	交通アクセス	最寄り駅:伊豆長岡駅から 徒歩15分				

◆ 第1段階 B2    品質 2.21点    供給・財務 2.17点

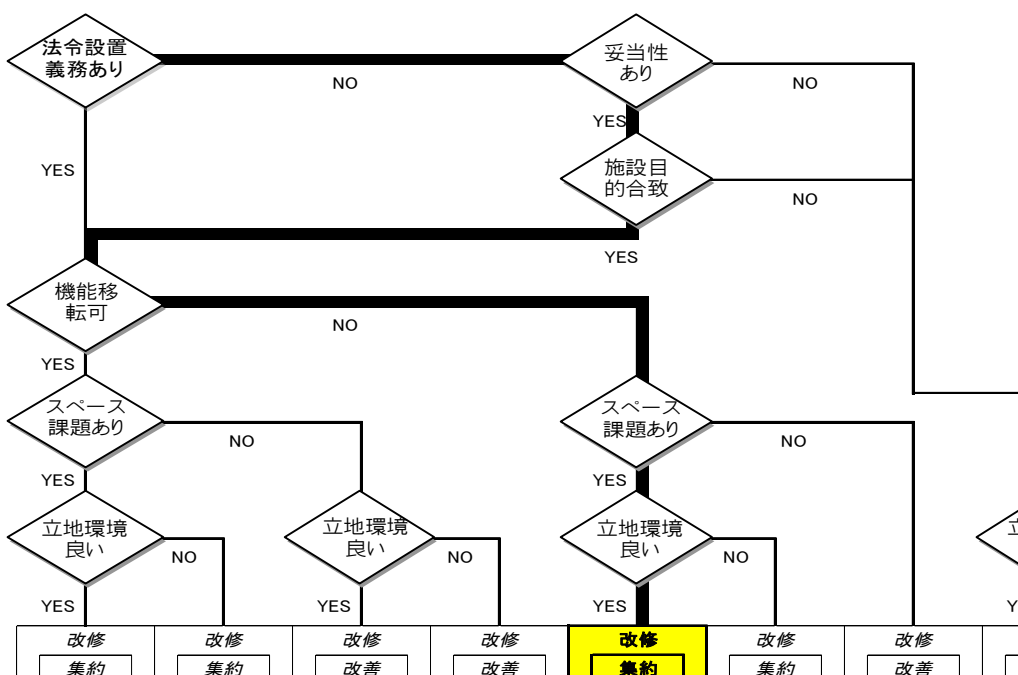
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	35.7年	2.05点
品質	建築劣化度	屋上防水 2002.8年	2.00点
		外壁 1998.2年	1.80点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1999.0年	1.60点
		受変電設備 2014.1年	2.95点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.23GJ (59.63)	3.00点
供給	面積/人数	15.85m <sup>2</sup> (46.19)	3.00点
供給	生徒充足率	107.83%	1.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	192,073円 (44.95)	3.00点
財務	コスト/面積	1,030円 (41.44)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 集約



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	YES
立地環境良	YES

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	727	百万円	維持管理費 B(※2)	44	百万円
	使用年数 A(※1)	35.7	年	小計	771	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	330	百万円	維持管理費 (※3)	12	百万円
	大規模改修費	1,788	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	2,130	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	330	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,219	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,693	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年5クラスの小規模の普通高校である。
これまでの保全の状況	建物については、概ね良好な保全状態であるが、一部塗装の剥離が著しい箇所がある。
その他	中伊豆地域の中核を担う学校であり、現時点では集約の予定なし。

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画


#### □総合評価

施設面: **改修**

運用面: **集約**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、スペースの活用に課題があるため、他の機能を取り込む等、集約を図る必要がある施設。
----	--

# 施設アセスメントシート

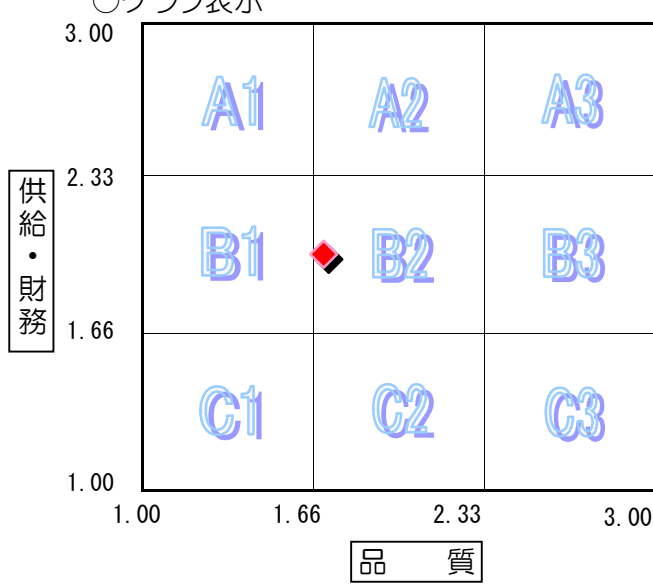
基本情報	施設番号	807013012001	施設名称	田方農業高等学校		外部
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	田方農業高校		
	用途	教育施設		設置年	1963	
	施設目的	高等学校				
	敷地面積	65,683.02 m <sup>2</sup>	延床面積	13,510.30 m <sup>2</sup>		内部
	土地台帳価格	5,183,976 千円	建物台帳価格	284,184 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅:伊豆仁田駅から 徒歩2分				

◆ 第1段階 B2    品質 1.75点    供給・財務 2.00点

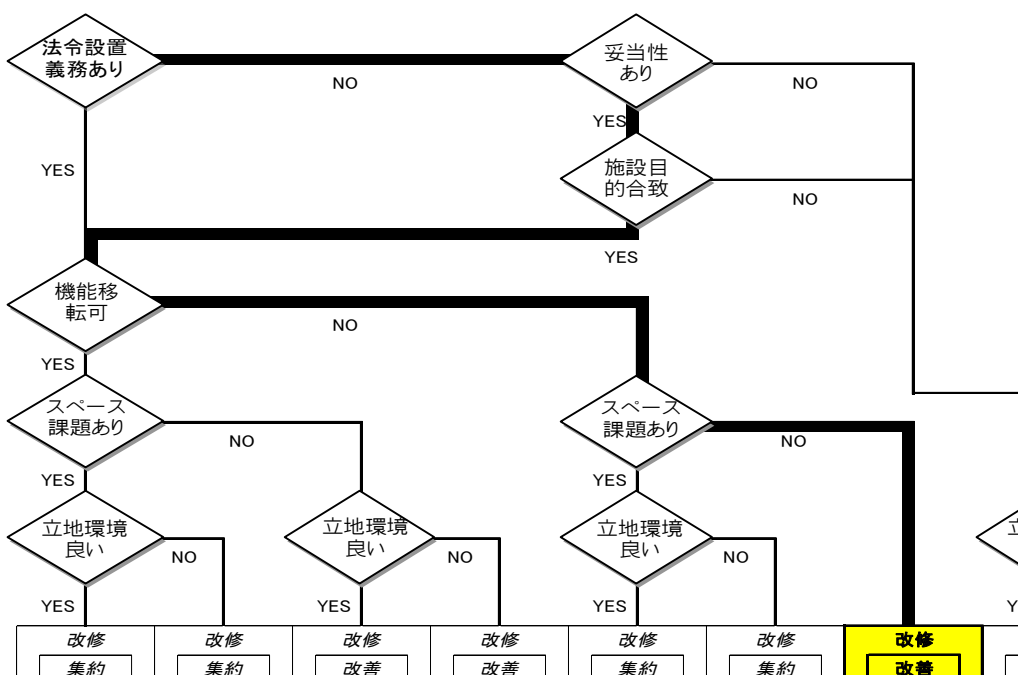
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	43.9年	1.26点
品質	建築劣化度	屋上防水	2002.5年 2.22点
		外壁	2006.3年 2.55点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2000.0年 1.96点
		受変電設備	1990.9年 1.09点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.47GJ (52.76)	2.00点
供給	面積/人数	21.14m <sup>2</sup> (49.74)	3.00点
供給	生徒充足率	106.50%	1.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	487,889円 (50.34)	2.00点
財務	コスト/面積	3,214円 (44.56)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	748	百万円	維持管理費 B(※2)	78	百万円
	使用年数 A(※1)	43.9	年	小計	826	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	435	百万円	維持管理費 (※3)	18	百万円
	大規模改修費	296	百万円	建替え経費	3,010	百万円
	解体費	206	百万円	小計	3,965	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	435	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,923	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,866	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年5クラスの小規模の農業高校である。 沼津特別支援学校伊豆田方分校が併設されている。
これまでの保全の状況	校舎等において、内外装ともにクラック・塗装の剥離及びモルタルの浮きが多数見られる。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

総合評価

施設面: **改修**



運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。



# 施設アセスメントシート

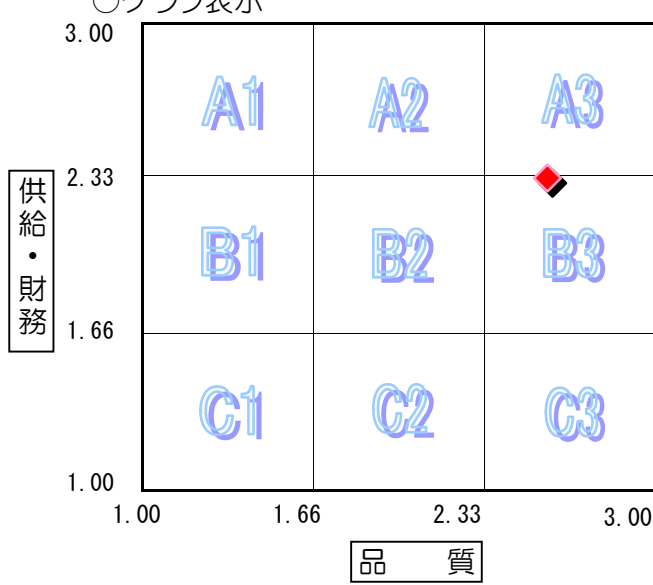
基本情報	施設番号	807014012005	施設名称	三島南高等学校		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	三島南高校			
	用途	教育施設		設置年	2001		
	施設目的	高等学校					
	敷地面積	43,509.72 m <sup>2</sup>		延床面積	12,332.18 m <sup>2</sup>		内部
	土地台帳価格	3,128,473 千円		建物台帳価格	1,828,475 千円		
	用途地域	指定なし		路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅:伊豆箱根鉄道「大場」から 徒歩10分					

◆ 第1段階 A3    品質 2.68点    供給・財務 2.33点

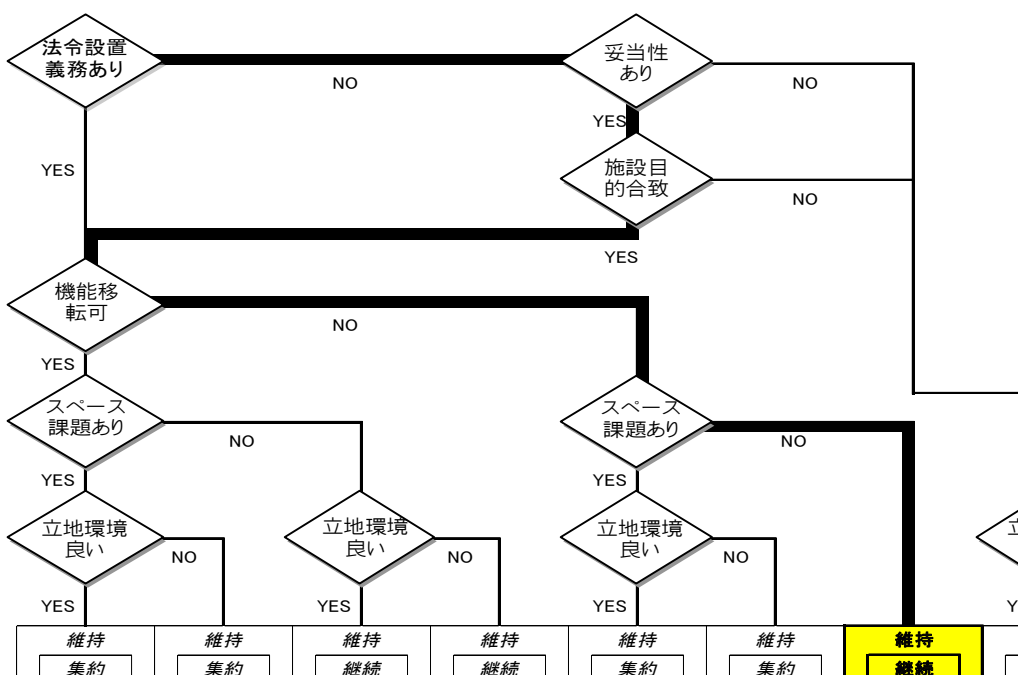
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	15.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2001.0年 2.00点
		外壁	2006.0年 2.83点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2001.0年 2.00点
		受変電設備	2001.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.28GJ (58.32)	3.00点
供給	面積/人数	16.87m <sup>2</sup> (46.87)	3.00点
供給	生徒充足率	101.53%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	208,033円 (45.24)	2.00点
財務	コスト/面積	1,164円 (41.63)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 維持    運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-



### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	2,317	百万円	維持管理費 B(※2)	56	百万円
	使用年数 A(※1)	15.0	年	小計	2,373	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	397	百万円	維持管理費 (※3)	37	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	434	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	397	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,668	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,442	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年6クラスの中規模の普通高校である。
これまでの保全の状況	建物については、外壁のクラック・塗装の剥離、屋上防水の劣化が見られる。 校舎等、建物周辺部については、地盤沈下の影響による劣化・損傷がみられる。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価



施設面: **維持**

運用面: **継続**

補足

施設の状態及び利用状況も良好であるため、引き続き適正に管理していく施設。

# 施設アセスメントシート

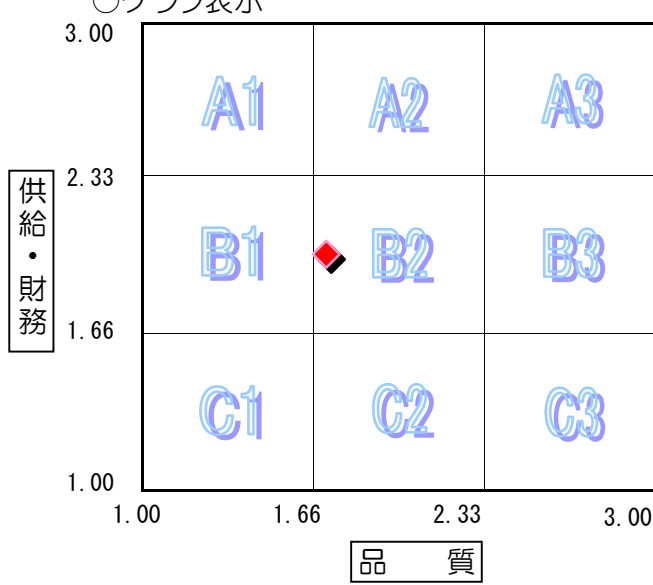
基本情報	施設番号	807015012001	施設名称	三島北高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	三島北高校		
	用途	教育施設		設置年	1992	
	施設目的	高等学校				
	敷地面積	0.00 m <sup>2</sup>	延床面積	12,240.57 m <sup>2</sup>		内部 
	土地台帳価格	0 千円	建物台帳価格	823,283 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅:三島駅から 徒歩10分				

◆ 第1段階 B2    品質 1.76点    供給・財務 2.00点

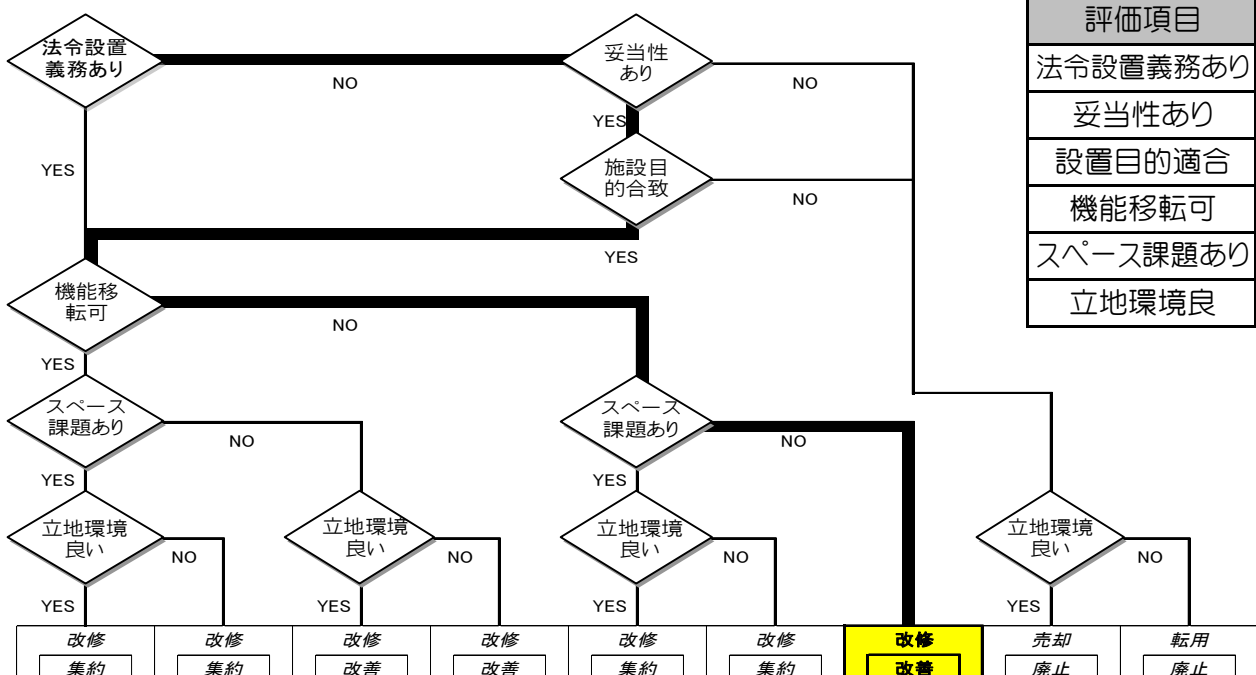
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	36.8年	1.59点
品質	建築劣化度	屋上防水	1999.2年 1.84点
		外壁	1998.9年 1.75点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2012.0年 1.34点
		受変電設備	1992.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.28GJ (58.13)	3.00点
供給	面積/人数	14.01m <sup>2</sup> (44.95)	2.00点
供給	生徒充足率	104.05%	2.00点
供給	入学試験倍率	1.2倍	2.00点
財務	コスト/人	263,398円 (46.25)	2.00点
財務	コスト/面積	1,334円 (41.87)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,611	百万円	維持管理費 B(※2)	39	百万円
	使用年数 A(※1)	36.8	年	小計	1,650	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	394	百万円	維持管理費 (※3)	10	百万円
	大規模改修費	262	百万円	建替え経費	1,523	百万円
	解体費	104	百万円	小計	2,293	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	394	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,648	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,409	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年7クラスの中規模の普通高校である。
これまでの保全の状況	建物については、概ね良好な保全状態である。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

総合評価


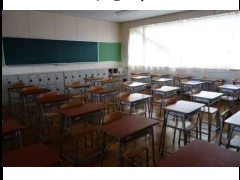
施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

# 施設アセスメントシート

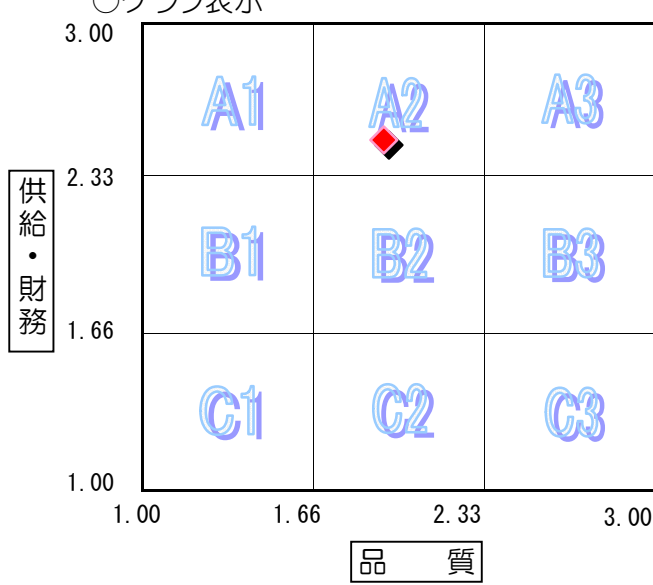
基本情報	施設番号	807016012001	施設名称	御殿場高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	御殿場高校		
	用途	教育施設		設置年	1965	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	45,125.46 m <sup>2</sup>	延床面積	11,434.85 m <sup>2</sup>		
	土地台帳価格	1,385,996 千円	建物台帳価格	140,318 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅: JR御殿場駅から バス15分				

◆ 第1段階 A2    品質 2.00点    供給・財務 2.50点

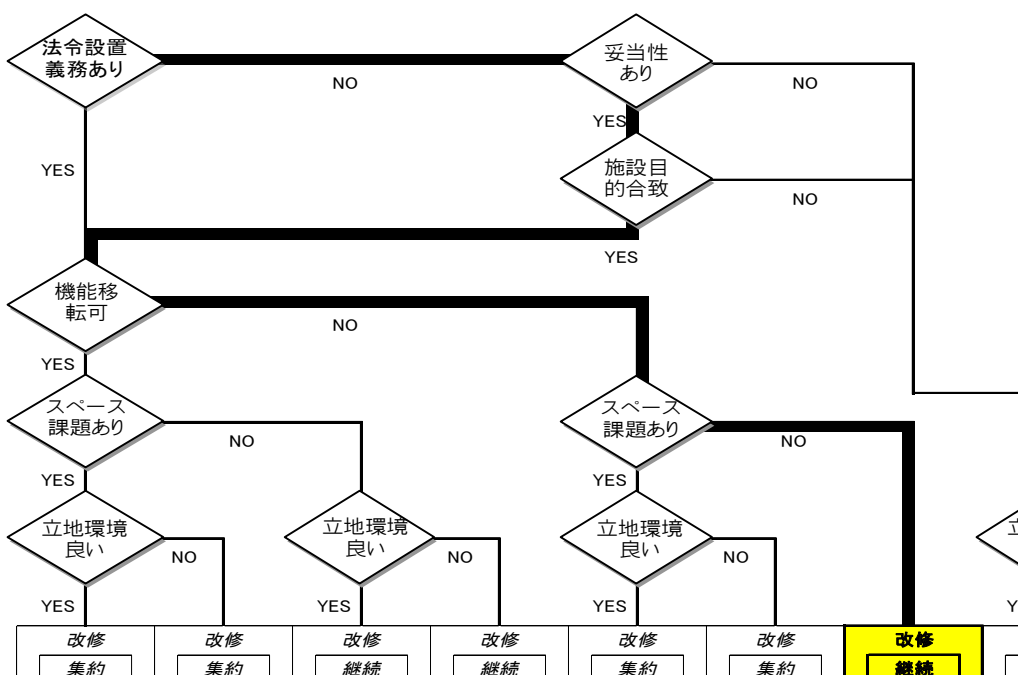
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	46.2年	1.17点
品質	建築劣化度	屋上防水	2004.7年 2.56点
		外壁	2006.5年 2.66点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2009.1年 2.03点
		受変電設備	2009.2年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.22GJ (59.94)	3.00点
供給	面積/人数	19.35m <sup>2</sup> (48.54)	3.00点
供給	生徒充足率	98.50%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	134,732円 (43.90)	3.00点
財務	コスト/面積	860円 (41.19)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	341	百万円	維持管理費 B(※2)	77	百万円
	使用年数 A(※1)	46.2	年	小計	418	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	368	百万円	維持管理費 (※3)	17	百万円
	大規模改修費	225	百万円	建替え経費	2,941	百万円
	解体費	201	百万円	小計	3,752	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	368	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,474	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,118	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年5クラスの小規模の商業・工業・家庭を併設する高校である。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態であるが、校舎の外壁において、モルタルの劣化が多数見受けられる。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

# 施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	807017012001	施設名称	御殿場南高等学校	外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	御殿場南高校	
	用途	教育施設	設置年	1963	
	施設目的	高等学校			内部 
	敷地面積	40,058.73 m <sup>2</sup>	延床面積	10,408.14 m <sup>2</sup>	
	土地台帳価格	1,551,397 千円	建物台帳価格	23,995 千円	
	用途地域	第1種住居専用地域	路線価	- 円/m <sup>2</sup>	
	交通アクセス	最寄り駅:御殿場駅から 徒歩15分			

◆ 第1段階 A2    品質 1.67点    供給・財務 2.33点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	49.9年	1.06点
品質	建築劣化度	屋上防水	1995.7年 1.68点
		外壁	2000.2年 2.28点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1994.5年 0.48点
		受変電設備	2010.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.20GJ (60.52)	3.00点
供給	面積/人数	17.20m <sup>2</sup> (47.10)	3.00点
供給	生徒充足率	100.83%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	2.00点
財務	コスト/人	571,251円 (51.86)	2.00点
財務	コスト/面積	3,019円 (44.28)	3.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	356	百万円	維持管理費 B(※2)	47	百万円
	使用年数 A(※1)	49.9	年	小計	403	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	335	百万円	維持管理費 (※3)	9	百万円
	大規模改修費	242	百万円	建替え経費	2,792	百万円
	解体費	191	百万円	小計	3,569	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	335	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,252	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,749	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年5クラスの小規模の普通高校である。
これまでの保全の状況	建物等は、概ね良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価

施設面: **改修**



運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設



# 施設アセスメントシート

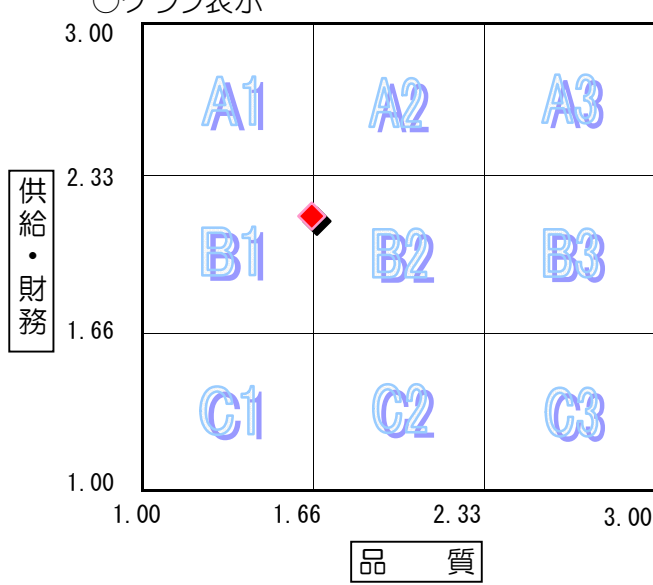
基本情報	施設番号	807018012001	施設名称	裾野高等学校		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	裾野高校			
	用途	教育施設		設置年	1968		
	施設目的	高等学校					
	敷地面積	37,498.87 m <sup>2</sup>		延床面積	9,207.19 m <sup>2</sup>		内部
	土地台帳価格	2,486,175 千円		建物台帳価格	121,399 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域		路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅: 裾野駅から 徒歩23分					

◆ 第1段階 B2    品質 1.70点    供給・財務 2.17点

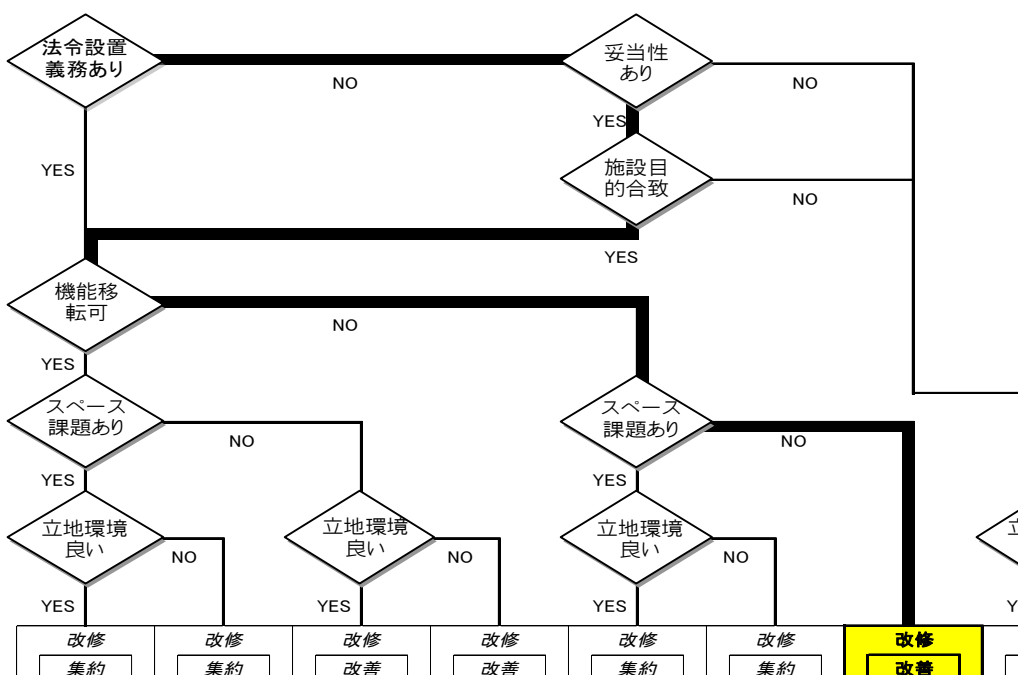
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	46.6年	1.12点
品質	建築劣化度	屋上防水	1979.1年 1.03点
		外壁	1999.8年 2.35点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1985.0年 1.09点
		受変電設備	2013.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.28GJ (58.34)	3.00点
供給	面積/人数	16.01m <sup>2</sup> (46.30)	3.00点
供給	生徒充足率	95.83%	2.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	2.00点
財務	コスト/人	233,958円 (45.71)	2.00点
財務	コスト/面積	1,779円 (42.51)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	376	百万円	維持管理費 B(※2)	35	百万円
	使用年数 A(※1)	46.6	年	小計	411	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	296	百万円	維持管理費 (※3)	7	百万円
	大規模改修費	408	百万円	建替え経費	2,059	百万円
	解体費	141	百万円	小計	2,911	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	296	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,992	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,316	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年5クラスの小規模の総合高校である。
これまでの保全の状況	建物内部は概ね良好な状態であるが、外壁・屋根等にクラック・モルタル剥離等が多数見受けられる。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

# 施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	807019012001	施設名称	沼津東高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	沼津東高校		
	用途	教育施設	設置年	1967		
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	63,913.09 m <sup>2</sup>	延床面積	13,753.72 m <sup>2</sup>		
	土地台帳価格	5,295,565 千円	建物台帳価格	419,796 千円		
	用途地域	第1種住居専用地域	路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅:沼津駅から バス20分				

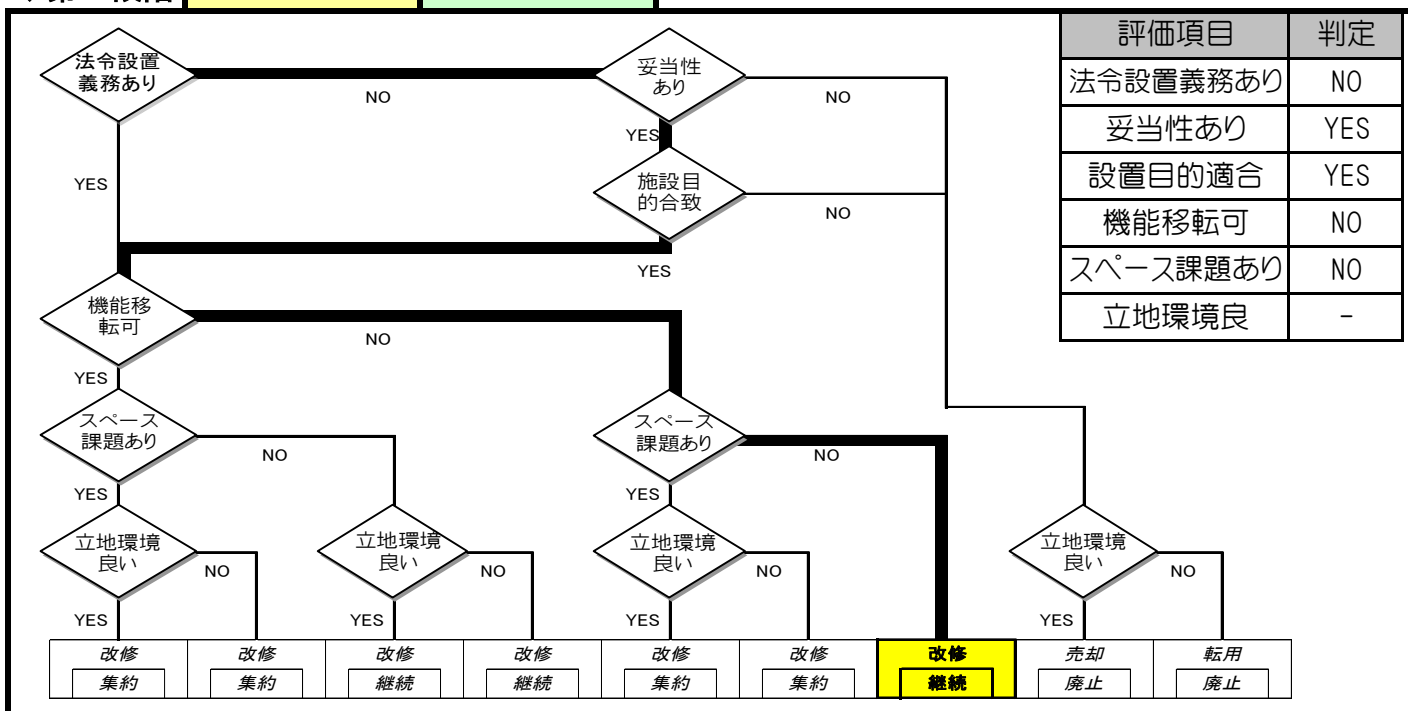
◆第1段階 **A2**      品質 1.73点      供給・財務 2.50点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	44.5年	1.17点
品質	建築劣化度	屋上防水	1993.1年 2.02点
		外壁	2010.0年 2.81点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1989.5年 1.77点
		受変電設備	1970.2年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.31GJ (57.38)	3.00点
供給	面積/人数	16.12m <sup>2</sup> (46.37)	3.00点
供給	生徒充足率	101.55%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.3倍	3.00点
財務	コスト/人	566,789円 (51.78)	2.00点
財務	コスト/面積	3,297円 (44.68)	3.00点

○グラフ表示

◆第2段階 **施設面: 改修**      **運用面: 継続**



### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,002	百万円	維持管理費 B(※2)	71	百万円
	使用年数 A(※1)	44.5	年	小計	1,073	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	442	百万円	維持管理費 (※3)	16	百万円
	大規模改修費	197	百万円	建替え経費	3,287	百万円
	解体費	225	百万円	小計	4,167	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	442	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,976	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,954	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年7クラスの中規模の普通高校(理数)である。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

# 施設アセスメントシート

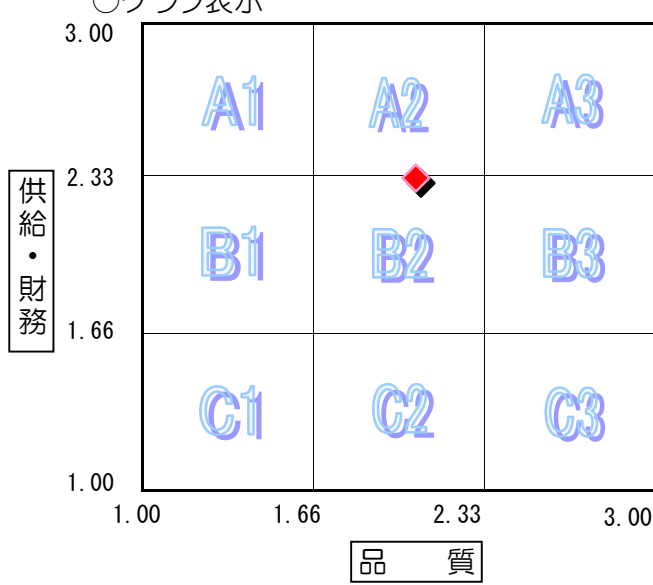
基本情報	施設番号	807020012001	施設名称	沼津西高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	沼津西高校		
	用途	教育施設		設置年	2003	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	28,709.00 m <sup>2</sup>		延床面積	11,334.43 m <sup>2</sup>	
	土地台帳価格	2,405,615 千円		建物台帳価格	751,378 千円	
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅:沼津駅から 徒歩20分				

◆ 第1段階 A2    品質 2.13点    供給・財務 2.33点

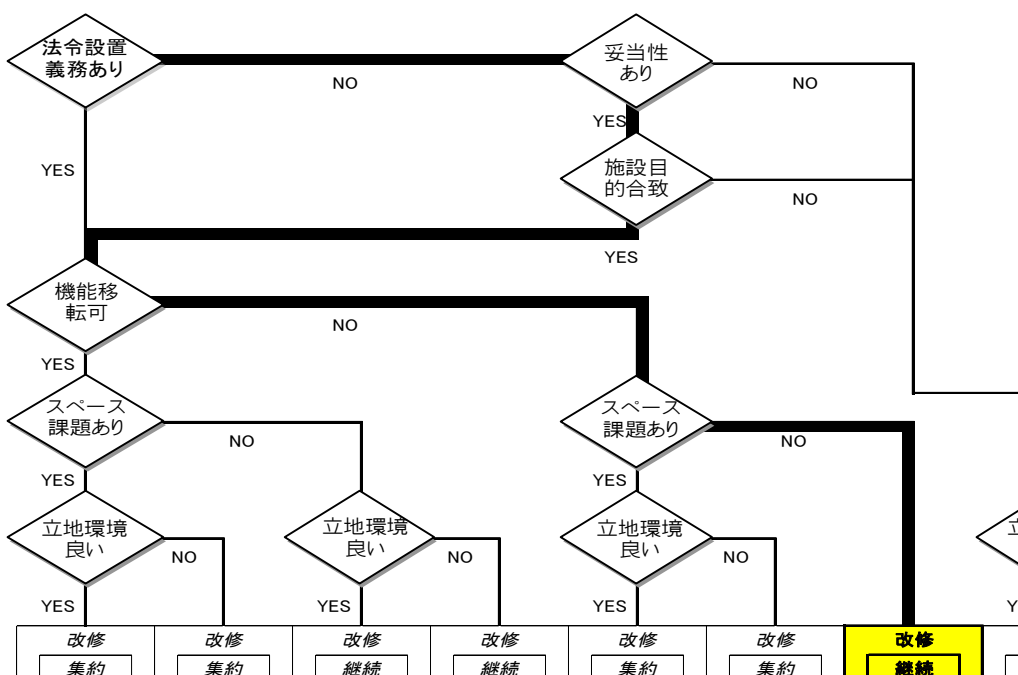
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	31.4年	1.96点
品質	建築劣化度	屋上防水	2003.1年 2.26点
		外壁	2002.1年 1.93点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1996.7年 1.84点
		受変電設備	2001.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.22GJ (59.86)	3.00点
供給	面積/人数	16.03m <sup>2</sup> (46.31)	3.00点
供給	生徒充足率	98.19%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	2.00点
財務	コスト/人	232,729円 (45.69)	2.00点
財務	コスト/面積	1,314円 (41.84)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,021	百万円	維持管理費 B(※2)	77	百万円
	使用年数 A(※1)	31.4	年	小計	1,098	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	365	百万円	維持管理費 (※3)	24	百万円
	大規模改修費	144	百万円	建替え経費	1,689	百万円
	解体費	116	百万円	小計	2,339	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	365	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,452	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,082	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年6クラスの中規模の普通高校(芸術)である。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

# 施設アセスメントシート

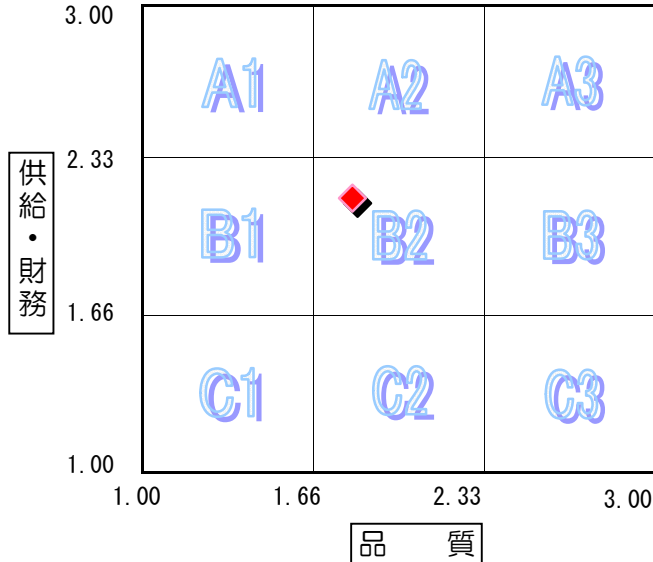
基本情報	施設番号	807021012001	施設名称	沼津城北高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	沼津城北高校		
	用途	教育施設		設置年	1994	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	42,976.81 m <sup>2</sup>	延床面積	11,386.06 m <sup>2</sup>		
	土地台帳価格	3,601,457 千円	建物台帳価格	809,097 千円		
	用途地域	住居地域	路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅:大岡駅から タクシー7分				

◆ 第1段階 B2    品質 1.87点    供給・財務 2.17点

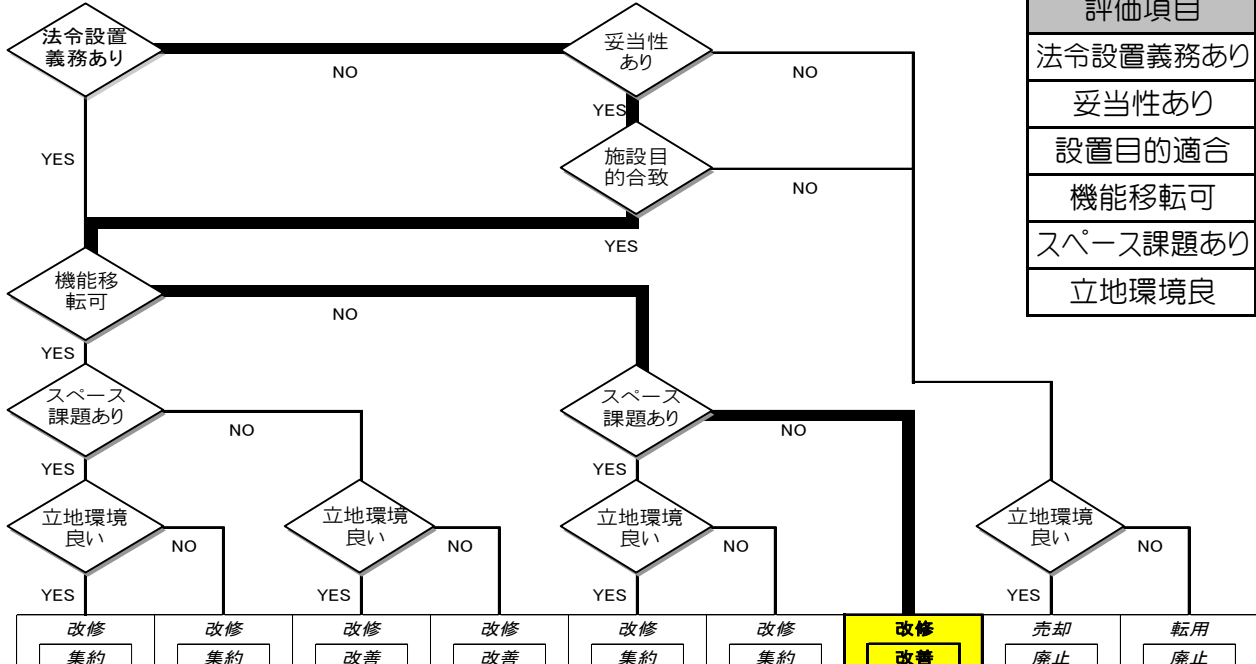
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	35.5年	1.57点
品質	建築劣化度	屋上防水 2000.6年	1.86点
		外壁 2013.7年	3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備 2008.7年	2.19点
		受変電設備 1994.0年	0.09点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.21GJ (60.27)	3.00点
供給	面積/人数	20.52m <sup>2</sup> (49.32)	3.00点
供給	生徒充足率	99.11%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	1.00点
財務	コスト/人	359,551円 (48.00)	2.00点
財務	コスト/面積	1,863円 (42.63)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-



◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,465	百万円	維持管理費 B(※2)	49	百万円
	使用年数 A(※1)	35.5	年	小計	1,514	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	366	百万円	維持管理費 (※3)	14	百万円
	大規模改修費	194	百万円	建替え経費	1,648	百万円
	解体費	113	百万円	小計	2,334	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	366	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,464	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,101	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年5クラスの小規模の普通高校である。 沼津特別支援学校愛鷹分校が併設されている。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

# 施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	807022012001	施設名称	沼津工業高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	沼津工業高校		
	用途	教育施設		設置年	1969	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	35,966.52 m <sup>2</sup>	延床面積	16,502.91 m <sup>2</sup>		
	土地台帳価格	3,306,454 千円	建物台帳価格	204,671 千円		
	用途地域	第1種住居専用地域	路線価	58,171 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅:沼津から バス15分				

◆第1段階 **B2**      品質 1.74点      供給・財務 2.00点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	44.3年	1.17点
品質	建築劣化度	屋上防水	1995.6年 1.94点
		外壁	2007.1年 2.49点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2014.7年 2.12点
		受変電設備	1971.7年 1.05点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.28GJ (58.26)	3.00点
供給	面積/人数	23.08m <sup>2</sup> (51.04)	3.00点
供給	生徒充足率	99.31%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	1.00点
財務	コスト/人	551,351円 (51.50)	2.00点
財務	コスト/面積	3,809円 (45.41)	2.00点

○グラフ表示

◆第2段階 **施設面: 改修**      **運用面: 集約**

評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	YES
立地環境良	YES

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	583	百万円	維持管理費 B(※2)	141	百万円
	使用年数 A(※1)	44.3	年	小計	724	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	531	百万円	維持管理費 (※3)	32	百万円
	大規模改修費	999	百万円	建替え経費	3,020	百万円
	解体費	207	百万円	小計	4,788	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	531	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	3,571	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	5,944	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年6クラスの中規模の工業高校である。 定時制が設置されている。
これまでの保全の状況	建物の老朽化に伴い、校舎、実習室及び自転車置き場等、建物の鉄骨補強プレス・柱・梁等の鉄部に発錆が著しく劣化している箇所が多数見られる。
その他	沼津地域の唯一の工業高校であり、地域の工業教育を保障する観点から現時点では集約は予定なし。

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画



総合評価

施設面: **改修**

運用面: **集約**

補足 施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、スペースの活用に課題があるため、他の機能を取り込む等、集約を図る必要がある施設。

# 施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	807023012001	施設名称	沼津商業高等学校	外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	沼津商業高校	
	用途	教育施設	設置年	1967	
	施設目的	高等学校			内部 
	敷地面積	75,514.90 m <sup>2</sup>	延床面積	12,299.31 m <sup>2</sup>	
	土地台帳価格	5,995,883 千円	建物台帳価格	94,619 千円	
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m <sup>2</sup>	
	交通アクセス	最寄り駅:沼津駅から バス25分			

◆第1段階 **B1**    品質 1.63点    供給・財務 2.17点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	47.5年	1.05点
品質	建築劣化度	屋上防水	1997.8年 1.71点
		外壁	2001.7年 2.41点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1980.3年 1.00点
		受変電設備	1999.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.26GJ (58.88)	3.00点
供給	面積/人数	20.53m <sup>2</sup> (49.33)	3.00点
供給	生徒充足率	99.83%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	1.00点
財務	コスト/人	551,961円 (51.51)	2.00点
	コスト/面積	3,007円 (44.27)	3.00点

○グラフ表示

◆第2段階 **施設面: 改修**    **運用面: 改善**

評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	400	百万円	維持管理費 B(※2)	74	百万円
	使用年数 A(※1)	47.5	年	小計	474	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	396	百万円	維持管理費 (※3)	16	百万円
	大規模改修費	152	百万円	建替え経費	3,352	百万円
	解体費	229	百万円	小計	4,145	百万円

※3  $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	396	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,661	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,430	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年5クラスの小規模の商業高校である。
これまでの保全の状況	建物については、概ね良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価


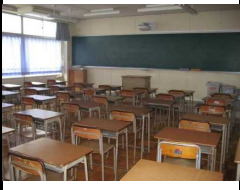
施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

# 施設アセスメントシート

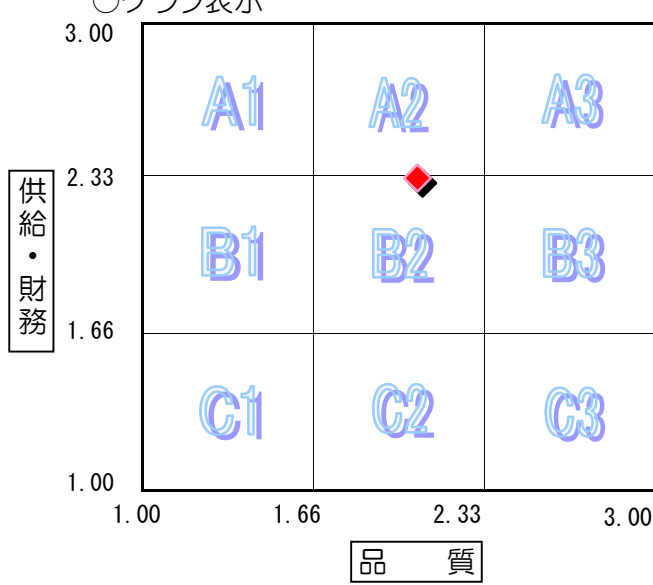
基本情報	施設番号	807024012001	施設名称	吉原高等学校		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	吉原高校			
	用途	教育施設		設置年	1981		
	施設目的	高等学校					
	敷地面積	36,623.51 m <sup>2</sup>		延床面積	11,226.03 m <sup>2</sup>		内部
	土地台帳価格	2,987,432 千円		建物台帳価格	440,884 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域		路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅: 吉原本町(岳南電車)から 徒歩20分					

◆ 第1段階 A2    品質 2.14点    供給・財務 2.33点

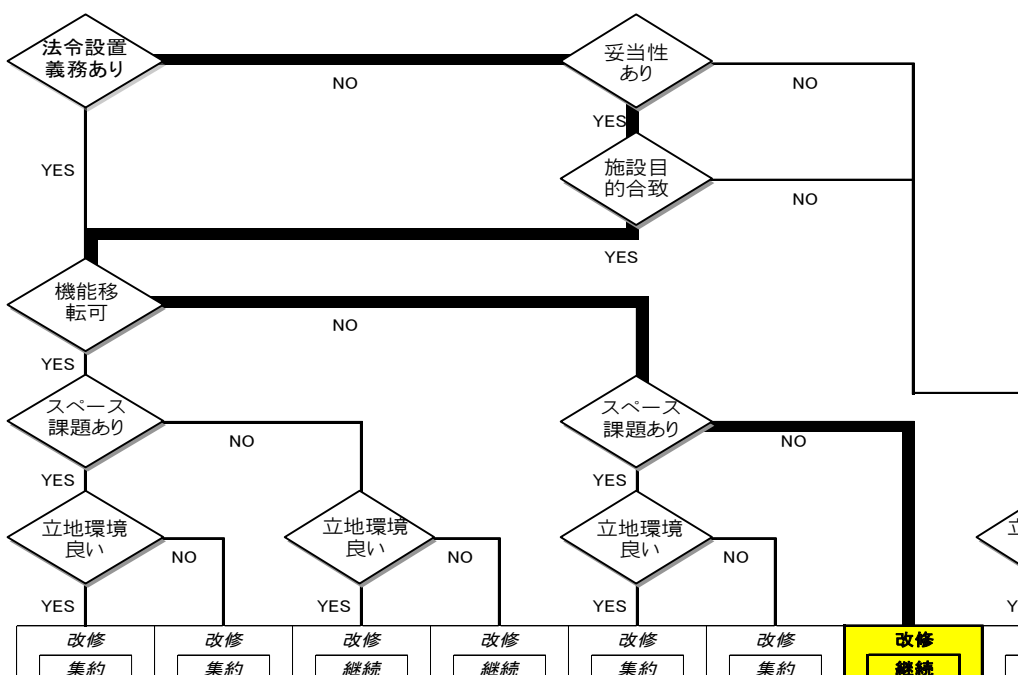
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	38.5年	1.83点
品質	建築劣化度	屋上防水	1985.5年 1.25点
		外壁	2011.1年 2.75点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1991.3年 1.70点
		受変電設備	2014.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.23GJ (59.58)	3.00点
供給	面積/人数	15.46m <sup>2</sup> (45.93)	3.00点
供給	生徒充足率	100.83%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	270,351円 (46.38)	2.00点
財務	コスト/面積	1,662円 (42.34)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,097	百万円	維持管理費 B(※2)	70	百万円
	使用年数 A(※1)	38.5	年	小計	1,167	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	361	百万円	維持管理費 (※3)	18	百万円
	大規模改修費	1,711	百万円	建替え経費	595	百万円
	解体費	41	百万円	小計	2,726	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	361	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,429	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,043	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年6クラスの中規模の普通高校である。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価

施設面: **改修**



運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設



# 施設アセスメントシート

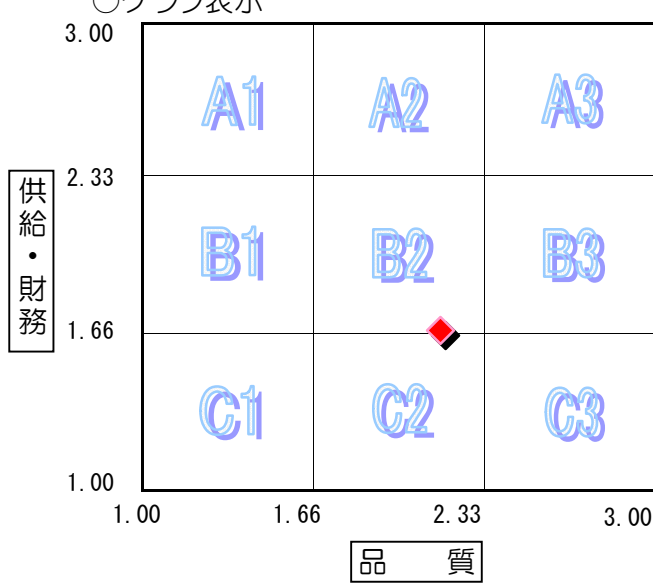
基本情報	施設番号	807025012001	施設名称	吉原工業高等学校		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	吉原工業高校			
	用途	教育施設		設置年	1996		
	施設目的	高等学校					
	敷地面積	61,208.71 m <sup>2</sup>		延床面積	18,942.07 m <sup>2</sup>		内部
	土地台帳価格	2,299,699 千円		建物台帳価格	2,001,104 千円		
	用途地域	指定なし		路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅:比奈駅(岳南電車)から 徒歩25分					

◆ 第1段階 B2    品質 2.24点    供給・財務 1.67点

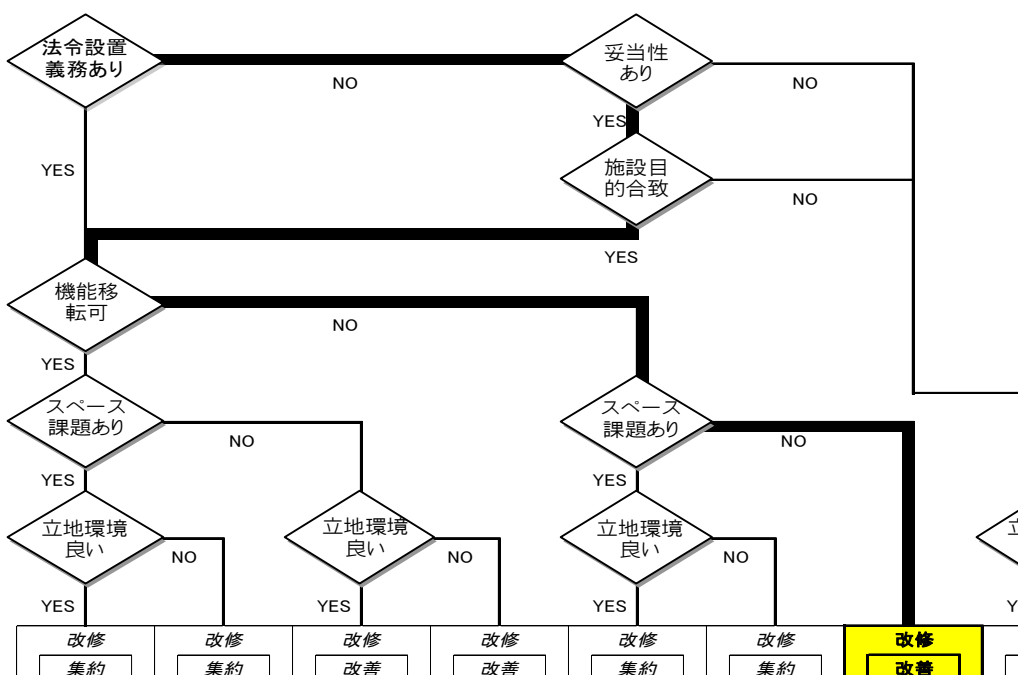
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	28.0年	2.42点
品質	建築劣化度	屋上防水	1995.6年 1.84点
		外壁	1996.1年 1.90点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1996.4年 1.39点
		受変電設備	1995.7年 1.83点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.20GJ (60.50)	3.00点
供給	面積/人数	29.46m <sup>2</sup> (55.32)	2.00点
供給	生徒充足率	89.31%	1.00点
供給	入学試験倍率	0.9倍	1.00点
財務	コスト/人	258,506円 (46.16)	2.00点
財務	コスト/面積	1,215円 (41.70)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	3,603	百万円	維持管理費 B(※2)	75	百万円
	使用年数 A(※1)	28.0	年	小計	3,678	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	609	百万円	維持管理費 (※3)	27	百万円
	大規模改修費	556	百万円	建替え経費	999	百万円
	解体費	68	百万円	小計	2,259	百万円

※3  $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	609	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	4,098	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	6,822	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を下回り、各学年6クラスの中規模の工業高校である。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価


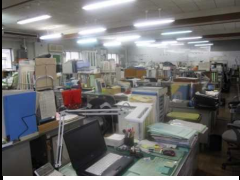
施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

# 施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	807026012001	施設名称	富士高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	富士高校		
	用途	教育施設		設置年	1998	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	42,496.22 m <sup>2</sup>	延床面積	12,932.09 m <sup>2</sup>		
	土地台帳価格	4,480,316 千円	建物台帳価格	1,103,208 千円		
	用途地域	住居地域	路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅: JR 豎堀駅から 徒歩10分				

◆ 第1段階 B2    品質 2.16点    供給・財務 2.00点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	33.7年	1.92点
品質	建築劣化度	屋上防水	2006.4年 2.49点
		外壁	2006.4年 2.49点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1989.4年 1.49点
		受変電設備	1997.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.32GJ (56.99)	3.00点
供給	面積/人数	13.20m <sup>2</sup> (44.41)	2.00点
供給	生徒充足率	102.08%	2.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	388,508円 (48.53)	2.00点
財務	コスト/面積	2,704円 (43.83)	3.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 改善

評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,704	百万円	維持管理費 B(※2)	118	百万円
	使用年数 A(※1)	33.7	年	小計	1,822	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	416	百万円	維持管理費 (※3)	35	百万円
	大規模改修費	125	百万円	建替え経費	1,891	百万円
	解体費	129	百万円	小計	2,596	百万円

※3  $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	416	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,798	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,658	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年8クラスの中規模の普通高校(理数)である。 定時制が設置されている。
これまでの保全の状況	建物等において、内外装ともに、壁の亀裂等が多数見受けられる。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

# 施設アセスメントシート

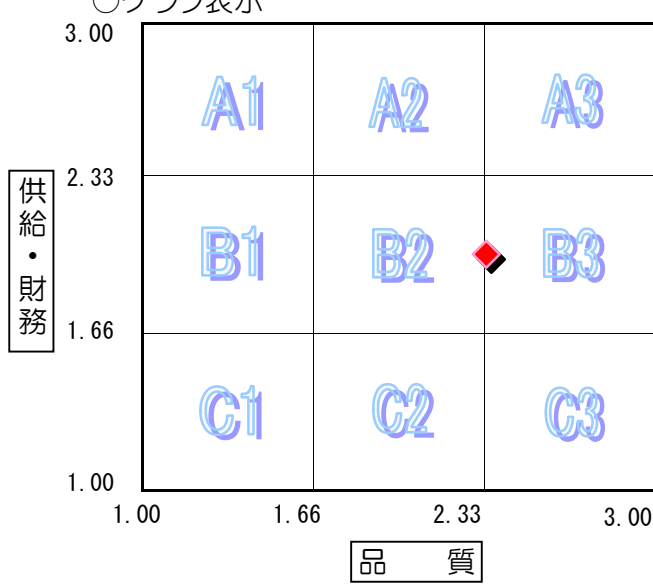
基本情報	施設番号	807027012001	施設名称	富士東高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	富士東高校		
	用途	教育施設		設置年	1978	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	38,017.94 m <sup>2</sup>		延床面積	9,802.27 m <sup>2</sup>	
	土地台帳価格	2,807,896 千円		建物台帳価格	359,583 千円	
	用途地域	第1種住居専用地域	路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅: JR富士駅から バス35分				

◆ 第1段階 B3    品質 2.43点    供給・財務 2.00点

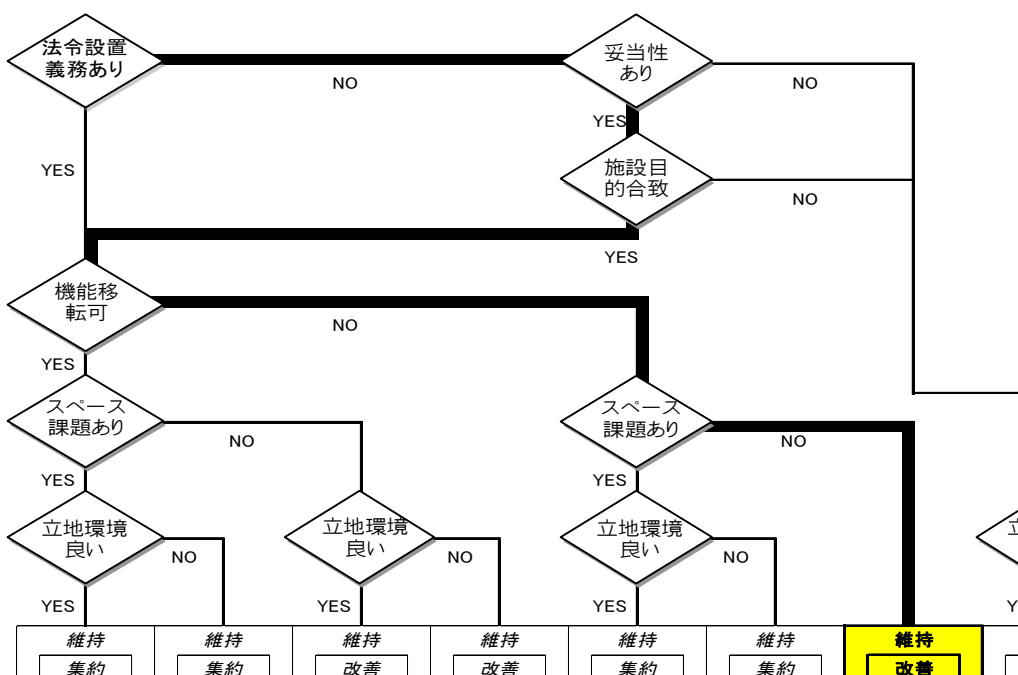
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	37.2年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2008.2年 2.80点
		外壁	2008.2年 2.80点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2003.1年 2.59点
		受変電設備	2007.1年 2.59点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.26GJ (58.73)	3.00点
供給	面積/人数	11.91m <sup>2</sup> (43.55)	2.00点
供給	生徒充足率	97.98%	2.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	1.00点
財務	コスト/人	182,148円 (44.77)	3.00点
財務	コスト/面積	1,264円 (41.77)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 維持    運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	779	百万円	維持管理費 B(※2)	60	百万円
	使用年数 A(※1)	37.2	年	小計	839	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	315	百万円	維持管理費 (※3)	16	百万円
	大規模改修費	1,806	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	2,137	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	315	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,121	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,530	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年7クラスの中規模の普通高校である。
これまでの保全の状況	建物外部については、概ね良好な状態であるが、内部においては、壁・床の亀裂、内装タイルの浮き破損が多数見受けられる。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価



施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。

# 施設アセスメントシート

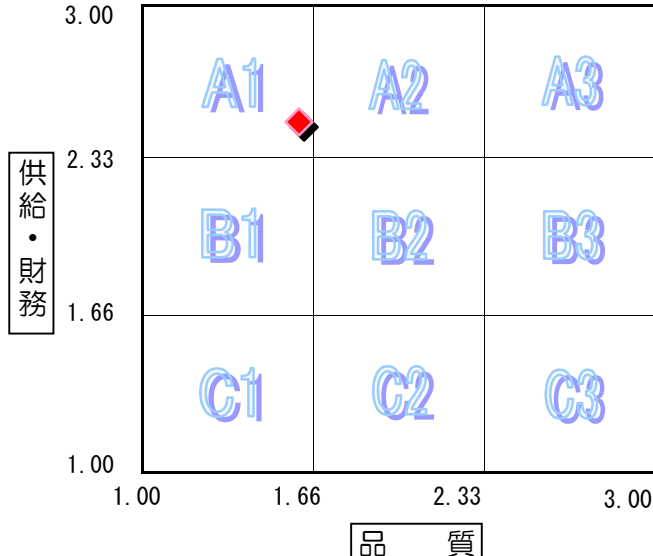
基本情報	施設番号	807028012001	施設名称	富士宮東高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	富士宮東高校		
	用途	教育施設		設置年	1965	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	33,774.80 m <sup>2</sup>		延床面積	11,058.99 m <sup>2</sup>	
	土地台帳価格	1,710,066 千円		建物台帳価格	82,365 千円	
	用途地域	第1種住居専用地域	路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅:源道寺から 徒歩20分				

◆ 第1段階 **A1**    品質 1.65点    供給・財務 2.50点

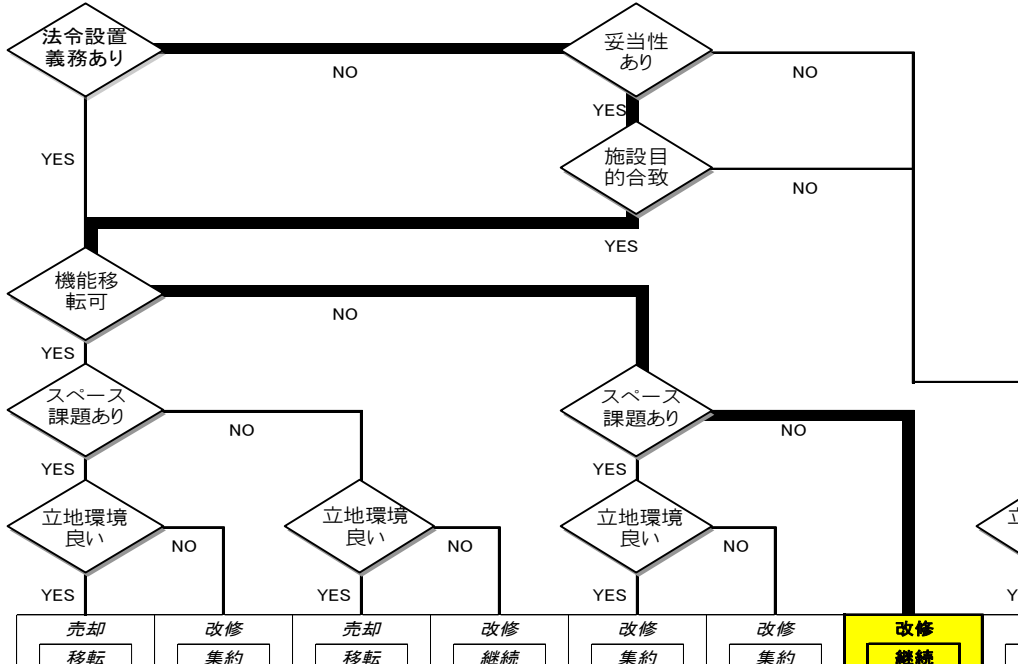
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	48.6年	1.06点
品質	建築劣化度	屋上防水	1982.7年 1.26点
		外壁	2012.8年 2.88点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1998.2年 1.06点
		受変電設備	2003.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.28GJ (58.09)	3.00点
供給	面積/人数	16.77m <sup>2</sup> (46.81)	3.00点
供給	生徒充足率	99.71%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.2倍	3.00点
財務	コスト/人	266,416円 (46.30)	2.00点
財務	コスト/面積	1,663円 (42.34)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 **施設面: 改修**    **運用面: 継続**



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-



### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	335	百万円	維持管理費 B(※2)	154	百万円
	使用年数 A(※1)	48.6	年	小計	489	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	356	百万円	維持管理費 (※3)	32	百万円
	大規模改修費	361	百万円	建替え経費	2,793	百万円
	解体費	191	百万円	小計	3,733	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	356	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,393	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,983	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年7クラスの中規模の普通高校(福祉)である。 定時制が設置されている。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。ただし、校舎の屋上部については、防水層の劣化が著しく、雨漏りの原因となっている。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、速やかに建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

# 施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	807029012001	施設名称	富士宮北高等学校	外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	富士宮北高校		
	用途	教育施設	設置年	1970		
	施設目的	高等学校				
	敷地面積	108,339.12 m <sup>2</sup>	延床面積	11,712.27 m <sup>2</sup>		内部
	土地台帳価格	6,000,904 千円	建物台帳価格	262,148 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
交通アクセス	最寄り駅:富士宮駅から バス13分 徒歩30分					

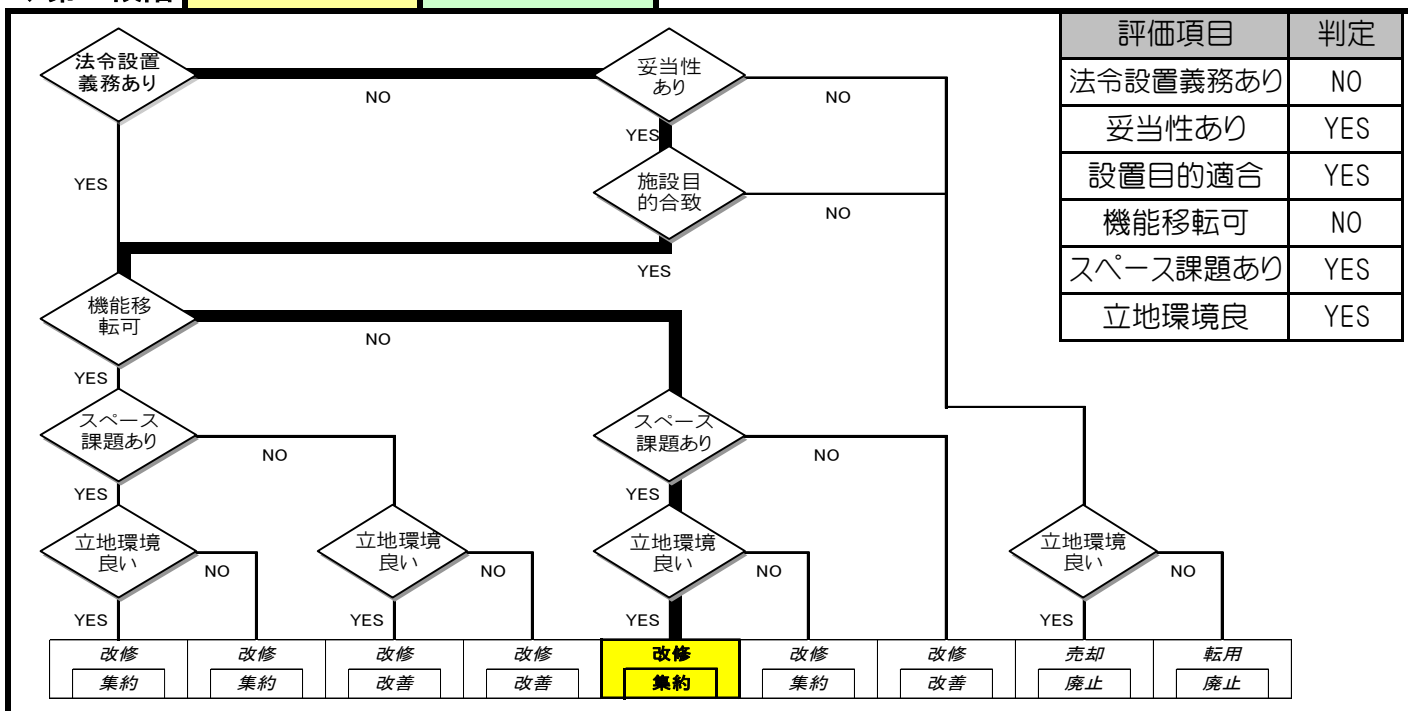
◆第1段階 **B2**    品質 1.72点    供給・財務 2.17点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	44.1年	1.27点
品質	建築劣化度	屋上防水	1981.8年 1.66点
		外壁	1999.8年 1.99点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1984.8年 1.61点
		受変電設備	1985.2年 1.72点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.22GJ (59.86)	3.00点
供給	面積/人数	16.09m <sup>2</sup> (46.35)	3.00点
供給	生徒充足率	101.11%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	1.00点
財務	コスト/人	264,634円 (46.27)	2.00点
財務	コスト/面積	1,310円 (41.84)	3.00点

○グラフ表示

◆第2段階 **施設面: 改修**    **運用面: 集約**



### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	513	百万円	維持管理費 B(※2)	101	百万円
	使用年数 A(※1)	44.1	年	小計	614	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	377	百万円	維持管理費 (※3)	23	百万円
	大規模改修費	83	百万円	建替え経費	2,944	百万円
	解体費	201	百万円	小計	3,629	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	377	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,534	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,218	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年6クラスの中規模の普通高校(商業)である。
これまでの保全の状況	建物外部については、概ね良好な状態であるが、内部においては、壁・床の亀裂、内装タイルの浮き破損が多数見受けられる。
その他	比較的人口規模の大きい富士・富士宮地域においては、複数の選択肢の高校が必要であるという観点から現時点では集約の予定なし。

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画



#### □総合評価

施設面: **改修**

運用面: **集約**

補足 施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、スペースの活用に課題があるため、他の機能を取り込む等、集約を図る必要がある施設。

# 施設アセスメントシート

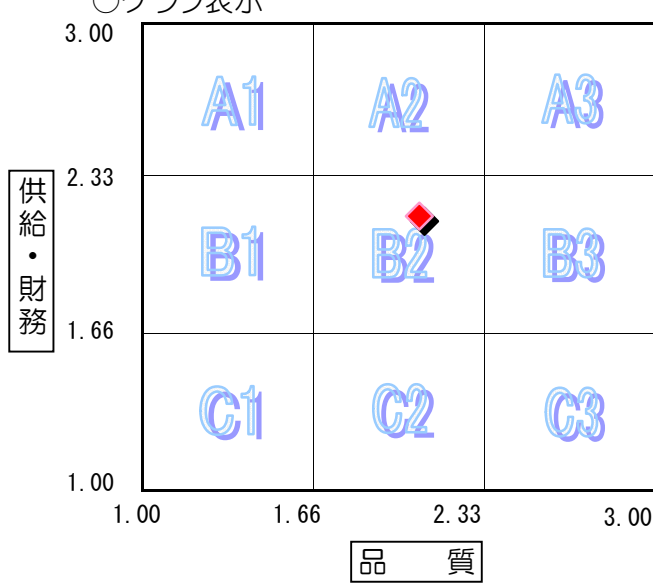
基本情報	施設番号	807030012001	施設名称	富士宮西高等学校		外部 	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	富士宮西高校			
	用途	教育施設		設置年	1981	内部 	
	施設目的	高等学校					
	敷地面積	46,183.84 m <sup>2</sup>	延床面積	11,567.40 m <sup>2</sup>			
	土地台帳価格	1,717,379 千円	建物台帳価格	607,018 千円			
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m <sup>2</sup>			
	交通アクセス	最寄り駅:富士宮駅から バス15分 徒歩15分					

◆ 第1段階 **B2**    品質 2.15点    供給・財務 2.17点

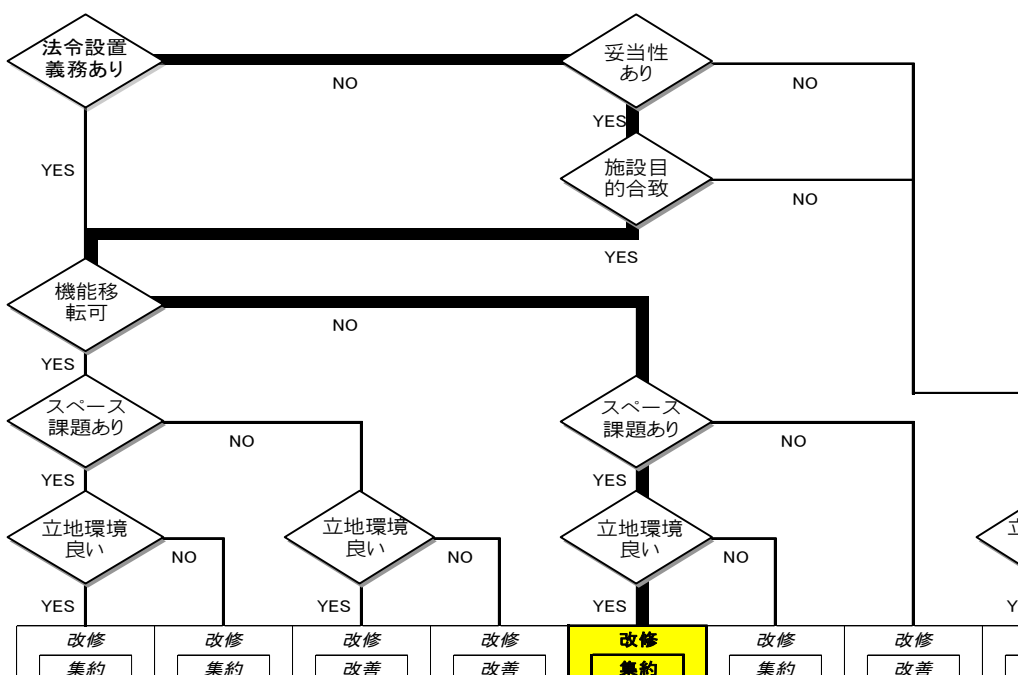
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	33.8年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2001.6年 2.26点
		外壁	1997.4年 1.69点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1998.5年 2.04点
		受変電設備	2003.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.22GJ (59.89)	3.00点
供給	面積/人数	16.00m <sup>2</sup> (46.29)	3.00点
供給	生徒充足率	100.42%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	1.00点
財務	コスト/人	225,852円 (45.56)	2.00点
財務	コスト/面積	1,211円 (41.69)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 **施設面: 改修**    **運用面: 集約**



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	YES
立地環境良い	YES

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	998	百万円	維持管理費 B(※2)	84	百万円
	使用年数 A(※1)	33.8	年	小計	1,082	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	372	百万円	維持管理費 (※3)	25	百万円
	大規模改修費	1,967	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	2,364	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	372	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,503	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,166	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年6クラスの中規模の普通高校である。
これまでの保全の状況	建物等について、内外装ともに、壁の亀裂等が多数見受けられる。
その他	富士宮地域の中核を担う学校であり、現時点では集約の予定なし。

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画



#### □総合評価

施設面: **改修**

運用面: **集約**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、スペースの活用に課題があるため、他の機能を取り込む等、集約を図る必要がある施設。
----	--

# 施設アセスメントシート

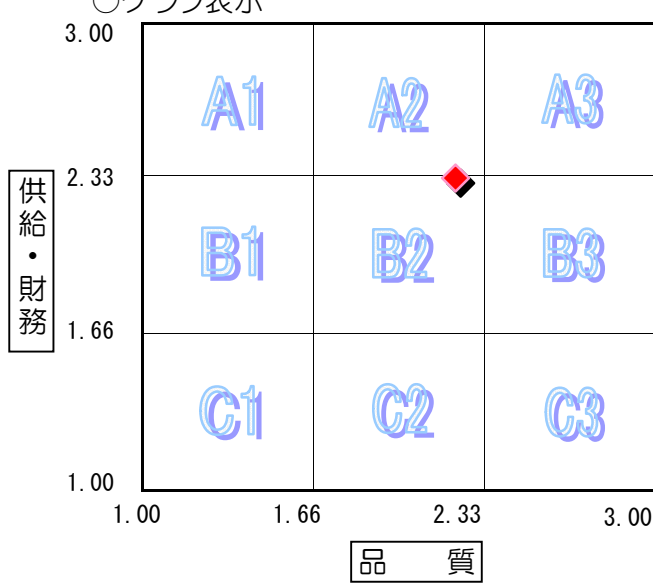
基本情報	施設番号	807031012001	施設名称	富岳館高等学校		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	富岳館高校			
	用途	教育施設		設置年	2002		
	施設目的	高等学校					
	敷地面積	43,204.92 m <sup>2</sup>		延床面積	13,876.77 m <sup>2</sup>		内部
	土地台帳価格	2,283,758 千円		建物台帳価格	1,101,403 千円		
	用途地域	住居地域		路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅:源道寺駅から 徒歩8分					

◆ 第1段階 A2    品質 2.30点    供給・財務 2.33点

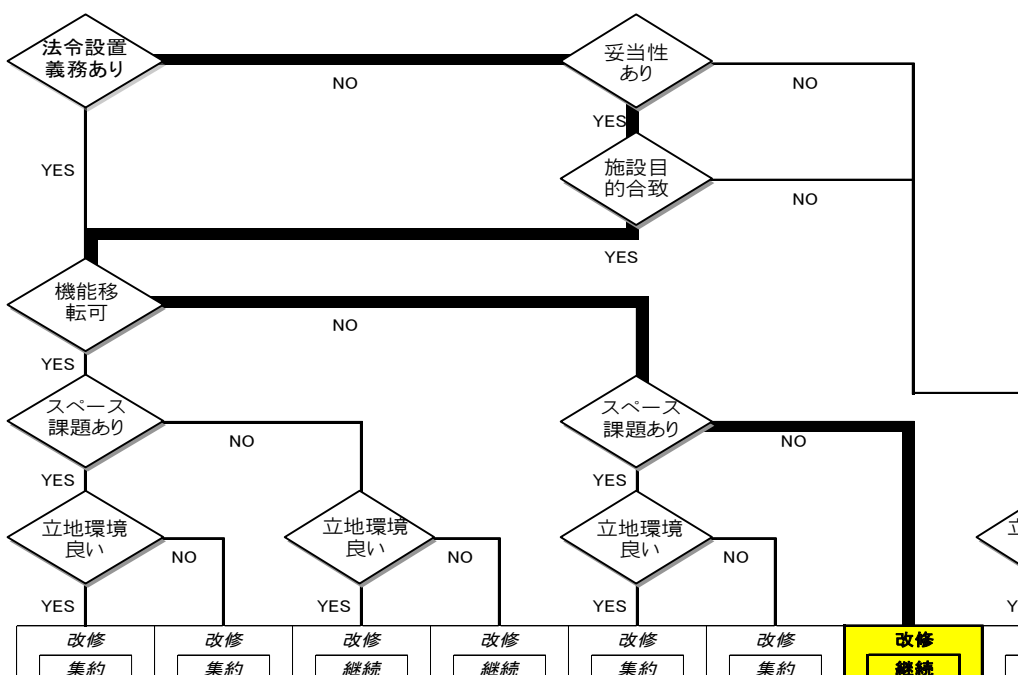
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	22.7年	2.47点
品質	建築劣化度	屋上防水 1998.6年	1.82点
		外壁 1999.4年	1.87点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1994.0年	1.70点
		受変電設備 2002.0年	2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.24GJ (59.49)	3.00点
供給	面積/人数	19.74m <sup>2</sup> (48.80)	3.00点
供給	生徒充足率	97.64%	2.00点
供給	入学試験倍率	1.2倍	3.00点
財務	コスト/人	251,247円 (46.03)	2.00点
財務	コスト/面積	1,648円 (42.32)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,563	百万円	維持管理費 B(※2)	55	百万円
	使用年数 A(※1)	22.7	年	小計	1,618	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	446	百万円	維持管理費 (※3)	24	百万円
	大規模改修費	458	百万円	建替え経費	703	百万円
	解体費	48	百万円	小計	1,680	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	446	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	3,002	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,998	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年6クラスの中規模の総合高校である。
これまでの保全の状況	建物等について、内外装ともに、壁の亀裂等が多数見受けられる。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価

施設面: **改修**



運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、計画的な保全を適切に実施していくべき施設。



# 施設アセスメントシート

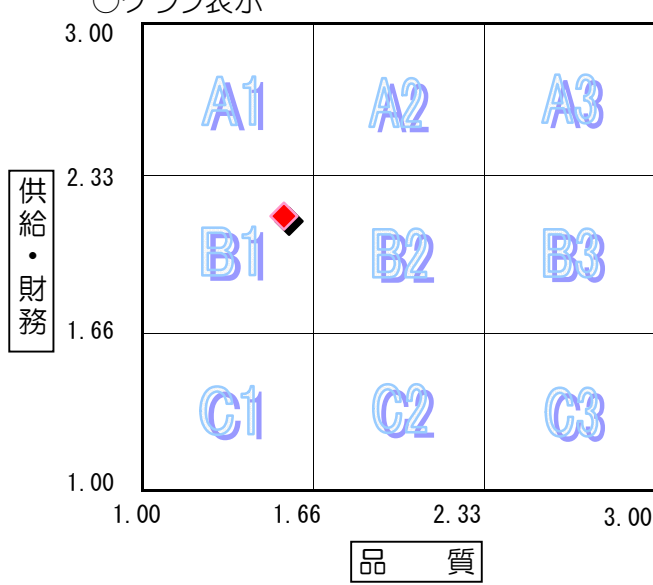
基本情報	施設番号	807032012001	施設名称	清水東高等学校		外部
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	清水東高校		
	用途	教育施設		設置年	1963	
	施設目的	高等学校				
	敷地面積	31,849.81 m <sup>2</sup>		延床面積	12,276.51 m <sup>2</sup>	
	土地台帳価格	3,119,279 千円		建物台帳価格	54,807 千円	
	用途地域	住居地域		路線価	- 円/m <sup>2</sup>	
	交通アクセス	最寄り駅:清水駅から バス10分				

◆ 第1段階 **B1**    品質 1.58点    供給・財務 2.17点

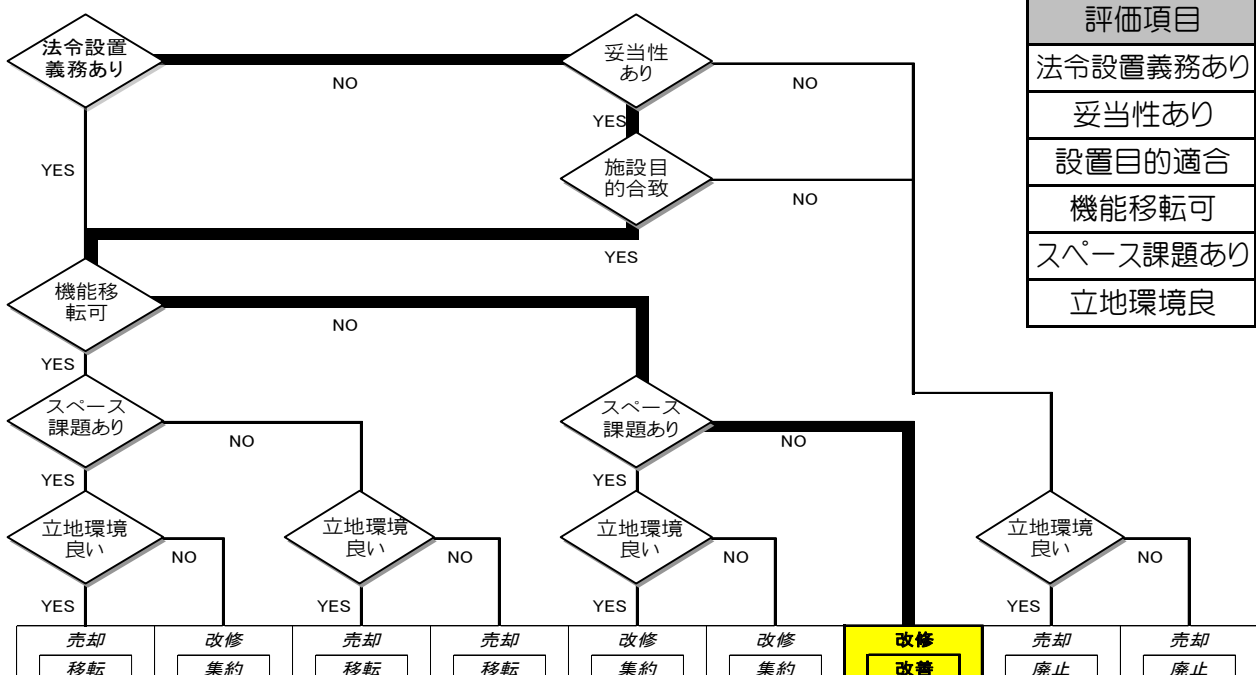
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	51.4年	1.13点
品質	建築劣化度	屋上防水	1996.7年 1.64点
		外壁	1999.4年 1.87点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2010.0年 1.98点
		受変電設備	1996.0年 0.77点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.28GJ (58.16)	3.00点
供給	面積/人数	13.78m <sup>2</sup> (44.80)	2.00点
供給	生徒充足率	101.25%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	333,801円 (47.53)	2.00点
財務	コスト/面積	2,257円 (43.19)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 **施設面: 改修**    **運用面: 改善**



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	310	百万円	維持管理費 B(※2)	301	百万円
	使用年数 A(※1)	51.4	年	小計	611	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	395	百万円	維持管理費 (※3)	59	百万円
	大規模改修費	294	百万円	建替え経費	3,279	百万円
	解体費	224	百万円	小計	4,251	百万円

※3  $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	395	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,656	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,422	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年8クラスの中規模の普通高校(理数科)である。
これまでの保全の状況	建物については、概ね良好な保全状態であるが、自転車置き場においては、鉄部の発錆が著しく劣化している状況である。
その他	平成28～29年度管理教室棟大規模改修予定

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

# 施設アセスメントシート

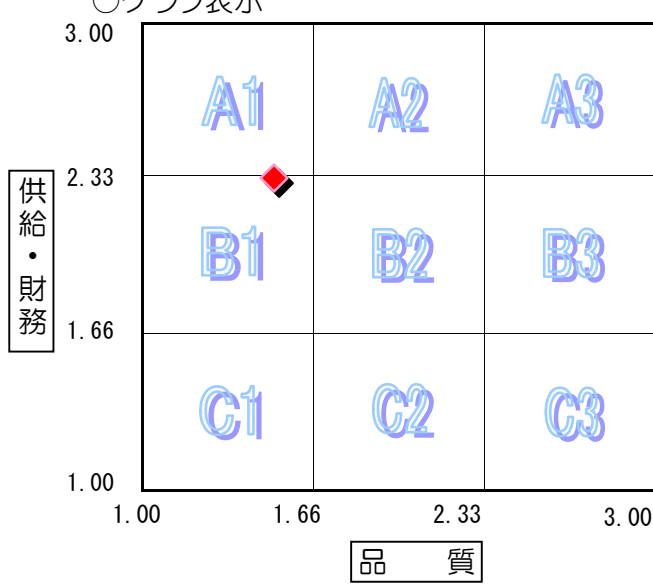
基本情報	施設番号	807033012001	施設名称	清水西高等学校		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	清水西高校			
	用途	教育施設		設置年	1968		
	施設目的	高等学校					
	敷地面積	29,843.73 m <sup>2</sup>		延床面積	11,642.81 m <sup>2</sup>		内部
	土地台帳価格	3,428,405 千円		建物台帳価格	120,748 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m <sup>2</sup>			
	交通アクセス	最寄り駅:桜橋駅から 徒歩10分					

◆第1段階 **A1** 品質 1.54点 供給・財務 2.33点

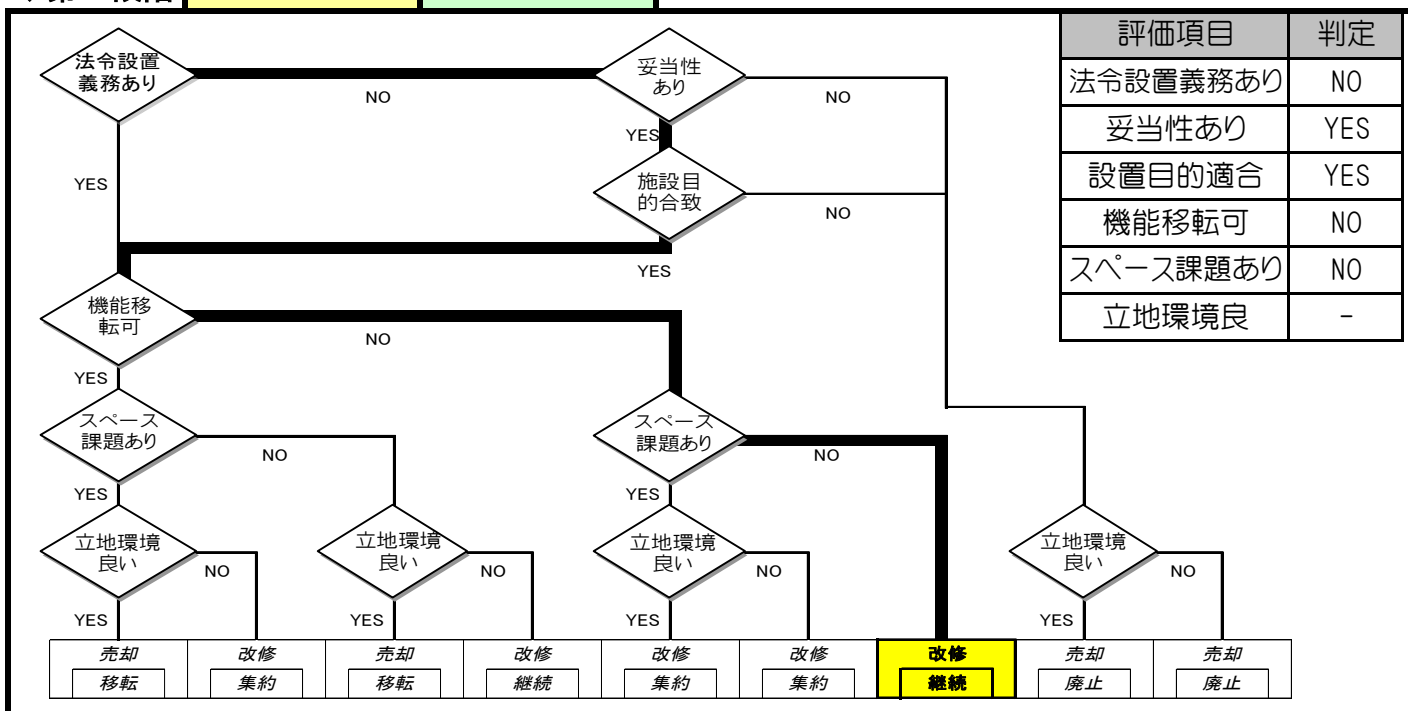
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	48.0年	1.13点
品質	建築劣化度	屋上防水	1992.2年 1.44点
		外壁	1993.2年 2.13点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1989.6年 1.19点
		受変電設備	1968.0年 1.07点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.21GJ (60.16)	3.00点
供給	面積/人数	15.93m <sup>2</sup> (46.24)	3.00点
供給	生徒充足率	101.53%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.2倍	2.00点
財務	コスト/人	227,128円 (45.59)	2.00点
財務	コスト/面積	1,073円 (41.50)	3.00点

○グラフ表示



◆第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続



### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	328	百万円	維持管理費 B(※2)	142	百万円
	使用年数 A(※1)	48.0	年	小計	470	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	375	百万円	維持管理費 (※3)	30	百万円
	大規模改修費	302	百万円	建替え経費	2,833	百万円
	解体費	194	百万円	小計	3,733	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	375	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,519	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,193	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年6クラスの中規模の普通高校である。
これまでの保全の状況	建物については、内外装ともに、壁・床の亀裂が多数見受けられ、自転車置き場においては、鉄部の発錆が著しく劣化している状況である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、速やかに建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

# 施設アセスメントシート

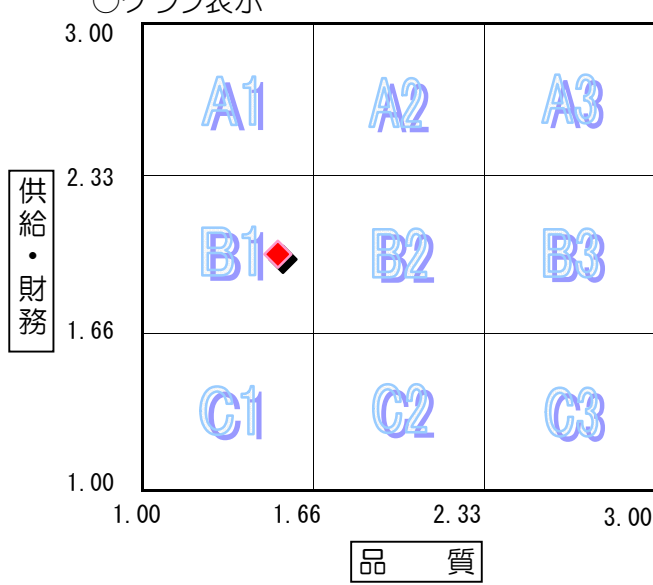
基本情報	施設番号	807034012001	施設名称	清水南高等学校	外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	清水南高校		
	用途	教育施設	設置年	1965		
	施設目的	高等学校				
	敷地面積	39,601.53 m <sup>2</sup>	延床面積	10,112.54 m <sup>2</sup>		内部
	土地台帳価格	2,236,694 千円	建物台帳価格	73,720 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅:清水駅から バス20分				

◆第1段階 **B1**      品質 1.56点      供給・財務 2.00点

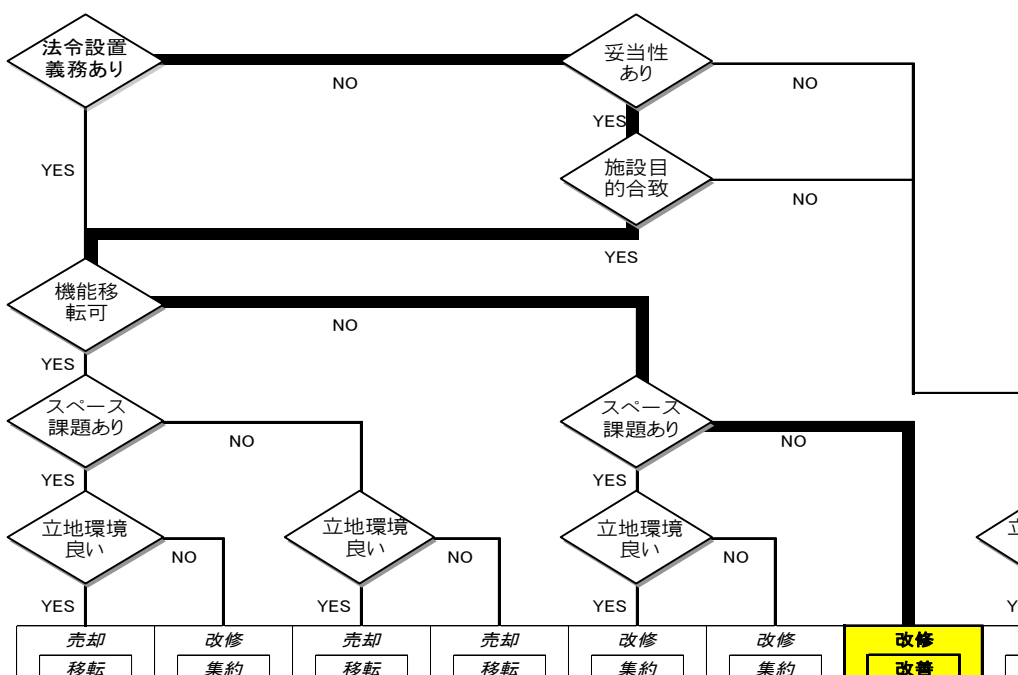
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	49.6年	1.06点
品質	建築劣化度	屋上防水	1966.4年 1.06点
		外壁	2002.7年 2.03点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1998.0年 1.44点
		受変電設備	1993.4年 1.78点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.26GJ (58.72)	3.00点
供給	面積/人数	12.92m <sup>2</sup> (44.22)	2.00点
供給	生徒充足率	93.21%	1.00点
供給	入学試験倍率	2.1倍	3.00点
財務	コスト/人	429,828円 (49.28)	2.00点
財務	コスト/面積	3,188円 (44.53)	3.00点

○グラフ表示



◆第2段階 **施設面: 改修**      **運用面: 改善**



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	277	百万円	維持管理費 B(※2)	141	百万円
	使用年数 A(※1)	49.6	年	小計	418	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	325	百万円	維持管理費 (※3)	29	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	3,009	百万円
	解体費	206	百万円	小計	3,569	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	325	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,188	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,642	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年4クラスの小規模の普通高校(芸術科)である。 県内2校の中高一貫のうちの1校である。
これまでの保全の状況	建物については、内外装ともに、壁・床の亀裂が多数見受けられ、自転車置き場においては、柱の発錆及び基礎の爆裂発生している状況である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。
----	---



# 施設アセスメントシート

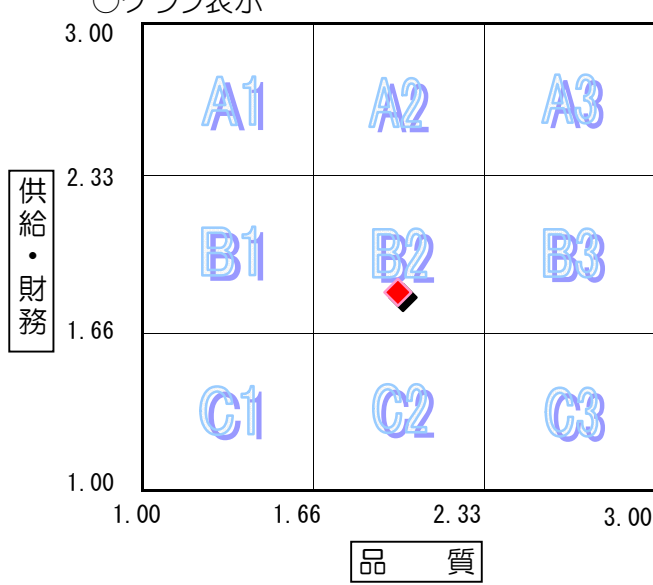
基本情報	施設番号	807037012001	施設名称	静岡高等学校		外部
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	静岡高校		
	用途	教育施設		設置年	1988	
	施設目的	高等学校				
	敷地面積	34,020.32 m <sup>2</sup>	延床面積	15,639.84 m <sup>2</sup>		内部
	土地台帳価格	5,541,764 千円	建物台帳価格	909,278 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅: JR静岡駅からバス6分				

◆ 第1段階 B2    品質 2.06点    供給・財務 1.83点

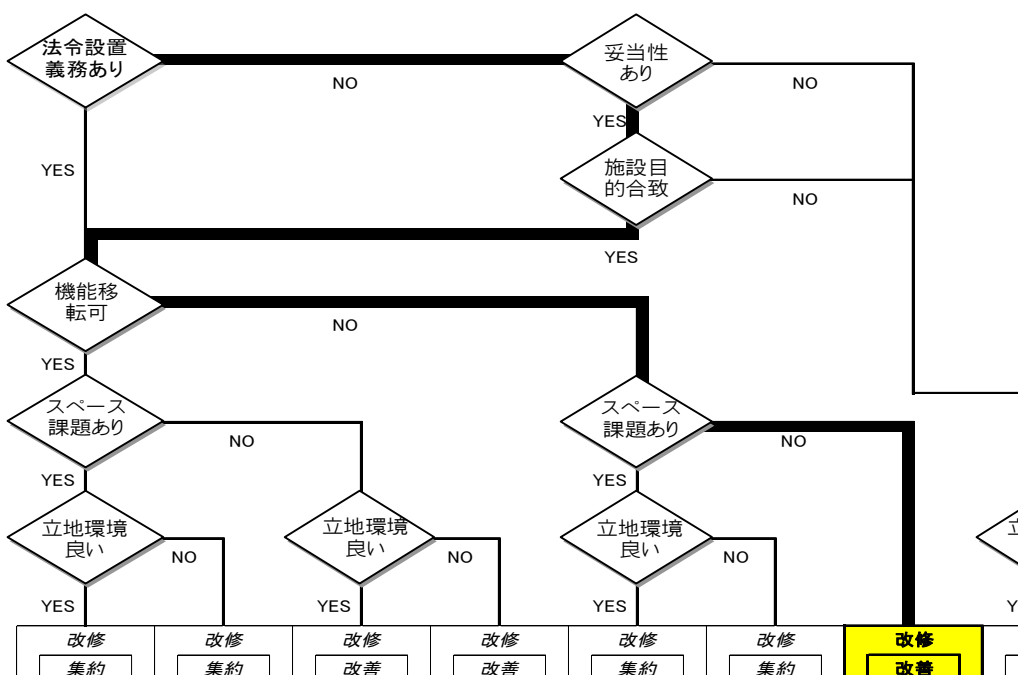
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	32.9年	1.79点
品質	建築劣化度	屋上防水 1994.1年	1.38点
		外壁 2004.6年	2.37点
品質	設備劣化度	空気調和設備 2006.7年	1.81点
		受変電設備 2008.1年	2.50点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.30GJ (57.62)	3.00点
供給	面積/人数	15.96m <sup>2</sup> (46.26)	3.00点
供給	生徒充足率	102.08%	2.00点
供給	入学試験倍率	1.2倍	2.00点
財務	コスト/人	931,991円 (58.44)	1.00点
財務	コスト/面積	6,019円 (48.58)	2.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-



### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,676	百万円	維持管理費 B(※2)	159	百万円
	使用年数 A(※1)	32.9	年	小計	1,835	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	503	百万円	維持管理費 (※3)	49	百万円
	大規模改修費	464	百万円	建替え経費	795	百万円
	解体費	54	百万円	小計	1,865	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	503	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	3,384	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	5,633	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年8クラスの中規模の普通高校である。 定時制が設置されている。
これまでの保全の状況	建物等について、概ね良好な保全状況である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

# 施設アセスメントシート

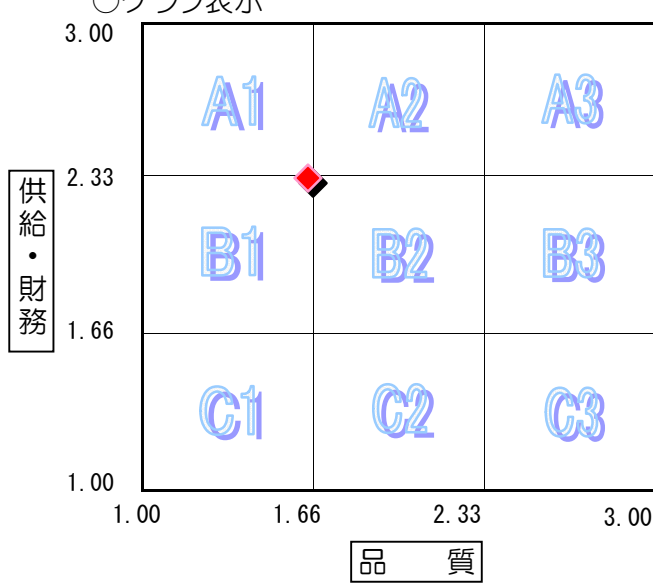
基本情報	施設番号	807038012001	施設名称	静岡城北高等学校		外部 	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	静岡城北高校			
	用途	教育施設		設置年	1990	内部 	
	施設目的	高等学校					
	敷地面積	34,093.94 m <sup>2</sup>		延床面積	12,631.69 m <sup>2</sup>		
	土地台帳価格	5,193,627 千円		建物台帳価格	883,969 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域		路線価	135,000 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅: 静岡駅から バス20分 徒歩3分					

◆ 第1段階 **A2**    品質 1.68点    供給・財務 2.33点

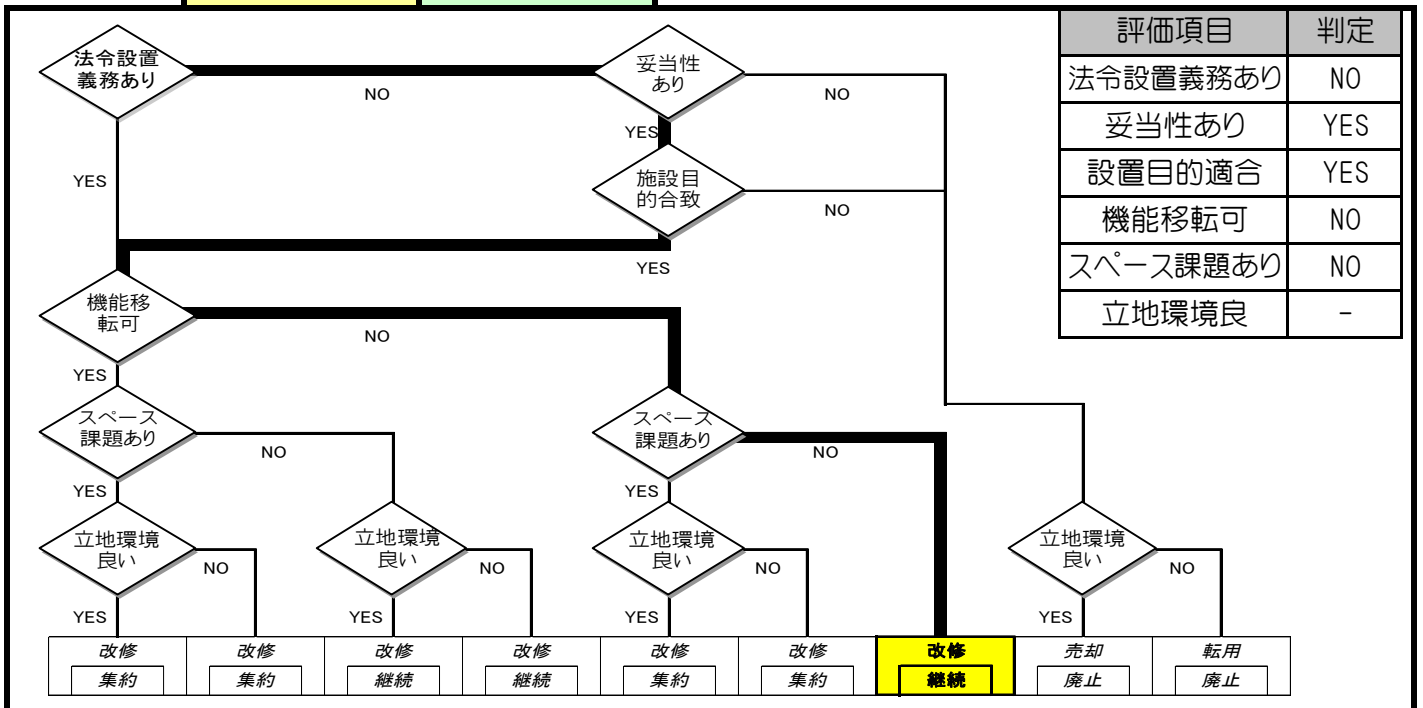
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	33.8年	1.68点
品質	建築劣化度	屋上防水	1996.0年 1.64点
		外壁	1991.6年 1.12点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1994.7年 1.22点
		受変電設備	1990.0年 0.81点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.24GJ (59.26)	3.00点
供給	面積/人数	13.63m <sup>2</sup> (44.70)	2.00点
供給	生徒充足率	100.76%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.2倍	2.00点
財務	コスト/人	182,259円 (44.77)	3.00点
財務	コスト/面積	1,198円 (41.68)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 **施設面: 改修**    **運用面: 継続**



### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,680	百万円	維持管理費 B(※2)	69	百万円
	使用年数 A(※1)	33.8	年	小計	1,749	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	406	百万円	維持管理費 (※3)	20	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	1,244	百万円
	解体費	85	百万円	小計	1,756	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	406	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,733	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,550	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年8クラスの中規模の普通高校(国際科)である。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状況である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

# 施設アセスメントシート

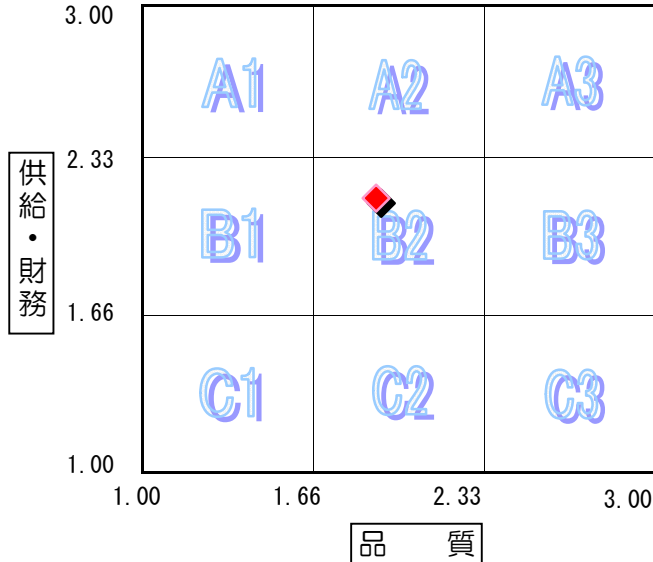
基本情報	施設番号	807039012001	施設名称	静岡東高等学校		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	静岡東高校			
	用途	教育施設		設置年	1965		
	施設目的	高等学校					
	敷地面積	39,649.62 m <sup>2</sup>	延床面積	12,306.71 m <sup>2</sup>			内部
	土地台帳価格	4,947,586 千円	建物台帳価格	351,711 千円			
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m <sup>2</sup>			
	交通アクセス	最寄り駅: 静岡駅から バス20分					

◆ 第1段階 B2    品質 1.97点    供給・財務 2.17点

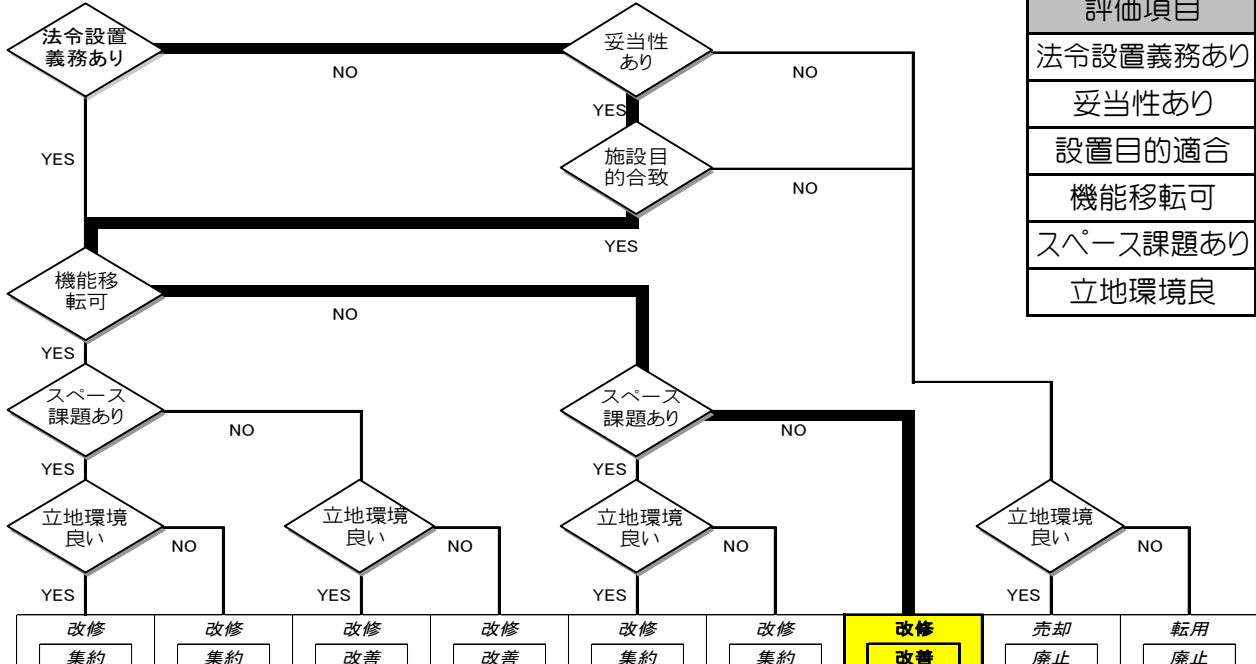
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	43.6年	1.51点
品質	建築劣化度	屋上防水	2000.2年 2.09点
		外壁	2001.9年 2.43点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2002.1年 2.67点
		受変電設備	1972.4年 1.22点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.30GJ (57.49)	3.00点
供給	面積/人数	12.64m <sup>2</sup> (44.03)	2.00点
供給	生徒充足率	101.46%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	481,401円 (50.22)	2.00点
財務	コスト/面積	3,012円 (44.27)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	821	百万円	維持管理費 B(※2)	97	百万円
	使用年数 A(※1)	43.6	年	小計	918	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	396	百万円	維持管理費 (※3)	22	百万円
	大規模改修費	154	百万円	建替え経費	2,693	百万円
	解体費	184	百万円	小計	3,449	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	396	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,663	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,432	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年8クラスの中規模の普通高校である。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価


施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

# 施設アセスメントシート

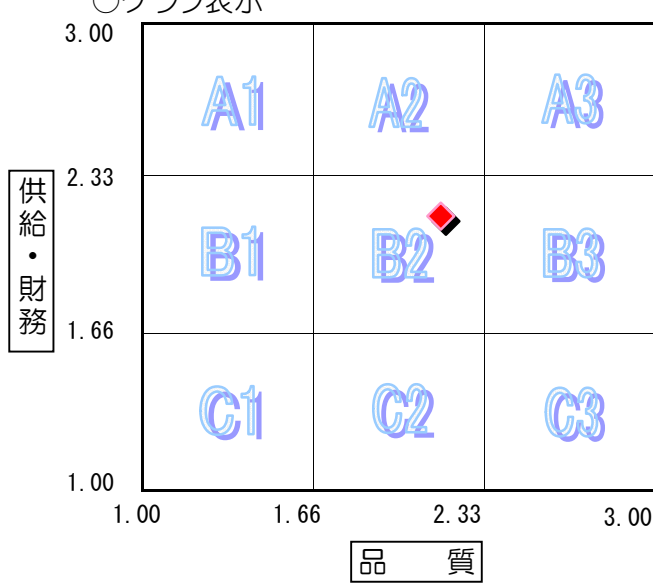
基本情報	施設番号	807040012001	施設名称	静岡西高等学校		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	静岡西高校			
	用途	教育施設		設置年	1977		
	施設目的	高等学校					
	敷地面積	44,717.46 m <sup>2</sup>	延床面積	11,320.60 m <sup>2</sup>			内部
	土地台帳価格	2,889,642 千円	建物台帳価格	432,688 千円			
	用途地域	住居地域	路線価	- 円/m <sup>2</sup>			
	交通アクセス	最寄り駅: 静岡駅から バス20分 徒歩1分					

◆ 第1段階 **B2**      品質 2.24点      供給・財務 2.17点

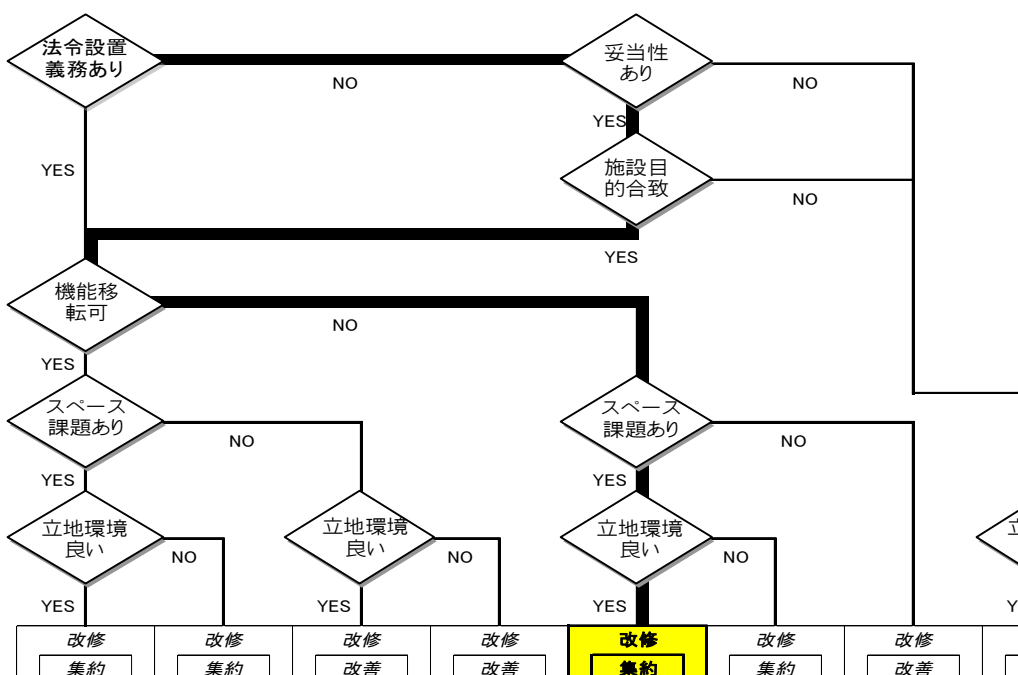
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	37.1年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1994.9年 1.19点
		外壁	2005.1年 2.68点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2004.4年 2.16点
		受変電設備	2011.7年 2.86点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.29GJ (58.03)	3.00点
供給	面積/人数	15.92m <sup>2</sup> (46.24)	3.00点
供給	生徒充足率	98.75%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	1.00点
財務	コスト/人	243,830円 (45.89)	2.00点
財務	コスト/面積	1,400円 (41.97)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 **施設面: 改修**      **運用面: 集約**



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	YES
立地環境良い	YES

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	725	百万円	維持管理費 B(※2)	86	百万円
	使用年数 A(※1)	37.1	年	小計	811	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	364	百万円	維持管理費 (※3)	23	百万円
	大規模改修費	1,937	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	2,324	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	364	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,449	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,077	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年7クラスの中規模の普通高校である。
これまでの保全の状況	建物等について、外壁に亀裂・コンクリートの爆裂、鉄部の発錆が著しく、劣化している状況である。
その他	静岡地域の中核を担う高校であり、現時点では集約の予定なし。

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価



施設面: **改修**

運用面: **集約**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、スペースの活用に課題があるため、他の機能を取り込む等、集約を図る必要がある施設。
----	--



# 施設アセスメントシート

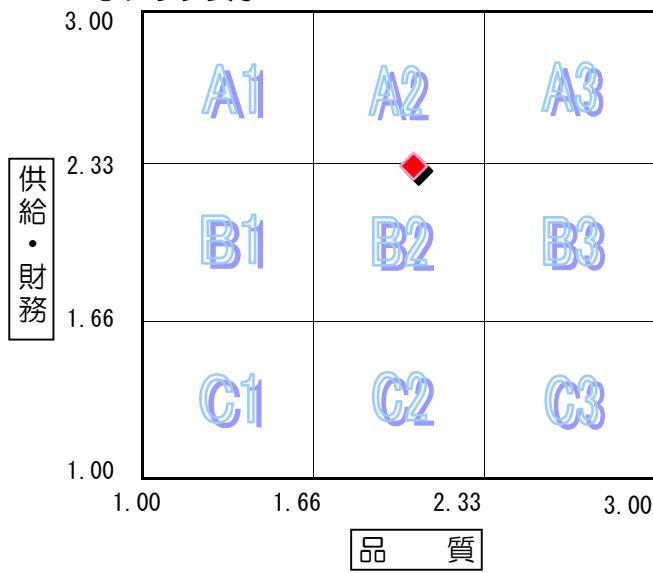
基本情報	施設番号	807041012001	施設名称	静岡農業高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	静岡農業高校		
	用途	教育施設		設置年	1999	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	53,479.98 m <sup>2</sup>		延床面積	14,667.17 m <sup>2</sup>	
	土地台帳価格	7,101,292 千円		建物台帳価格	1,272,136 千円	
	用途地域	準工業地域		路線価	- 円/m <sup>2</sup>	
	交通アクセス	最寄り駅:古庄駅から 徒歩3分				

◆ 第1段階 A2    品質 2.12点    供給・財務 2.33点

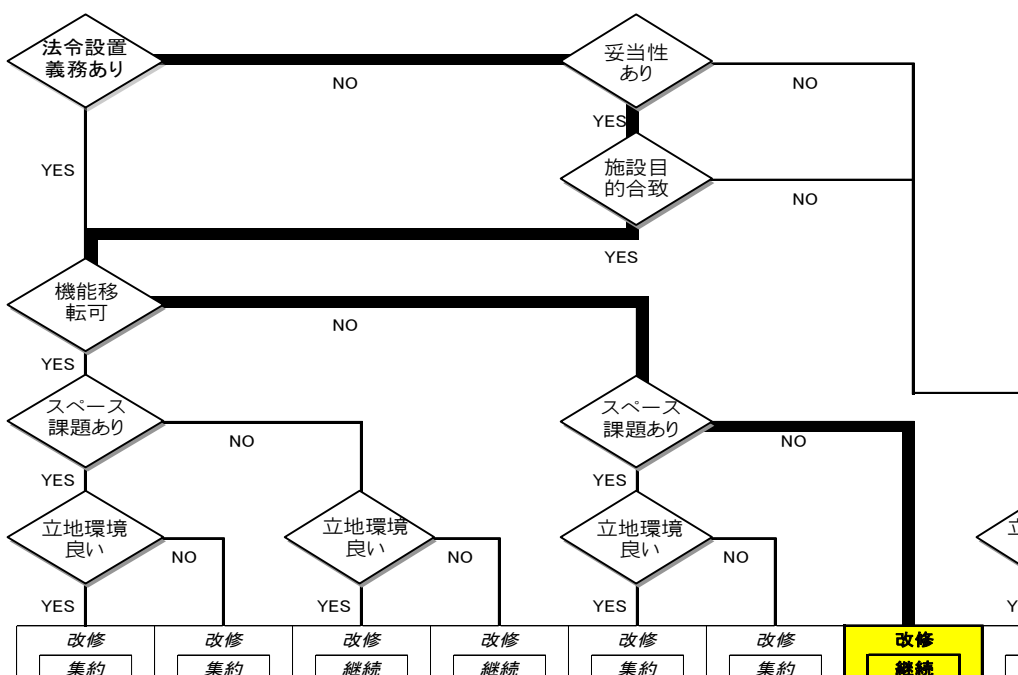
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	27.3年	2.22点
品質	建築劣化度	屋上防水	1995.3年 1.77点
		外壁	1993.4年 1.82点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1999.3年 1.23点
		受変電設備	1997.4年 1.92点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.30GJ (57.52)	3.00点
供給	面積/人数	20.23m <sup>2</sup> (49.13)	3.00点
供給	生徒充足率	100.69%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	299,244円 (46.90)	2.00点
財務	コスト/面積	1,795円 (42.53)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	2,160	百万円	維持管理費 B(※2)	96	百万円
	使用年数 A(※1)	27.3	年	小計	2,256	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	472	百万円	維持管理費 (※3)	35	百万円
	大規模改修費	595	百万円	建替え経費	689	百万円
	解体費	47	百万円	小計	1,838	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	472	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	3,173	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	5,283	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年6クラスの中規模の農業高校である。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。ただし、駐輪場及び渡り廊下等において、鉄部の発錆が著しい状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、計画的な保全を適切に実施していきべき施設。

# 施設アセスメントシート

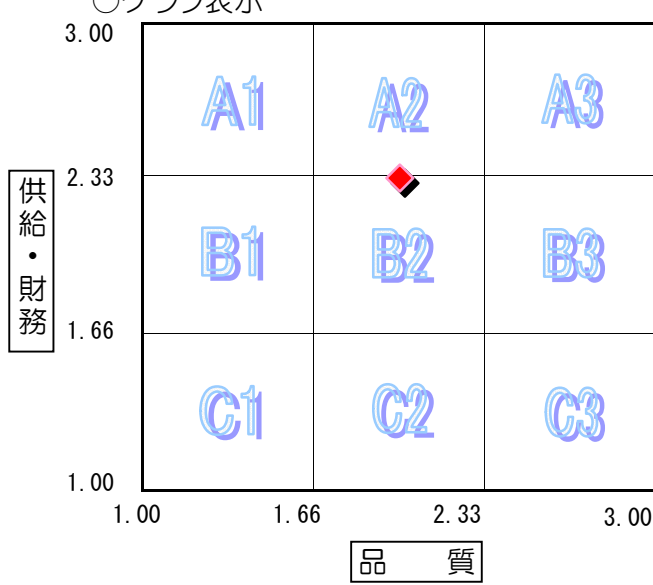
基本情報	施設番号	807043012001	施設名称	静岡商業高等学校		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	静岡商業高校			
	用途	教育施設		設置年	1987		
	施設目的	高等学校					
	敷地面積	39,085.19 m <sup>2</sup>		延床面積	15,106.96 m <sup>2</sup>		内部
	土地台帳価格	3,902,265 千円		建物台帳価格	1,218,875 千円		
	用途地域	住居地域		路線価	- 円/m <sup>2</sup>		
	交通アクセス	最寄り駅: 静岡駅から バス15分					

◆ 第1段階 A2    品質 2.07点    供給・財務 2.33点

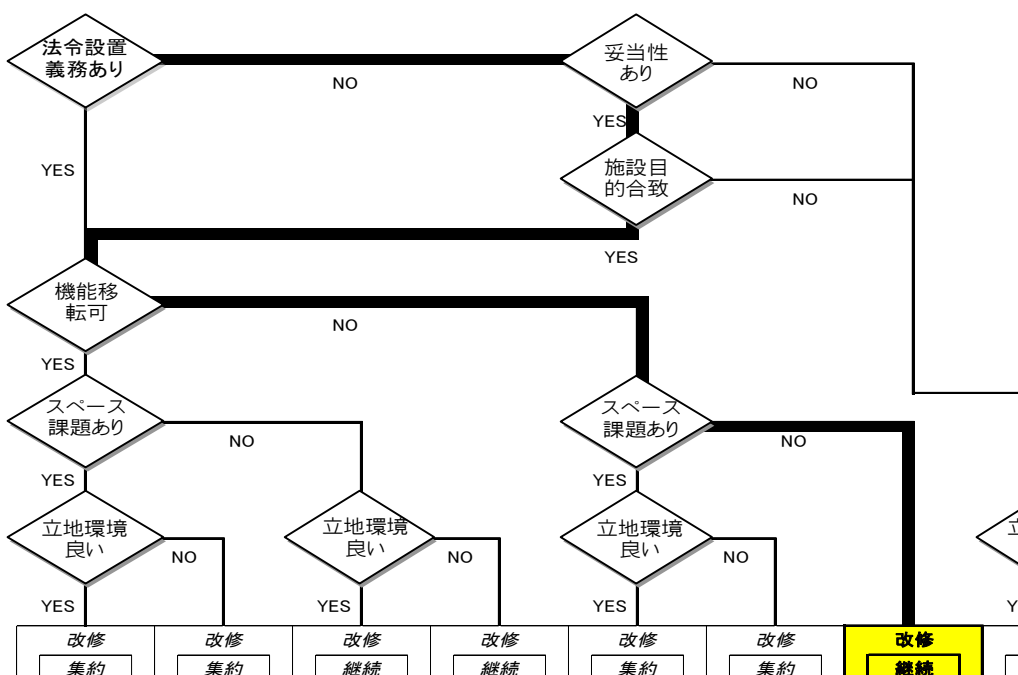
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	28.8年	2.13点
品質	建築劣化度	屋上防水	1987.2年 1.40点
		外壁	1999.7年 1.99点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1999.5年 1.14点
		受変電設備	- -
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.29GJ (57.78)	3.00点
供給	面積/人数	17.75m <sup>2</sup> (47.47)	3.00点
供給	生徒充足率	101.31%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	466,857円 (49.96)	2.00点
財務	コスト/面積	2,163円 (43.06)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修    運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

### ◆第3段階

#### □コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,947	百万円	維持管理費 B(※2)	226	百万円
	使用年数 A(※1)	28.8	年	小計	2,173	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	486	百万円	維持管理費 (※3)	78	百万円
	大規模改修費	289	百万円	建替え経費	969	百万円
	解体費	66	百万円	小計	1,888	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	486	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	3,269	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	5,441	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

#### □施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年7クラスの中規模の商業高校である。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

#### □財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

#### □総合評価

施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、計画的な保全を適切に実施していくべき施設。